

市議会だより

12月定例会

- ムーミン基金条例、一般会計補正予算などを可決
- 第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会を設置

目次

議案の審議	②
委員会の審査	③
議決結果・人事案件	④
市政に対する一般質問・視察 受け入れ状況	⑤～⑦
請願・陳情・要望・意見書・ 委員会調査報告	⑧・⑨
市議会案内板	⑩



議案の審議

■一般会計補正予算など34件を議決

12月定例会は、11月27日から12月11日までの15日間開かれ、市長提出議案28件、議員提出議案2件、請願1件、その他3件について審議等を行い、議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

市長提出議案

⑨〇 平成二十七年飯能市一般会計補正予算(第四号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ五億一千四百七十三万四千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ二百八十九億八千三百六十六万九千円とするもの。

主な追加の内容(万円未満切り捨て)

歳入	
国庫支出金	2億1,775万円
繰入金	1億6,300万円
寄附金	6,335万円
歳出	
国民健康保険特別会計(事業勘定)繰出金	2億119万円
生活保護扶助事業	2億71万円
障害者自立支援事業	1億2,484万円
総合福祉センター施設管理運営事業	5,230万円
ムーミン基金積立金	5,000万円

問 生活保護扶助事業の補正理由は。

答 住宅扶助、医療扶助、施設事務費の三つを補正するもので、積算としては平成二十七年四月から九月までの実績と今後の平成二十八年三月までの見込みを増額補正するものである。

⑧③ 飯能市ムーミン基金条例

北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設と連携した観光施策の推進を図るため、基金を設置するもの。

問 目標金額、基金の規模については。

答 目標額は設定していないが、民間施設と連携して本市を盛り上げていく観光施策に確実に充当できる金額を積み立てていきたい。

⑧〇 行政機構の改正に伴う関係条例の整備に関する条例

第五次飯能市総合振興計画を着実に推進するため、行政機構を改正することに伴い、飯能市部室設置条例その他の関係する条例を整備するもの。

問 今回の機構改革に対する市長の基本的な考えは。

答 一年一年物事を進めるには機構改革もなくてはならない。今回第五次の総合振興計画もあり、どのような機構改革が必要かということでも熟慮し、副市長以下また担当とも相談したのが、今回の機構改革である。

討論

反対の立場

水道部と下水道課を統合することについて、地方公営企業法

財務規定を適用するための組織統合であるので、反対する。

賛成の立場

懸案の対応を狙った機構改革など、新しい課題や懸案を解決することを目指した行政機構改正案になっているので、賛成する。

⑧① 飯能市職員定数条例の一部を改正する条例

平成二十八年四月一日から、市長の事務部局の職員の定数を五百三十三人(現行五百二十九人)に、市長の事務部局の職員のうち社会福祉法第十六条の規定に基づく所員の定数を六十三人(現行六十二人)に、公平委員会の事務部局の職員の定数を三人(現行一人)に、教育委員会の事務部局及び教育機関の職員の定数を百九人(現行百十六人)に、企業職員の定数を三十二人(現行三十一人)などに改めるもの。

問 併任がとても多いが、こういう形で大丈夫なのか。

答 平成二十七年年度が五十六人、平成二十八年年度が五十八人の予定であるが、併任をかけることで、その業務が円滑に進むよう設けているものである。

討論

反対の立場

調理員などの現業職員の不補充方針を見直し、実定数をしっかり

りと確保する人事政策などを求め、反対する。

賛成の立場

第五次の総合振興計画を着実に推進するための行政機構改正を反映した組織体制であり、そのために必要な定数を定めたものとなるので、賛成する。

⑧⑤ 飯能市立名栗幼稚園条例の一部を改正する条例

平成二十八年四月一日から飯能市立名栗幼稚園を子ども・子育て支援法に基づく施設型給付費の支給に係る特定教育・保育施設とするため、子ども・子育て支援新制度に基づく保育料の額を定めるとともに、入園料を廃止するもの。

問 在園児の軽減措置は卒園するまで行うのか。

答 卒園までということではある。

討論

反対の立場

制度そのものの問題、財源、保育料の問題があり、同時に市民負担を増やすようなことはやめるべきなので、反対する。

賛成の立場

飯能市における子ども・子育て支援新体制が進み、幼児期の学校教育、保育、地域の子ども・子育て支援が更に総合的に進むことを期待するので、賛成する。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的に、より詳しく審査するため、総務、厚生文教、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。
12月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務委員会

● 84 飯能市税条例の一部を改正する条例

● 猶予制度の見直しにより条例で定める必要があるものは、徴収猶予や換価の猶予に係る猶予金額の納付方法や申請書の記載事項、添付書類、申請期限などであること。

● 飯能市においても減免申請期限については、「納期限前七日」までから「納期限」までに改正すること。

● 66 平成二十七年飯能市一般会計補正予算(第四号)

● 五千万円の寄附金がムーミン基金に対する最初の寄附金となること。

● 今後建て替える予定の飯能消防団第二分団詰所は、女性の消防団員室を設ける予定であること。

厚生文教委員会

● 87 飯能市国民健康保険条例の一部を改正する条例

● 退職者医療制度の経過措置が終了したことから、国民健康保険運営協議会の被用者保険等保険者を代表する四号委員を廃止すること。

● 国民健康保険運営協議会の一号委員から二号委員までは、県

内同規模の市と比較し多いため、各八名から各五名に見直すこと。

● 88 飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

● 納税者の利便性の向上を図るため、減免の申請期限が七日延びるので、口にちに猶予ができるという利点があること。

● 保険税の減免については、納付書に同封するチラシに掲載し、加入者全世帯にお知らせしているが、広報やホームページにも掲載していること。

● 90 平成二十七年飯能市一般会計補正予算(第四号)

● 総合福祉センターの冷温水発生機の改修計画については、補正予算成立後速やかに入札に向けた準備を行い、平成二十八年二月中に入札、三月までに改修する予定であること。



総合福祉センター

● 障害者福祉費の増額理由については、障害者手帳所持者の増加、

障害福祉サービスの制度の周知が進んでいること、企業等による障害者雇用、障害者自身の就労意識の高まり、障害者の高齢化に伴う障害の重度化などから、利用者数、利用量が増加していること。

● 今回の補正金額 三百八十万円は、加治中学校吹奏楽部の四十六人が札幌市で開催された大会に派遣されたことに係る中学校運営事業の各種大会生徒等派遣費補助金であること。

● 97 平成二十七年飯能市介護保険特別会計補正予算(第二号)

● 高齢者が円滑に在宅生活を営めるよう在宅医療と介護の連携を効果的に推進するため、多職種連携座談会補助金として、三十万円増額補正すること。

経済建設委員会

● 89 飯能市男女共同参画推進条例

● 審議会から条例の特徴についてもご意見をいただき、まず、前文を置き、その中で飯能らしさを出すこととし、家庭教育、学校教育、社会教育など、あらゆる場面の教育においてその役割が重要であることから、教育に携わる者を定義することとしたこと。

● 83 飯能市ムーミン基金条例

● 充当事業については、ソフト事業、ハード事業の枠に捉わられず、メッセアの事業展開と合わせて決めていきたいこと。

● ふるさと納税の受け皿になる基金なので、ふるさと納税の制度が整ったら、しっかりとムーミン基金のPRを行っていきたいこと。



あけぼの子ども森公園

● 90 平成二十七年飯能市一般会計補正予算(第四号)

● 市民参加推進費の増額補正は、男女共同参画推進条例案の制定後、必要性や意義等を広く市民及び事業者等に周知するため、リーフレット等を作成する印刷製本費などであること。

● 農業生産振興事業の茶・地域特産物振興総合対策事業費補助金の増額補正について、今回の事業で整備する機械設備は、茶葉の収穫、刈込を行う摘採機で、事業主体は「つまみ飯能茶をつくる会」となること。

平成27年12月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案等

※表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員

議案 番号	議席番号・議員名 件 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決 結果
		栗 原 義 幸	中 元 太	大 津 力	野 口 和 彦	滝 沢 修	山 田 利 子	新 井 巧	金 子 敏 江	内 田 健 次	平 沼 弘	(欠 員)	加 藤 由 貴 夫	砂 長 恒 夫	鳥 居 誠 明	松 橋 律 子	加 浦 弘 貴	相 田 博 之	野 田 直 人	武 藤 文 夫	
80	行政機構の改正に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
81	飯能市職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
85	飯能市立名栗幼稚園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願1	公契約条例検討委員会の設置を求める請願	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×		—	×	×	×	×	×	×	×	不 採 択

※加藤由貴夫議員は議長のため、採決には加わっていません。


■全会一致の議案等

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略

議案 番号	件 名	議決結果
	第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会設置の件	設 置
	第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会委員の選任	選 任
82	飯能市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
83	飯能市ムーミン基金条例	原案可決
84	飯能市税条例の一部を改正する条例	原案可決
86	飯能市保育の必要性の認定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
87	飯能市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
88	飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
89	飯能市男女共同参画推進条例	原案可決
90	平成27年度飯能市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
91	平成27年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
92	平成27年度飯能市下水道特別会計補正予算（第1号）	原案可決
93	平成27年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
94	平成27年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
95	平成27年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
96	平成27年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算（第2号）	原案可決
97	平成27年度飯能市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
98	平成27年度飯能市訪問看護ステーション特別会計補正予算（第1号）	原案可決
99	平成27年度飯能市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
100	公の施設の指定管理者の指定について（飯能市高齢者福祉施設敬愛園）	原案可決
101	公の施設の指定管理者の指定について（飯能市ふれあい農園施設）	原案可決
102	公の施設の指定管理者の指定について（飯能市林業センター）	原案可決
103	公の施設の指定管理者の指定について（飯能市さわらびの湯）	原案可決
104	市道路線の認定について（大字飯能地内）	原案可決
105	市道路線の認定について（大字岩沢地内）	原案可決
106	契約の締結について（飯能市阿須汚水中継ポンプ場建設工事）	原案可決
	閉会中の継続審査申出の件（第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会）	申出書のとおり
	議員派遣の件	派 遣
諮問3	人権擁護委員候補者の推薦について（岡野 早苗）	異議はない
選挙3	埼玉県都市競艇組合議会議員選挙	選 挙
議提8	地方大学の機能強化を求める意見書	原案可決
議提9	飯能市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決

※議案第79号 第5次飯能市総合振興計画基本構想(案)については、第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会による閉会中の継続審査となりました。





岡野 早苗氏

人権擁護委員候補の推薦について

人権擁護委員岡野早苗氏が任期満了となるので、引き続き同氏を推薦することについて、全員意義はありませんでした。

人事案件

市政に対する

一般質問

一般質問とは、議員がそれぞれの視点から市の行政全般について市長(執行部)に質問し、説明を求めるものです。

「市議会だより」には、質問者本人が執筆したものを、発言順に掲載しています。

今回は、10人が質問にたちました。

フィンランド共和国訪問について

野口 和彦

問 二〇一七年オープン予定のメッソーに関連してのフィンランド共和国訪問の成果について伺う。

答 飯能市は、フィンテックグローバル社との間で地方創生に関する基本協定を締結しており、交流人口増に向けた大きな柱であるメッソーを支援するとともに、本市を売り込む施策としても位置付けたムーミン基金を設置し、「ふるさと納税制度」と組み合わせることや、基金設置を行う

にあたって、ふるさと納税制度における返礼品として、オリジナルムーミングッズやフィンランドの品などを使用したい旨を説明し、前向きなよい回答を得ることができた。

また、絵柄の使用や現地企業との交流、訪問都市との交流など様々な意見交換ができ、人材交流をはじめとした今後の展開が期待できるものであったと感じている。ご期待ください。

ムーミンのテーマパークは本当にできるのか？ 情報公開はいつなのか

相田 博之

問 メッソーの進捗は？

答 計画通り順調と聞いている。

問 発表後全く情報がないが。

答 情報が入り次第伝える。

問 既に半年経つが、いつまで二年後と言うつもりか。

答 二年後を信じて進みたい。フィンランド出張で何を得てきたのか。

問 基金、絵柄使用、あけぼの子どもの森公園にトーベ・ヤンソン名使用の件である。それぞれライセンス料は？

答 これからの協議である。

問 契約ではないのか。

答 仲介人を通じて両者が同意しており、答礼で来ている。

問 そもそも玉井社長は「これから飯能はムーミンのまちと堂々と言えるようになります」と言っていたのに、なぜ権利交渉を市がやらねばならないのか。

答 テーマパークを建設する権利をフィンテックグローバル社が持つていて、ライセンスのことは整理する必要がある。

フィンランド都市と姉妹都市を 子どもは私たちの「宝」 「ひきこもり」支援

中元 太

◆メッソー関連の進捗について姉妹都市実現の可能性は、積極的に検討していく。

問 DMOの設置進捗は。

答 非常に重要な役割を担うDMO。市観光協会等にも導入に向けた検討をお願いした。

問 飯能市地域創生プログラムにも挙げ、埼玉県地方創生を牽引する可能性があると感じている。

要望 観光地域経済の見える化と観光経済へのインパクトの目標設定を要望した。

問 いじめ・自殺防止の取組は。いじめゼロ会議・図書館に特別展示をしている。

要望 待ちの態勢よりアウトリーチ(行政から手をのばす)施策を、小中教職員にゲートキーパ研修を要望した。

◆将来のために今から取り組むべき施策

問 就労世代への引きこもり社会復帰支援(ミットバンク)は。今後関係部署を交え研究する。

日本版CCRC構想について 成人用肺炎球菌ワクチン接種率向上を 入間川河川敷の利活用について

栗原 義幸

問 日本版CCRCとは、国の掲げる新しい地方創生のあり方として首都圏の高齢者の地方移住を支援し、シニア世代が健康でアクティブな生活を送り、必要な医療や介護を受けられる「生涯活躍のまち」の構築を目指すものだが、見解を伺う。

答 国として更なる検討が行われる。動向を注視し研究したい。

問 高齢者の成人用肺炎球菌ワクチン未接種者の対応として、複数回通知を行う「コールリ

答 コールの実施が必要ではないか。今後の接種率の向上については様々な方法を検討したい。

問 入間川河川敷で主に加治地区に該当する区間において、遊歩道の整備促進はできないか。

答 未整備の区間は地形上難所であるため、その予定はない。

問 岩沢運動公園付近河川敷のパーベキュー等の利用については。地域の方のご協力をいただき、阿岩橋西側に区域を設けている。

公共交通基本計画の目に見える具体化を
買い物弱者に支援策を求める

新井 巧

問 飯能市地域公共交通基本計画が三年目に入る。目に見える成果が求められる。外出支援策は介護予防にも重要な柱。地域で議論する受け皿をどう作るか。住民の「足の確保」の情報交換のための地域懇談会などを実施してほしいが。

答 来年度、交通政策室を設置し、市民の足の確保等、交通に関する課題に対して、具体的な検討を進めていく。移動手段の検討について、研究・検討していく仕組みをつくりたい。

問 交通弱者の支援策を一般福祉としても講じてほしいが。

答 国や県の動向、先進地の事例を踏まえ、地域の力を発揮できるよう市民と市、社協が一体となって支援をしていく。

問 これまでの答弁では、「買い物支援サービスの構築、宅配サービス、輸送システムなどを調査研究したい」と答弁している。どのように検討されたか。

答 大変重要な課題。山間地域振興計画の中で検討していきたい。

飯能ブランドの製菓・土産品の開発推進を
出店希望者に向けたスピード感のある小口融資を
オンラインサロンとDVについて

松橋 律子

問 市内銘菓の老舗が集結して、銘菓を残しながらも、来飯者への土産品の対応をすべきでは。

答 商工会議所は、特産品認定事業に向け準備中。

問 出店のための小口融資などについてスピード感を持って行うべきでは。

答 事業の新たな展開には中小企業小口資金融資制度のご利用もある。

問 本市近年の児童虐待・DVの状況は。

答 児童虐待については、四類

型があり、身体的虐待・性的虐待・心理的虐待・保護者の怠慢（ネグレクト）である。平成二十六年度は百六件で、五年間で二倍になった。対応は、フリーダイヤルによる児童虐待防止・相談ホットラインを開設し、専任の相談員を置いて、日常的に相談体制を強化している。

問 私達（公明党）は日本版ネウボラを推進してきたが。

答 興味深い取り組みで研究してきた。妊娠出産・子育てに至るまで支援に取り組んでいるところ。



飯能住まい制度について
各方面からの反応は
諸課題に対する対策は

大津 力

問 「農」ある暮らしへのニーズ調査の内容は。

答 東京都墨田区、豊島区、横浜市中区で十月に行われたイベント会場においてアンケートを実施した。合計で四百七十三名の方から回答をいただいた。

ただき、そのうち二十代から四十代までの若者や子育て世代の方から二百五十二件の回答をいただいた。このうち、「飯能住まいをしたい」と回答された方が八十名、そのうち「今すぐ」と回答された方が八名い

らっしゃった。都会の若者や子育て世代の方が「農のある暮らし」「飯能住まい」制度に興味をお持ちいただいていることが確認できた。

問 地域の農業振興に活用できる補助金はないか。

答 国の補助事業である「農村集落活性化支援事業」というものがあり、検討を行なっている。補助事業はソフト事業であり、補助率は十分の十。飯能住まい制度がよりよい形で進められるよう、取り組んでいく。

建設業の担い手確保・育成と
公契約条例制定に向け検討を

滝沢 修

問 建設業界は高齢化と若手入職者の減少により技能工不足が深刻化している。国交省も社会保険加入促進や設計労務単価の引上げを行ってきた。市内の建設業者の状況や実態は。

答 建設業を取巻く環境は依然として技能労働者不足が懸念され、厳しい状況と認識している。公共工事の品質低下を招かないように労務単価の見直しを行い、市内業者が施工可能な工事はできる限り市内業者優先で発注するよう入札

も実施している。

問 建設産業では重要課題とされる「担い手の確保・育成」が求められるため、国交省も法改正を行った。地方自治体では公契約条例制定の動きもある。制定に向けて研究・検討は。

答 市において条例化する考えはないが、条例を制定する自治体があるのも事実だ。研究していくことも必要と考えている。他の自治体も注視しながら進めていきたい。

子ども・子育て支援新制度の下で 保育料が上がらないように

山田 利子

問 飯能市は、女性と子どもにやさしい街をめざして、子どもの医療費を中学校卒業まで無料化、インフルエンザ予防接種の無料化、コウノトリ事業など、若い子育て世帯に喜ばれている。さらなる子育て支援、少子化対策として「子ども・子育て支援新制度」の下でも保育料が上がらないよう、また、新規入園児・入所児についても在園児同様の保育料にすることについては。

答 今まで、廃止された年少扶養控除のみなし適用をしてきたが、四月からの新制度では原則みなし適用しないこととした。在園児については、平成二十六年度の保育料階層より上げない経過措置を行い卒園までの負担軽減をしている。新規入所児童については、新しい保育料基準額のもとに算定している。

要望 同程度の所得でも保育料に差をつけることはいかがなものか。新規入所児についても負担軽減になるよう検討してほしい。

飯能の水の価値をどう捉えているか？

金子 敏江

問 昨年九月、文化新聞に脇岡氏（元大学教授）が飯能市の水道水の水質を分析し、水質に差異があると発表した。県水六五%の水道水は、飯能の小岩井浄水場、さいたま市大久保浄水場（県水）の三地点での比較で、あくまで水質基準値内であるが、総トリハロメタンの数値が一番高いことが分かった。飯能市は大久保浄水場から最も遠方に位置し、水道管の総延長は三十八kmにも及ぶ。長い距離を攪拌されて運

ばれるために有機物と塩素が反応し生成する。来年度から十年間の水道ビジョンに本郷浄水場を休止して県水に置き換えることを明記した。とても認められるものではないが、水質に明確な差異があるのだから県水の水質を良くしてほしいが。

答 市としても新聞に掲載されてから県に相談している。夏場の検査回数を増やしたり活性炭処理したり。高度浄水処理についての要望は県にあげておく。

飯能市の先進事例を 視察に來られました

飯能市では、エコトリズム、ロケーションサービスなど数々の特色ある事業に、また、市議会では、タブレット端末導入（ペーパーレス会議など）、議会改革に取り組んでいます。

○他市区町村議会議員の行政視察の受け入れ状況
（平成二十八年一月五日現在）

北海道室蘭市議会（議会運営委員会・十名（十月六日））
・議会運営におけるICT化の取り組み

大阪府河内長野市議会（議会運営委員会・十名（十月十四日））
・議会改革について

愛知県阿久比町議会（総務建設委員会・六名（十月十五日））
・タブレット端末の導入

愛知県碧南市議会（議会運営委員会・九名（十月十八日））
・議会運営について

佐賀県武雄市議会（議会改革特別委員会・六名（十月二十日））
・タブレット端末の導入
・市議会災害対策支援本部設置要領の策定

埼玉県川越市議会（自由民主党川越市議団・七名（十月二十二日））
・魅力あるまちづくりとリーダーシップ

愛知県豊明市議会（総務委員会・九名（十月二十六日））
・シティブロモーション事業

長野県山ノ内町議会（総務産業常任委員会・八名（十月二十八日））
・タブレット端末の活用

長野県茅野市議会（全議員・二十名（十月二十九日））
・タブレット端末の活用

滋賀県近江八幡市議会（議会運営委員会・十三名（十一月五日））
・タブレット端末の導入
・議会ICT化の取組

埼玉県さいたま市議会（日本共産党会派・五名（十一月六日））
・議会のICT化について

千葉県佐倉市議会（議会運営委員会・十一名（十一月六日））
・議会におけるタブレット端末の導入

滋賀県彦根市議会（議会運営委員会・八名（十一月十二日））
・議会のICT化について

神奈川県厚木市議会（議員クラブ・二十九名（十一月十六日））
・タブレット端末の導入

富山県小矢部市議会（人口対策特別委員会・九名（十一月十八日））
・シティブロモーション事業

埼玉県熊谷市議会（公明党会派・一名（十一月十九日））
・さくら猫無料不妊手術事業

新潟県妙高市議会（議会運営委員会・十名（十一月二十五日））
・タブレット端末の導入

北海道石狩市議会（自由民主クラブ（会派）・九名（十二月十四日））
・議会のICT化について
・議会改革について

議員研修会を 開催しました

平成二十七年十二月十六日に飯能市立図書館副館長の大橋はるか氏を講師に招き、「ムーミンとそのふるさとフィンランド」をテーマに、研修会を開催しました。

今後の動向に備え、「ムーミンとそのふるさとフィンランド」のことをより知ることができた大変充実した研修となりました。



市民から市議会へ提出

請願

○の中の数字は請願番号

①公契約条例検討委員会の設置を求める請願

不採択(多数)

提出者

埼玉土建一般労働組合飯能日高支部 支部長 飛山 謹作
外二百六十七名

陳情

○の中の数字は陳情番号

⑦宇宙船地球号を守る為の陳情・地球社会建設決議陳情書

提出者

荒木 實

⑧陳情書(市町村公的審議会等委員への公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会会員の登用に関する件等)

提出者

埼玉県不動産政治連盟彩西地区地区長 室岡 和俊

⑨陳情書(公立図書館における青少年の健全たる育成等を阻害する図書の新除を求める陳情)

提出者

小畑 孝平

⑩陳情書(飯能市議会における陳情の取扱いの改正を求める陳情)

提出者

小畑 孝平

⑪沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情

提出者

名護市議会議員 宮城 安秀
外十名

⑫消費税引き上げ中止の意見書提出を求める陳情書

提出者

消費税の廃止を求める埼玉連絡会 陳情者代表 岩瀬 晃司
外二名

要望

要望書(西川材を利用した、木製サッシ・木製建具・天然木不燃シート(ウッドピール)を『ムーミンのテーマパーク』の西川材パビリオンでは是非とも採用をして頂きたい。)

提出者

埼玉県建具組合連合会 会長 坂本 勉

市議会から国等へ提出

意見書

議員提出議案として提出され、議会の議決を得て国等へ提出したもの。

地方大学の機能強化を求める意見書

地方創生に向けた政府の総合戦略において、地方大学の果たす役割は重視されており、特に、「地域ニーズに対応した人材育成」や「地方課題の解決への貢献」、「地元企業への就職率の向上・地元への若者の定着」など、これまで以上の取り組みが期待されている。しかし、国立大学の運営費補助金は年々削減され、教育の質の低下や将来的な学生定員数の削減につながりかねない状況にあり、私立大学においても少子化の進行による定員充足率の低下や私学助成の減額によって、大学経営そのものに大きな影響を与えている。

よって、国におかれては、地方創生に向け、地域と大学がこれまで以上に積極的に取り組もうとする中、若者の地元定着や、地域のニーズに対応した人材育成などに大きな影響が出てくることを懸念されることから、以下の項目について強く推進するよう求めるものである。

記

一 知の拠点である地方大学を「地方創生の拠点」として位置付け、地域の産業振興・雇用創出に資する研究開発、若者の地元定着や地域人材の育成につながる教育など、地方創生に貢献

する取り組みに対して支援を図ること。

二 地域ニーズに即した人材育成や技術開発をはじめ、地域課題の解決に向けた地元自治体や産業界等と連携した取り組みに対し支援の充実を図ること。

三 地方で若者が一定水準の専門知識を習得できるよう教育の質の確保を図るとともに大学で学ぶ学生定員確保のため、その基盤となる国立大学法人運営費交付金の充実、私立大学に対する私学助成の拡充を図ること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、地方創生担当大臣あて

他市の先進事例を調査視察に行きました。

総務委員会

石川県金沢市(十月二十二日)
「金沢市の歴史遺産を生かしたまちづくり」について

かつて城下町として栄えた金沢市には、歴史文化遺産群が多く存在し、その古き良き伝統と文化を守ることに注視し、市民意識も歴史文化を守る意識がとて高く、観光地としてのあり方の議論が現在でも絶えない。

石川県七尾市(十月二十二日)
①七尾市の人口減少対策について
②七尾市の移住定住促進策について

人口減少対策の人を呼び込む施策では、スポーツ施設の整備により合宿などの需要に対応しており、誘客や移住定住の促進にも工夫を凝らして取り組んでいる。特に空き家バンク制度は、集約した情報をもとに、都心での生活者向けのイベントを積極的に行っており、ポータルサイトの開設や移住体験ツアー、移住相談セミナーの都心での開催など、積極的な取り組みをしている。



●厚生文教委員会

岐阜県岐阜市（十月二十九日）
「岐阜市のデータヘルス計画」について

岐阜市国保に加入されている被保険者の健康度を高め、健康診断の受診率を高め、働き盛りの早死予防や高齢期の認知症予防、介護予防等、健康寿命の延伸・医療費の抑制を目的としている。

大阪府大阪市（十月三十日）
「大阪市の認知症初期集中支援チーム」について

本事業は、オレンジプランの柱の一つとして、これまで早期対応の遅れから認知症の症状が悪化し、行動・心理症状とが生じてから医療機関を受診する例や、継続的なアセスメントが不十分であり適切な認知症のケアができていない例などがあつたことから、今後目指すべきケアは「早期支援機能」と「危機回避支援機能」を整備し、危機の発生を防ぎ「早期・事前的な対応」に基本を置くことが求められている。そのことを重点に置き対応すべき形としての事業が認知症初期集中支援チームである。

●経済建設委員会

群馬県太田市（十月二十二日）
「太田市の水道事業包括業務委託」について



太田市は抱えていた水道事業における課題を解決するために、①常にコスト意識を持つて仕事に取り組み②極力外部に業務委託をすることの二点を打ち出した。職員数を五十二名から十八名まで削減したこと、五年間で約七億円の経費を削減したこと、組織の係体制は今まで通りとし、水道局と受託者のノウハウを有機的に結び付けたこと、業務移行のリレーゾーンとして、水道局職員もお客様に不便をかけないように在籍することが主な成果として挙げられる。

福島県会津若松市（十月二十二日）
「会津若松市の水道事業包括業務委託」について

会津若松市は抱えていた課題を解決するために、委託方法を効率的な業務運営が図られることから、取水や浄水場運転管理、送・配水施設の維持管理を特別目的会社に第三者委託するものと、料金徴収業務を別の事業者にて委託するという、業務を分けてそれぞれに委託する方式とした。

この成果としては、職員数が六十八名から四十二名に削減されたこと、取水から料金徴収までの費用が一億三千七百万円削減されたことが挙げられる。



◆「私たちの一票がまちを変える」事業が開催されました◆



グループディスカッション（聖望学園中学校）



発表（聖望学園中学校）

「18歳選挙権」を目前に控え、政治に直接関われる機会をつくり、関心を高めてもらうことを目的として、平成27年10月20日（火）に聖望学園中学校、10月27日（火）に大川学園高等学校において、飯能商工会議所青年部地域振興委員会主催の「私たちの一票がまちを変える」事業が開催されました。

2日間で延べ約230名の生徒たちが、このまちの将来をテーマに市議会議員らと交えてグループディスカッションを行い、その結果を発表しました。



グループディスカッション（大川学園高等学校）



発表（大川学園高等学校）

市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<http://www.city.hanno.saitama.jp>

◆第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会を設置◆

議案第79号「第5次飯能市総合振興計画基本構想(案)」については、慎重審査のため閉会中の継続審査となり、「第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会」が設置されました。

第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会

(7名、◎委員長 ○副委員長)

◎野田直人 ○中元 太 大津 力 野口和彦
金子敏江 平沼 弘 鳥居誠明

審議の日程

12月定例会

- 11月27日 開会、市長提出議案の上程・提案理由説明
第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会の設置
- 12月 1日 議案質疑、議案及び請願の委員会付託
- 2日 一般質問
- 3日 一般質問
- 7日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 11日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決
埼玉県都市競艇組合議会議員選挙
議員提出議案の上程・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

10月

- 1日 飯能市議会広報委員会
- 20日 私たちの一票がまちを変える(聖望学園中学校)
- 27日 私たちの一票がまちを変える(大川学園高等学校)

11月

- 6日 飯能市議会IT会議
- 9日 議会改革特別委員会
- 10日 代表者会議
- 16日 埼玉県都市競艇組合議会定例会
- 17日 全員協議会
- 24日 議会運営委員会
- 27日 第4回定例会(12月11日まで)
飯能市議会広報委員会

12月

- 11日 議会改革特別委員会
- 15日 飯能市水道ビジョン(経営戦略プラン)及び飯能市水道事業中期経営計画(前期)策定協議会
飯能市教育振興基本計画策定協議会
- 16日 議員研修会
- 17日 第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会
- 18日 第6次飯能市行政改革大綱策定協議会

1月

- 5日 飯能市議会広報委員会

議会を傍聴しませんか

12月定例会では延べ93名の方が傍聴されました。

次回の3月定例会は 2月26日開会予定です。

会期日程等は2月23日頃内定します。

会議録は次の施設またはホームページでご覧になれます

市役所内：議会事務局(4階)・市政資料コーナー(3階)

戸田競艇場開催日(埼玉県都市競艇組合主催分)

1/30～2/3、2/10～2/15、2/25～2/29

3/12～3/15、3/22～3/27

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。)

* 編集を終えて *

申年を迎えて思い浮かべるのが、日光東照宮にある「見ざる言わざる聞かざる」の三猿です。論語にも「非礼勿視、非礼勿聴、非礼勿言、非礼勿動」という一節があります。これらは、人を傷つけたりしない、謙虚であれとも言われています。これに反し、秩父神社には「よく見よく聞いてよく話そう」という現代の情報社会のスピード感に対する“お元気三猿”が親しまれて存在しています。

私たち広報委員会にも「改革八猿」がいます。市民の皆様とにかく「議会だより」を手にとっていただけるか、いかに親しんでいただけるか、新たなセンス・感覚を生かしながら、エン(猿)ジンプルパワーで元気に活動中です。ご期待ください。

(砂長)



広報委員(◎委員長 ○副委員長)

◎中元 太 ○滝沢 修 栗原 義幸 大津 力
野口 和彦 新井 巧 平沼 弘 砂長 恒夫

市議会だより

3月定例会

- 第5次飯能市総合振興計画基本構想案を可決
- 新年度予算案など可決、議会の人事

目次

見出し・目次	①
議会の人事	②・③
議案の審議	④
委員会の審査	⑤
議決結果	⑥
市政に対する一般質問・陳情・意見書・視察受け入れ状況	⑦～⑨
第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会の審査・議会改革特別委員会第2回中間報告・意見交換会	⑩～⑪
市議案案内板	⑫



議会の新体制を決定

議長に 砂長 恒夫 議員、副議長に 松橋 律子 議員を選出

平成28年2月26日から3月17日までの21日間開催された3月定例会では、平成27年度一般会計補正予算案、平成28年度一般会計予算案などの議案が市長から提出され、12月定例会で閉会中の継続審査となっていた第5次飯能市総合振興計画基本構想案も含め、いずれも原案可決・承認等されました。

さらに、3月17日の最終日には、正副議長の辞職に伴う議長選挙、副議長選挙、常任委員の所属変更、議会運営委員会補欠委員の選任、議会改革特別委員会補欠委員

の選任、各常任委員会等の正副委員長の互選などが行われ、新しい議会の構成が決まりました。

なお、立候補制による正副議長の選挙では、本会議を休憩し、議場において立候補を表明する発言が行われ、投票の結果は下記のとおりとなりました。

●議長選挙の結果	●副議長選挙の結果
砂長 恒夫議員 14票	松橋 律子議員 14票
金子 敏江議員 4票	無効 4票

議長・副議長就任あいさつ

～行政・議会・市民のオール飯能体制でまちづくり～



議長
砂長恒夫

平素より、市民の皆様には飯能市議会に対しまして、格別なご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。私たちは、3月定例会におきまして議長・副議長に就任いたしました。議会の果たす役割と与えられた職責を十分認識して、市政発展に努めてまいりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

さて、第5次飯能市総合振興計画では「変える10年！変わる10年！飯能市から始まる日本の創生」を合言葉に、市民の皆様と共にまちづくりに取り組みます。また、「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設メッツァ」が平成29年のオープンに向け着々と準備が進み、議会としても観光客数増加が予測される新たな観光資源として期待を寄せております。

行政と議会が足並みをそろえる中で、欠かせない大切なことがあります。NHKで放映された「あさが来た」のヒロイン、実在の人物の広岡浅子氏は「九つ転び十起き」を座右の銘にし、幕末から明治にかけ実業家として活躍された女傑であります。その活躍の背景には、ご主人の「大切なサポート」があったとも言われております。何かを達成する上では、そのサポート役が存在が必要不可欠であり大切となります。

それこそが「市民の皆様」であり、チェンジをしていく流れの中で、行政・議会・市民の三者がスクラムを組み、オール飯能体制でのまちづくりをすすめることが最も大切であると考えます。魅力ある飯能構築のために、市民の皆様の力強いサポートをお願いし就任のご挨拶といたします。



副議長
松橋律子

会派の構成

◎代表者(平成28年3月17日現在)

緑の会 1	◎武藤 文夫	野田 直人	
緑の会 2	◎鳥居 誠明	砂長 恒夫	加涌 弘貴
緑の会 3	◎平沼 弘	梶田 博之	
緑の会 4	◎野口 和彦	加藤由貴夫	
翠 渓 会	◎大津 力	内田 健次	
公 明 党	◎中元 太	栗原 義幸	松橋 律子
日本共産党	◎金子 敏江	滝沢 修	山田 利子 新井 巧

委員会の構成

※◎印は委員長 ○印は副委員長

議会運営委員会	<ul style="list-style-type: none">●議会の運営に関する事項●議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項●議長の諮問に関する事項 定数7人	<div>◎加涌 弘貴</div> <div>野口 和彦</div> <div>内田 健次</div> <div>野田 直人</div> <div>○栗原 義幸</div> <div>新井 巧</div> <div>梶田 博之</div>	
総務委員会	<div>所 管</div> <ul style="list-style-type: none">●一般会計の歳入●企画総務●財務●他の委員会に属さないもの 定数7人 (欠員1名)	<div></div> <div>◎野口 和彦 前ヶ貫266-27</div> <div></div> <div>○大津 力 飯能339-6</div> <div></div> <div>中元 太 落合364-47</div> <div></div> <div>新井 巧 井上732-7</div> <div></div> <div>砂長 恒夫 飯能703-7</div> <div></div> <div>野田 直人 飯能1211</div>	
厚生文教委員会	<div>所 管</div> <ul style="list-style-type: none">●健康福祉●教育 定数6人	<div></div> <div>◎鳥居 誠明 緑町13-13</div> <div></div> <div>○梶田 博之 川寺38-1</div> <div></div> <div>山田 利子 八幡町6-15</div> <div></div> <div>金子 敏江 大河原794-1</div> <div></div> <div>内田 健次 原市場654-4</div> <div></div> <div>松橋 律子 永田345-5</div>	
経済建設委員会	<div>所 管</div> <ul style="list-style-type: none">●市民生活●産業環境●建設●上下水道●農業 定数6人	<div></div> <div>◎平沼 弘 南川1936</div> <div></div> <div>○栗原 義幸 川寺533-4</div> <div></div> <div>滝沢 修 岩沢1146-1</div> <div></div> <div>加藤由貴夫 新町25-1</div> <div></div> <div>加涌 弘貴 美杉台2-11-5</div> <div></div> <div>武藤 文夫 双柳617</div>	

議案の審議

3月定例会が開催されました

3月定例会は、2月26日から3月17日までの21日間開かれ、市長提出の議案47件、議員提出議案1件、その他1件について審議等を行い、すべて議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

市長提出議案

③③ 平成二十八年年度飯能市一般会計予算

歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ三百五億五千万円と定めるもの。

問 ニュー福祉の概念と基本的な考え方、方向性は。

答 ニュー福祉構想は市長の福祉への熱い思いを受けて具現化したもので、ニュー福祉とは福祉サービスを必要としている当事者だけではなく、全ての市民が福祉というものに関心を持って参加、行動していただくことを目指しているものである。

問 平成二十八年度に新たに設けた発展可能性都市費の内容は。

答 本市を発展可能性都市として変貌させるための様々な施策を全庁的に展開していくための予算で、この度の機構改革でできた地方創生推進室に関する予算、この中で特に当初予算ではムーミンのライセンスの活用に関するものを計上している。

問 もう一つ新たに設けた賑わい創出費の内容は。

答 人口問題対策の一環として交流人口の増加を目的と

し、多くの人が当市を訪れ、交流と賑わいにあふれた飯能市を目指すための予算で、事業としては中心市街地の活性化や吉本興業等との連携のほか、アニメツーリズム、また市内外から人を呼び込むための友好都市をはじめとする都市間交流の推進を盛り込んだ予算である。

問 メッツア関連の予算の内容と予算額は。

答 発展可能性都市費の地方創生推進事業の約九百八十二万円、交通量調査、測量、設計等を見込んでいる道路新設改良費の道路改良事業の約四千万円、ムーミン関連の展示コーナーに要する費用である図書館費の図書貸出事業の八十九万四千円などである。



飯能河原

問 バス路線の維持についてどのような方法で進めていくのか。

答 飯能市としても交通政策室を設置し、公共交通の確保についてさらに積極的に取り組んでいく方針で、市としても利用状況をもつ一度把握した上で、市民の皆様に状況を伝えて、バス路線が維持できるように働きかけていく。

問 空き家対策事業の実態調査の内容は。

答 まず、空き家物件の調査、空き家物件データを作つてその台帳を作る基礎調査を行う。次に、物件データを基に所有者を確認し、その意向調査を行う。さらに空き家の使用可能性、管理状態など踏み込んだ調査をしてまとめる。その後、正確な情報が入つたら空き家対策の計画、総合的な保全管理、あるいは利活用を含めた計画を検討したい。

▼討論▲

反対の立場

農地の固定資産税、自動車税の増税、名栗幼稚園授業料の値上げ、都市計画税、阿須山中の土地開発公社用地二億円の取得、通称マイナンバー制度、(仮称)飯能大河原線などの問題があるので、反対する。

賛成の立場

企業誘致により安定した財源の確保や定住人口の増加が見込まれ、(仮称)飯能大河原線の重要性はますます高まっており、早

期に完成すべく推進していかなければならない。発展可能性都市への転換を図るための予算が計上されているので、賛成する。

③⑤ 平成二十八年年度飯能市下水道特別会計予算

歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ二十八億二千九百五十万七千円と定めるもの。

問 大河原飯能地内の下水道工事の内容は。

答 (仮称)飯能大河原線の道路工事に伴い、特に大字飯能側の道路の下水道を布設するが、併せて大河原側も百十メートルほどの下水道を布設する予定である。

▼討論▲

反対の立場

一般財源を投入し、住民生活の向上を益々増進するよう、自治体の裁量によって繰り入れのできる特別会計の方式を継続すべきで、公営企業会計への検討は中止をするよう求める。

賛成の立場

将来の下水道事業の基盤になる事業が組み込まれ、本予算案に基づき、一日でも早い他市町村と普及率が同等となるぐらいの下水道整備を期待するとともに、持続的な下水道経営を期待する。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的に詳しく審査をするため総務、厚生文教、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。
3月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務委員会

⑮平成二十七年飯能市一般
会計補正予算(第六号)

●通知カード・個人番号カード
関連事務費補助金は、平成二十
七年度に国の補正予算において、
地方公共団体情報システム機構
への通知カード・個人番号カー
ド関連事務の委託に係る市町村
の交付金に対する補助金が増額
されたため、増額すること。

(反対討論あり)

③③平成二十八年飯能市一般
会計予算

●平成二十八年年度税制改正は、
農地保有に係る課税の強化・軽
減を図るという内容で、概要は、
農業振興地域における農地を農
地として利用する意志がない場
合において課税の強化を図ると
いう予定のものであること。

●軽二輪関係に伴う増額は、約
九百七十万円の増額を見込み、
グリーン化特例に伴う税率の軽
減は二百十六万五千円の減額を
見込み、さらに初度検査年月か
ら十三年を経過した車両に対す
る重課分は、約四百五十万円の
増加を見込んでいること。

(反対討論あり)

厚生文教委員会

⑮飯能市国民健康保険税条例
の一部を改正する条例

●今回の税率改正は、資産割と
平等割を引き下げ、所得割と均
等割を引き上げるものであるこ
と。

●国民健康保険に加入されてい
る約一万四千五百世帯のうち、
税額の下がる世帯が約八千七百
世帯、上がる世帯が約五千八百
世帯と見込んでいること。

(反対討論あり)

③③平成二十八年飯能市一般
会計予算

●新年度の健康福祉部は、健康
推進部と統合することによって、
医療、介護と福祉の連携を強め、
さらに業務の効率化を図るとい
うように考えていること。

●レスパイトケアとは、超重症
心身障害児等がショートステイ
やデイサービスを利用している
間に、介助している家族が一時
的に介助から解放され、休息を
取ることができるようにするた
めの支援で、ショートステイ促
進事業、デイサービス促進事業
それぞれ月に十日として予算化
していること。

経済建設委員会

③③平成二十八年飯能市一般
会計予算

●美杉台中学校建設費償還金に
ついて、都市再生機構に対し毎
年連絡を取っているが、都市再
生機構と飯能市との契約上のもの
なので、例えば土地の無償譲
渡や金利の見直しは契約上でき
ないこと。

(反対討論あり)

●廃棄物処理施設整備基金は、
現在、実額ベースでは平成二十
七年度末でおおよそ二十七億円、
これは貸付金も含んでいるが、
これからごみ処理施設建設事業
に約二十一億円を充てることと
なり、約六億円が残額となる予
定であること。

(反対・賛成討論あり)

③⑤平成二十八年飯能市下水
道特別会計予算

●(仮称)飯能大河原線の進捗
状況は、用地買収率百パーセン
トで、道路工事と橋梁下部工に
一部着手し、平成三十年度末の
全線開通を目指して事業を実施
していること。

●庁内合意を得て平成三十一年
四月を目標に、下水道特別会計
と特定環境保全公共下水道会計
の二つの会計について、公営企
業会計の適用に向けた準備を進
めること。

●阿須小久保線に布設する管き
よは、八高線ガード下付近の下
水を集める大変重要な管きよと
なるが、現在の管きよ整備は、
区画整理地内の整備を優先に進
めて行くという考え方で進行之、
阿須地区の工事は、阿須小久保
線の進捗状況にあわせて進めて
いきたいと考えていること。

(反対・賛成討論あり)



クリーンセンター

平成28年3月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略、○は賛成の議員、×は反対の議員

議案 番号	議 案 名 議席番号・議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決 結果
		栗 原 義 幸	中 元 太	大 津 力	野 口 和 彦	滝 沢 修	山 田 利 子	新 井 巧	金 子 敏 江	内 田 健 次	平 沼 弘	(欠 員)	加 藤 由 貴 夫	砂 長 恒 夫	鳥 居 誠 明	松 橋 律 子	加 涌 弘 貴	梶 田 博 之	野 田 直 人	武 藤 文 夫	
79	第5次飯能市総合振興計画基本構想(案)について	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
16	飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
19	平成27年度飯能市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
32	財産の取得について	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
33	平成28年度飯能市一般会計予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
34	平成28年度飯能市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
35	平成28年度飯能市下水道特別会計予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
40	平成28年度飯能市特定環境保全公共下水道特別会計 予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
41	平成28年度飯能市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
44	平成28年度飯能市水道事業会計予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		—	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※加藤由貴夫議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案等

議案 番号	議 案 名	議決結果
1	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度飯能市一般会計補正予算(第5号))	承 認
2	飯能市山間地域振興審議会条例の一部を改正する条例	原案可決
3	飯能市行政不服審査法施行条例	原案可決
4	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
5	飯能市職員定数条例等の一部を改正する条例	原案可決
6	飯能市一般職非常勤職員等の任用、勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
7	飯能市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
8	飯能市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
9	飯能市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
10	飯能市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
11	飯能市の市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
12	飯能市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
13	飯能市公共施設等マネジメント推進審議会条例	原案可決
14	飯能市教育施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例	原案可決
15	飯能市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
17	飯能市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例	原案可決
18	飯能市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
20	平成27年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
21	平成27年度飯能市下水道特別会計補正予算(第2号)	原案可決
22	平成27年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第3号)	原案可決
23	平成27年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算(第3号)	原案可決
24	平成27年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算(第3号)	原案可決
25	平成27年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算(第3号)	原案可決
26	平成27年度飯能市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
27	平成27年度飯能市訪問看護ステーション特別会計補正予算(第2号)	原案可決
28	平成27年度飯能市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
29	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について	原案可決
30	市道路線の廃止について(大字岩沢地内)	原案可決
31	契約の締結について(飯能第一小学校屋内運動場改修・耐震補強工事(建築工事))	原案可決
36	平成28年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計予算	原案可決
37	平成28年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計予算	原案可決
38	平成28年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計予算	原案可決
39	平成28年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計予算	原案可決
42	平成28年度飯能市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
43	平成28年度飯能市訪問看護ステーション特別会計予算	原案可決
45	平成27年度飯能市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
選挙1	埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙	選 挙
議提1	児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書	原案可決
	議員派遣の件	派 遣
46	監査委員の選任について(加藤由貴夫)	同 意

市政に対する

一般質問

一般質問とは、議員がそれぞれの視点から市の行政全般について市長(執行部)に質問し、説明を求めるものです。

「市議会だより」には、質問者本人が執筆したものを、発言順に掲載しています。

今回は、7人が質問にたちました。

地域活性化

中心市街地活性化計画について

野口 和彦

問 中心市街地活性化基本計画は、平成二十三年度から平成三十二年度までの計画で、来年度から始まる第五次飯能市総合振興計画との整合性は乏しくバージョンアップが必要。そのために、景観法に基づいて、景観条例を制定して市民の皆さんと一緒に中心市街地のまちづくりを進めていくことが有効だと考えるがいかがが。

答 景観法を活用してまちの魅力を高めることも非常に有効な手段だと認識している。た

だし、独自の景観条例や屋外広告物条例を制定するなど、取り組みを強化するためには、まず景観行政団体になる必要がある。現在、県内では川越市や秩父市など十六の団体がこの景観行政団体になっているので、先進事例を研究し、県との協議に向けた準備を進めていく。

要望 景観条例を活用することは非常に有効な手段だと考えます。ぜひ前向きに検討をしていただきたいと思います。

山間地域の振興について 子育て支援「飯能版ネウボラ」について

栗原 義幸

問 「小さな拠点」の設置推進は、主に山間地域等における集落ネットワーク圏の形成と集落を持続可能とする取り組み。本市でも第五次総合振興計画に推進が位置づけられた。概要を聞く。

答 地域とともに新しい仕組みを創り出す姿勢が必要。国の財政支援も見込まれ、事例等も参考に踏み込んだ検討をしていく。

問 「地域おこし協力隊」の導入推進も第三次山間地域振興計画に盛り込まれた。地域活性化に有

効と考えるが推進概要を聞く。

答 地場産業である林業や農業等、特色ある産業への支援や従事者が効果的と考えている。

問 増加する空き家の対策として対策計画の策定が必要では。

答 総合的・計画的な対策が求められることから、計画策定の必要性は高いものと考えている。

問 妊娠・出産から切れ目のない子育て支援を可能とする「飯能版ネウボラ」開設への状況は。

答 早期開設を目指していく。

飯能市「家庭の日」を 夢馬ファミリーデーに

中元 太

問 家庭の日とは、赤ちゃんから高齢者、障がい者、健常者のすべての市民が対象では。

答 すべての人が思いやりの心、助け合いの心を持つような事業を関係部署や関係団体との連携を図り、展開していきたい。

問 障害者差別解消法を踏まえ、公共性の高いイベントには充実したサービス(手話通訳者・点字配布物)が必要では。

答 手話通訳者の配置、点字配布物の用意をこれまで以上に努

めていく。

要望 誰もが情報保障された飯能市に。

問 マーケティングやマネジメント能力と飯能ブランド化への推進力等持ち合わせた単独の観光部署が必要と考えるが。

答 職員の意識改革、組織内部の見直し、新たな体制づくりが必要と感じている。

問 図書館でビブリオバトルは。

答 ビブリオバトルの開催を検討し、読書活動の推進に努める。

市民活動支援について 中心市街地に「匠通り」の提案について

大津 力

問 飯能アプリに市民がイベント情報を告知することはできないか。

答 市の公式のものである関係から、市民の方が直接掲載することは様々な面から難しい。別ホームページや共通のアカウン

問 中心市街地の歴史的建造物を活かして、木工、鉄工、ガラス工、美術、手芸等の職人、芸術家の方に店舗に入っていただき「匠通り」と称して、観光名所とするアイデアはいかがが。

答 市内各所で、綿々と引き継がれてきた匠の技や現代感覚の様々な作品、商品に来訪者が惹きつけられ、魅力ある空間や景観が形成されるなど、新たな観光資源ともなり得る提案であると感じている。

公共交通計画の目に見える具体を 移動販売に支援事業を

新井 巧

問 公共交通計画も三年目を迎える。本格的な具体化、目に見える変化が期待される。全国では交通計画が大きく動き出している。実証実験も動き出している。県内ではデマンドシステムが進み、秩父、北本など二十近い自治体が始めている。タクシー事業者との連携会議等を実施し、踏み出してほしいが。

答 バスなどの既存の交通を圧迫することがあってはいけない。二十八年度は、本市の公共交通

を考える場として、市民をはじめ、関係機関で構成する協議会を設置し、検討したいと考えている。

問 地域のお店やコンビニ、生協、宅配業者等との連携などで、移動販売など買い物支援事業を検討してほしいが。

答 商工会、商店連盟に聞き取りを行った。運搬等の負担軽減ができれば実現可能な支援もある。社協等との連携、ICTの活用も含めて研究していきたい。

メツアの開設により 久下六道線の再検討はあるのか

滝沢 修

問 第五次総合振興計画では、「長期間にわたり整備等がされていない都市計画道路は再検証を行い、計画変更等の検討を行う」としているが、検討状況は。

答 メツア開設で予想される渋滞や交通安全など短期的な対策、将来像を踏まえた中長期的な展望も検討を進めている。久下六道線についてはメツア開設後、訪れた方が飯能駅や東飯能駅周辺を回遊したくなる様に中心市街地やその周辺の道路と

一体的にどうしたらよいか等の提言をまとめている。

問 メツアとの関係では、宮沢湖・天覧山・飯能河原・阿須を結ぶ都市回廊の形成とあるが、久下六道線の位置づけは。

答 都市回廊の位置づけはないと認識している。

問 久下六道線の歩道整備のJR八高線と西武線の踏切整備はいつになるのか。

答 八高線も西武線も完成は二十八年度中を予定している。

介護保険問題

要支援一・二のサービスは「新総合事業」でどうなる?

金子 敏江

問 現在、要支援一・二の方で介護サービス、予防給付を受けている人の八割以上はヘルパーによる訪問介護、デイサービスを利用している。これが地域支援事業の「新総合事業」に平成三十年三月末までに移行することになった。利用者へのサービスは後退しないか。事業所への影響はどうか伺いたい。

答 国のガイドラインでは「既にサービスを利用していても今後サービスが必要な人」、「認知機

能の低下により専門的なサービスを必要とする人」には専門的なサービスを提供する。市では利用者の状態や希望を踏まえ、専門的なサービスを必要とする人には専門的なサービスを提供する。多様な担い手によるサービスを望む人にはそのように各機関と連携して的確なサービス提供につなげていく。また、市内の事業所を訪問し、八割以上の事業所が介護報酬一割削減した給付でできると回答している。

飯能市の先進事例を視察に來られました

飯能市では、エコツーリズム、ローケーションスーツサービスなど数々の特色ある事業に、また、市議会では、タブレット端末導入（ペーパーレス会議）など、議会改革に取り組んでいます。〇他市区町村議会議員の行政視察の受け入れ状況
(平成二十八年四月四日現在)

埼玉県杉戸町議会(議会運営委員会)・十名(八月十一日)
・タブレット端末の導入
山梨県南アルプス市議会(公明党)会派)・三名(八月十一日)
・シティブロモーション推進事業
静岡県清水町議会(議会運営委員会)・

八名(八月十九日)
・ICT活用による議会改革の推進

兵庫県たつの市議会(議会運営委員会)・十名(八月二十一日)
・議会改革の取組み
・タブレット端末導入による議会運営

香川県坂出市議会(議会運営委員会)・十名(八月二十一日)
・タブレット端末を導入した議会運営

大分県日田市議会(議会運営委員会)・十一名(八月二十七日)
・議会運営について(タブレット端末、政務活動費)

東京都青梅市議会(議会運営委員会)・十一名(八月二十七日)
・タブレット端末について

愛知県蟹江町議会(新風)会派)・四名(八月二日)
・タブレット端末の導入

兵庫県川西市議会(議会運営委員会)・十三名(八月八日)
・議会改革について
・ICTを活用した議会運営

京都府福知山市議会(議会改革検討会議)・九名(八月十日)
・議会のICT化について

福島県三春町議会(議会運営委員会)・九名(八月十八日)
・タブレット端末の導入
・反問権の実施

岩手県久慈市議会(新政会会派)・六名(八月十九日)
・タブレット端末の活用



「市政に対する一般質問」の様子を配信しています



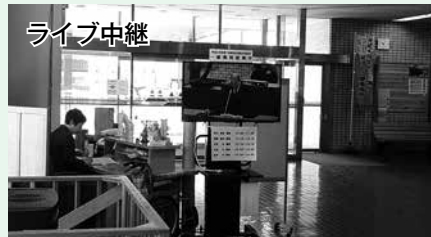
飯能市ホームページ「市議会」の議会中継専用ページからご覧ください。

※場合によっては、掲載が遅れることがありますのでご了承ください。

「市政に対する一般質問」の ライブ中継を始めました

平成28年3月
定例会から市役所
本庁舎1階ロビー
において一般質問
のライブ中継を開
始しました。

ライブ中継



市民から市議会へ提出

陳情

○の中の数字は陳情番号

① 軽度外傷性脳損傷・脳しん
とうの周知と予防、その危
険性や予後の相談の出来る
窓口などの設置を求める陳
情

提出者

軽度外傷性脳損傷仲間の会

代表 藤本 久美子
外四名

② 宇宙船地球号を守る為の陳
情・地球社会建設決議陳情書

提出者

荒木 實

市議会から国等へ提出

議員提出議案として提出され、
議会の議決を得て国等へ提出し
たもの。

意見書

児童虐待防止対策の抜本強化
を求める意見書(抜粋)

国におかれては、早期に児童
福祉法等改正案を国会に提出す
るとともに、下記の事項につい
ても速やかに実施するよう強く
求めるものである。

記

一 「子育て世代包括支援セン
ター」を法定化し、全国展開を
図ること。また、養育支援訪
問事業や、ホームスタート(家
庭訪問型子育て支援)事業を全
ての自治体で実施できるよう
にすること。

二 児童相談所全国共通ダイヤ
ル「一八九」の更なる周知を図
るとともに、通報しやすい体
制を整えること。

三 児童相談所の体制や専門性
を抜本的に強化すること。

四 児童相談所と関係機関との
間における緊密な連携体制を
再構築すること。

五 一時保護所における環境改
善を早急に図るとともに、量
的拡大を図ること。

六 被虐待児童について、十八
歳を超えても引き続き自立支
援が受けられるようにすると
ともに、施設退所後や里親委
託後の児童等に対しきめ細か
なアフターケア事業を全国で
実施すること。

衆議院議長、参議院議長、
内閣総理大臣、総務大臣、法
務大臣、文部科学大臣、厚生
労働大臣、国家公安委員会委
員長あて

請願・陳情の提出方法について … 市民の声を市政に …

本文(例)

〇〇〇〇に関する請願
(趣旨)
.....
以上、地方自治法第124条の規定に
より請願いたします。

平成 年 月 日
住 所
氏 名 印

紹介議員 ◇◇◇◇
同 ▼▼▼▼
同 □□□□

飯能市議会議長 〇〇〇〇様

署名簿(例)

住 所	氏 名	印

市政などについての意見や要望を議会に提出する
ことができます。このことを請願または陳情とい
います。

請願は、紹介議員(二名または三名)が必要で、
議会の審査対象となり、担当の常任委員会で慎重に
審査し、本会議において採決を行います。

陳情は、紹介議員は必要ありませんが、原則とし
て議会の審査対象にはならず、議場に陳情の写しを
配付するのみとなります。

※書式例(請願の場合)A4縦書きでも可。提出者、署名者は住所、氏名(署名または記名押印)をお願いします。

第5次飯能市総合振興計画基本構想(案)を原案可決

12月定例会で閉会中の継続審査となった第5次飯能市総合振興計画基本構想(案)は、第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会において3日間慎重な審査を行い、原案可決(多数)いたしました。

特別委員会での主な審査内容は、次のとおりです

第四次飯能市総合振興基本計画が平成二十七年年度をもって終了するので、新たに、総合的かつ計画的な行政運営を図るための指針として、平成二十八年度から平成三十七年度までの十か年を計画期間とした第五次飯能市総合振興計画基本構想を定めるもの。

第五次飯能市総合振興計画審査特別委員会

○総合振興計画は市政の総合的・計画的な行政運営の指針であると同時に、市民や民間団体等の地域活動における共通目標・行動指針であることから、計画をまとめた主体は市だが、そこには市民の意見や意思が反映されていること。

○「オンラインワン、ナンバーワンの森林文化都市」については、「オンラインワン」は、森林を育て、森林に育てられてきた人々の営みや歴史、先人が築き上げてきた本市の独自性といった意味でのオンラインワンであること。「ナンバーワン」は、その独自性が単なる独自性だけでなく、他地域の人人々に魅力あるものとして高く認められ、また認められるよう求心力を高めていくことが重要であることから、敢えてナンバーワンを目指すとして、二つの言葉を並べたこと。

○目標交流人口を年間四百八十八万人と設定した根拠は、新たな交流施設メツツアの交流人口を約百万人と見込み、この波及効果が期待されるあけぼの子どもの森公園や市内観光スポット等への交流人口増加をこれまでのデータを参考に見込んだこと。

○本市は市域の七六%を占める豊かな森林、そして清らかな河川や宮沢湖、名栗湖など貴重な水と緑を有しており、これらは市民の誇りであること。これまでは水と緑をまちづくりに積極的に生かす視点としては希薄であったが、第五次総合振興計画では本市の特性を十二分に生かし、水と緑の交流をまちづくりの新機軸に位置付け、まちづくりの刷新を図っていくこと。



飯能まつり

○メツツアとあけぼの子どもの森公園をつなぐ阿須小久保線は最重要路線として整備を進めること。ウォーキングやハイキングなどでの交流スポットの回遊を想定し、交流拠点をつなぐルート開発に取り組むこと。

○市では現在、地域福祉に対する市民の意識を変えるため「ニュー福祉」構想を掲げ、福祉に関わる人だけでなく、全ての人に福祉に対して関心を持っていたき、参加・行動していただくよう取り組んでいること。

○市民が住み続けたい最大の理由は身近で豊かな自然環境であることから、森林文化都市として、自然環境と都市環境が調和したまち、それにふさわしい街並み、かつ安全な交通環境や都市基盤なども求められること。



あけぼの子どもの森公園

○山間地域振興における小さな拠点づくりについては、集落移転のよつに居住の集約化を進めるものではなく、人口が減少しても地域住民の暮らしが守られ、地域に住み続けられることを目指す取り組みであること。そのために住民生活に必要なサービスについて一定のエリア内に集約し、拠点と周辺集落をネットワークで結び、生活を維持していく取り組みであること。

▼討論 反対の立場

ムーミンテーマパークについて交通問題のマイナスイメージ、財政的な負担などの具体的な分析、試算もない中で、今後十年間の飯能市の総合振興計画の柱に据えるには無理があること。市民生活の実態をきちんと把握し、市民の暮らしに寄り添った計画として不十分であること。また、県水の縮小・中止を求めること。



会議風景

「議会改革特別委員会」第二回中間報告書(抜粋)

本委員会は、本市議会の議会改革について必要な調査、研究を行い、議会改革をさらに推進するとともに、市民に身近で開かれた議会を目指すため、平成二十六年三月定例会(平成二十六年三月十八日)において設置され、閉会中も継続して調査をしてきたところである。

本委員会の調査事項について、平成二十七年三月定例会において中間報告を行ったが、以下、その後の各回の主な調査、研究の内容等について中間報告する。

○クラウドシステムについて

・クラウドシステムについては操作性、コスト面、フォルダの階層の制限がないことなどを考慮して業者を選定する予定であること、来年度のシステム構成についてはタブレット端末の通信料を抑えるため、市役所本庁舎四階・五階で使用している無線LANを、庁舎外のインターネットにつなげる工事を行う予定であること、現在使用しているNASについては特に費用負担がなく、危機管理対策としてインターネットにつながらなくなった場合などに備えるため、現在のまま残しておく予定であることなどを委員から了承された。

○一般質問のライブ中継を市役所ロビーで放映することについて

・三月定例会から実施すること、ま

た、発言の訂正等があった場合は飯能ケーブルテレビの録画放送でテロップを流すこと、議事進行などが発生した場合も放映は止めないこと、休憩中の画面は議場の静止画に引き換え、休憩中ですのテロップを表示することを委員会として決定した。



1階ロビーでの議会ライブ中継

○議案書のホームページについて
・議案書については基本的にデータベース、予算書・決算書については基本的に紙ベースとして、データベースでも見られるようにすることとした。

○議案書のホームページ掲載について

・三月定例会から議案書をホームページに掲載するが、請願、陳情、要望等のホームページへの掲載については、紹介議員のあるもの(請願)は全て掲載(請願文を掲載)すること

とを委員会として決定した。

○新型タブレットの使用について

・三月二日に開催された市議会報告事項については、アプリケーショントの制限を解除すること、使用基準を見直すことであり、委員に周知された。

○決算特別委員会について

・決算特別委員会の見直しについては委員の選任、総括質疑などについて協議したが、引き続き議論が必要のため、会派に持ち帰り平成二十八年六月までに結論を出すこととした。

○タブレット端末導入における行政視察の受け入れについて

・ペーパーレス化の推進等を図るため、全国に先駆けてタブレット端末の導入を平成二十四年度に実施して以来、平成二十八年二月末現在で百八十六自治体の行政視察の受け入れを行った。



会議風景

相田博之議会改革特別委員会委員長が「タブレット端末の導入」についての研修講師を務めました。

平成二十八年二月二十六日の市町村職員中央研究所の研修事業において、相田博之議会改革特別委員会委員長が、全国の市町村議会事務局職員百七名に対して、飯能市議会の先進的な取り組み事例である「タブレット端末の導入」についての研修講師を務めました。



研修会

「飯能市議会と飯能市観光協会との意見交換会」を開催しました。

飯能市議会では、市民との意見交換の場を多様に設け、市民参加の機会を保障するため、平成二十八年二月十七日に、「飯能市議会と飯能市観光協会との意見交換会」を開催しました。

飯能市観光協会からの報告等を受けた後、意見交換を行いました。

◆意見交換会のテーマ◆

『飯能市の観光について』

○観光の基盤整備(インフラ)の促進

・ハイキングコースへの公衆トイレ・道標(市内同一の仕様)の設置促進、山林河川(溪畔林を含む)・道路の路肩等の景観整備の促進

○財政・事業運営の支援

・財政的支援独自性を高められるような柔軟な予算措置

・飯能駅観光案内所「ぷらっと飯能」の充実と、お土産ショップ「夢馬」の今後の運営について

・フィンランドとの交流促進(その他諸外国との交流促進により国際観光都市を目指すために)

・各種イベントの見直し(同時開催の催し物の集約)



意見交換会

市議会案内板

HANNO



あけぼの子ども森公園

審議の日程

3月定例会

- 2月26日 開会、市長提出議案の上程・提案理由説明
- 3月 1日 議案質疑
- 2日 議案質疑、議案の委員会付託
- 3日 一般質問
- 4日 一般質問
- 8日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 9日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 10日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 17日 委員長報告・質疑・討論・採決
議会改革特別委員会の第2回中間報告
埼玉県後期高齢者広域連合議会議員選挙
議員提出議案の上程・提案理由説明・採決
議長の選挙、副議長の選挙
常任委員の所属変更の件
議会運営委員会補欠委員の選任
議会改革特別委員会補欠委員の選任
埼玉西部消防組合議会議員の補欠選挙
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

1月

- 5日 飯能市議会広報委員会
- 15日 第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会第2日目
- 19日 埼玉県都市競艇組合議会臨時会
- 22日 議会改革特別委員会
- 27日 飯能市地域創生プログラム策定協議会
- 28日 第5次飯能市総合振興計画審査特別委員会第3日目

2月

- 4日 第3次飯能市山間地域振興計画策定協議会
- 9日 代表者会議
- 10日 埼玉西部消防組合議会定例会
- 12日 広域飯能斎場組合議会定例会
- 16日 全員協議会
議会改革特別委員会
- 17日 飯能市観光協会との意見交換会
- 23日 議会運営委員会
- 26日 第1回定例会(3月17日まで)
飯能市議会広報委員会

3月

- 1日 飯能市議会IT会議
- 3日 議会改革特別委員会
- 16日 飯能市教育大綱策定協議会
- 29日 埼玉県都市競艇組合議会定例会

4月

- 4日 飯能市議会広報委員会

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<http://www.city.hanno.saitama.jp>

議案書をホームページに 掲載しました！

平成28年3月定例会より、議案書を市議会ホームページ議案一覧表にてご覧いただけるようになりました。ぜひご覧ください。

議会を傍聴しませんか

3月定例会では延べ47名の方が傍聴されました。

次回の6月定例会は
6月3日開会予定です。

会期日程等は5月31日頃内定します。

会議録は次の施設またはホームページでご覧になれます

市役所内:議会事務局(4階)・市政資料コーナー(3階)

戸田競艇場開催日(埼玉県都市競艇組合主催分)

5/14~5/17、5/20~5/23、6/2~6/5、6/8~6/13

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています)

* 編集を終えて *

新年度がスタートしました。市の今後10年間の計画、「第5次飯能市総合振興計画」の始まりです。10年後の推計人口は7万6000人ですが計画では8万人としました。地方創生のもと飯能市版の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」も始まります。

今年は、日高市・飯能市を中心に設置された高麗郡の建群1300年でもあります。高句麗から高麗群へ1799人が移住したのが始まりです。脈々と受け継がれてきた歴史の重さを感じます。

様々な施策が盛り込まれた飯能市の計画、今後10年間に長い歴史への1ページとなるよう、個性豊かな飯能市づくりを展開する時です。

(滝沢)



広報委員 (○委員長 ○副委員長)

○滝沢 修 ○鳥居誠明 栗原義幸 中元 太
大津 力 野口和彦 新井 巧 平沼 弘

市議会だより

6月定例会

- 平成28年度一般会計補正予算を可決
- 市税条例一部改正など可決、承認

目次

議案の審議	②・③
委員会の審査	④
議決結果・人事案件	⑤
市政に対する一般質問	⑥～⑧
意見書・視察受け入れ状況	⑨
市議会案内板	⑩



議案の審議

6月定例会が開催されました

6月定例会は、6月3日から17日までの15日間開かれ、市長提出議案14件、議員提出議案3件について審議を行い、すべてを議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

6月定例会

市長提出議案

④7 専決処分の承認を求めることについて(飯能市税条例等の一部を改正する条例)

地方税法等の一部改正に伴い、本市においても同様の措置をとるため提案するもの。

問 新築住宅等に対する固定資産税の減額の規定について。

答 熱損失防止改修(省エネ改修)工事で新たに補助金等をもちつて工事を実施した場合、工事費用の対象の金額が五十万円以上の工事が対象となり、この補助金を控除して判定を行う。

④9 専決処分の承認を求めることについて(飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

地方税法等の一部改正に伴い、本市においても同様の措置をとるため提案するもの。

問 軽減措置が拡大されるが、本市の対象人数及び軽減額は。

答 今回の対象となる五割軽減及び二割軽減の合計で、軽減対象人数は約六千三百五十

人、軽減額は約六千八百七十万円である。

⑤0 飯能市税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うため提案するもの。

問 特定一般用医薬品等の購入に係る医療費控除の特例措置とは。

答 健康診断や予防接種などの取り組みをした方が、生活習慣病等に対して療養の給付として支給される薬剤、代替性の高い医薬品を購入した場合、その購入対価を支払った場合にその支払った費用が対象となる。一万二千円を超える部分が対象となり、超える金額が八万八千円までが対象となる。これまでの医療費控除と選択していたとき、二重適用はできないということで、選択制の規定となる。

問 この医療費控除の特例措置は何を目的に導入されたのか。

答 医療、介護需要の増大をできる限り抑えつつ、国民の健康寿命が延伸する社会を実現するために国民みずから自己健康管理を行うことを推進することが重要であると位置づけられたことである。これに

ついては薬局や薬剤師を活用した中でセルフメディケーションと呼ばれる自己治療の推進を行うための制度を考えたというところであり、税制面においてバックアップするというものである。

⑤2 飯能市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、小規模保育事業所A型及び保育所型事業所内保育事業所に配置しなければならぬ保育士の数の算定に当たり、当分の間、保育士資格を有しない一定の者を保育士とみなすことができる特例を設けるなどのため提案するもの。

問 保育士等の資格を持った保育士と同等と市長が認めるという場合の基準は。

答 埼玉県が行う子育て支援員研修を受講して終了した方に市長が認める者という形で考えている。研修内容は、共通科目、専門科目、あるいは実習を通して全部で八日間の研修を終了した者ということ。

反対の立場

新たな給付型は、民間企業が保育分野へ参入できる仕組みがつくられ、保育士の配置基準や資格要件が大幅に緩和され、後退するという点である。施設型給付には三種あり、その一つが地域型保育事業の関係で四種類となっている。その内の小規模保育事業の保育士の配置基準は、認可保育所と比べてA型はほぼ同じ配置基準、保育士資格者に限定しているが、B型は国基準の五割でよい、C型は無資格で家庭的従事者でよいとしている。しかし、限られた職員や環境であることから高い専門性が求められる、むしろ基準を引き上げることが求められる。待機児童問題は解消できなく、保育の質の低下をもたらすという点で、反対する。

賛成の立場 保育の受け皿が不足していることに鑑み、特例を設けることでそれぞれの事業に見合った人材を配置し、家庭的保育事業等の開設を希望する事業者の参入を促すとともに、保育の質を落とさないように配慮しつつ、保育士が行う業務についての要件を一定程度柔軟化することにより保育の担い手の裾野を広げるものであり、保育士の勤務環境の改善にもつながるものと期待されているので、賛成する。

⑤③ 飯能市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件に義務教育学校の教諭となる資格を有する者を加えるため提案するもの。

問 放課後児童支援員の状況は。

答 市内には十五ヶ所の児童クラブがあり、七十四名の支援員がいる。内訳は、保育士が十六名、幼稚園は六名、小学校教諭三名、中学校教諭は五名、高校教諭は三名、二年以上の経験をした有資格者が四十名、その他一名である。

問 義務教育学校とは。

答 小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う新たな学校の種類として学校教育法に規定され、今年の四月一日から施行されたものである。心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育について、基礎的なものから一貫して施すことを目的としている。新教科を創設したり、学年を前倒して先取り学習を実施したり、地域の実情等に応じた柔軟な力

キュラムを編成することが可能となっている。

⑤④ 平成二十八年度飯能市一般会計補正予算(第一号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ一億九百十五万二千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ三百六億五千九百十五万二千円とするもの。

問 一次募集の地方創生加速化交付金の不採択の理由は。

答 国による採択については、自立性、官民協働、地域間連携、政策関連連携等を着眼点とする先駆性のある事業ということで、これらを評価項目ごとに採点されたようである。これらについて先駆性が認められなかったということで、不採択となったというふうに考えている。

なお、二次募集では、地域間連携、政策関連連携をさらに強化し、また地域の稼ぐ力、これを醸成するということで事業の組み立て直しをしている。

問 どのように人権教育研究事業が行われるのか。

答 平成二十八年度、文部科学省の人権教育研究推進事業を受けた埼玉県が人権教育研究指定校事業として富士見小学校に指定したことによって実施す

る事業である。児童同士の学び合い学習により、一人ひとりの自尊感情を育みながら互いに認め合い、高め合うという人権感覚の視点を取り入れた学びの形づくりの研究となっている。



⑤⑤ 平成二十八年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第一号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ九十万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ六十二億四千三百九十二万円とするもの。

問 障害年金や遺族年金といった非課税になっていたものが、課税とみなされるとい

とであるが、その中身は。

答 八月一日から非課税年金、遺族年金や障害年金も含まれるようになり、収入額などの合計が八十万円を超える方が第二段階から第三段階の一段上に位置づけされるといったことである。

▼討論▼
反対の立場

低所得の施設利用者の食費、居住費を補填する補足給付の給付額の決定に当たり、非課税年金である遺族年金、障害年金を収入として勘案するというもので、その結果、所得段階が第三段階に上がり、食費、居住費の軽減措置の上限が上がることににより負担がふえるという内容で、補足給付の縮減となり、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、在宅でショートステイを利用する人も対象となるため、反対する。

賛成の立場

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設及びショートステイの利用において、本来であれば利用者本人が負担すべき食費、部屋代について、所得の低い方たちに負担限度額を設け、本人の収入判定に使われる年金収入の範囲を変更し、非課税年金である遺族

年金や障害年金もこれに含めるという制度改正によるものである。この収入判定の方法の変更は八月から全国一律の取り扱いとなり、非課税年金だけが優遇されているという不公平感があり、それを受けての税制改正であり、賛成する。

⑤⑥ 平成二十八年度飯能市水道事業会計補正予算(第一号)

県補助金が三百四十二万八千円から二千七百八十四万円に増額となるもの。

問 補助金の内容については。

答 地震対策等の地域指定があり、埼玉県全域が指定されている。条件は配水管、送水管、導水管の更新事業ということになっている。既に当初予算で計上している八幡町地内の配水管布設工事、仲町地内の配水管布設工事、東町地内の配水管布設工事に補助金を充当させていた

問 年間の事業計画が出されているが、補助金が入ったことにより、老朽管の布設替えを少し延伸できるのか。

答 補填財源を減らして、今年度の事業の管路の延伸については、当初の計画どおりの延長と考えている。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的に、より詳しく審査をするため総務、厚生文教、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。6月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務委員会

④7 専決処分の承認を求めることについて(飯能市税条例等の一部を改正する条例)

●固定資産税の家屋減額申請状況について、省エネ改修の実績について、平成二十八年度は六件、減額は四万九千円であること。

●たばこ税の申告状況等は、旧三級品については、経過措置で対応しており、四段階に分けて課税していくものであり、平成二十八年度が第一段階になる。今回は、千本あたりの税率との差額四百三十円が引き上げられるもので、今回の経過措置による影響額は約二百万円の増額を見込んでいること。

⑤0 飯能市税条例の一部を改正する条例

●健康診断や予防接種など日常的に一定の健康への取り組みをしている方が、特定の医療品を購入することにより、結果的に病気の予防や改善につながる医薬品の購入が対象になること。

⑤4 平成二十八年度飯能市一般会計補正予算(第一号)

●商工会議所からプレミアム付き商品券の未換金分を寄附して

もらい、二千二百三十六枚の未換金があり、そのうちプレミアム分三十パーセントを除いた金額となっており、未換金額百六万八千円の内、プレミアム分は、二十四万六千四百六十二円でこの額を国へ返還し、販売代金の八十二万五千五百三十八円が今回の寄附金額となること。

プレミアム付き商品券



厚生文教委員会

⑤2 飯能市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●小規模保育事業型A型と定員二十人以上の保育所型事業所内保育事業において、当分の間、幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭の免許を有するものと、一日八時間を越えて開所する場合

に、開所時間を通じて必要となる保育士の数と利用定員に応じて置かなければならない保育士との差の範囲において、保育士と同等の知識や経験を有すると市長が認めた者を、全体数の三分の一を超えない範囲で保育士とみなすことができること。(反対討論あり)

⑤3 飯能市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●学校教育法の一部を改正する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、省令の放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準が改正され、放課後児童支援員の資格要件に義務教育学校の教諭が新たに規定されたため、同基準の規定を引用している、本条例の一部を改正するものであること。

⑤5 平成二十八年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第一号)

●介護保険制度改正の内容について、介護保険施設やショートステイを利用する際の食費・部屋代について、負担軽減を図るための負担限度額の設定における収入判定において、平成二十八年八月から、非課税年金である遺族年金と障害年金も含めることとなったため、システム改

修すること。

(反対討論あり)

経済建設委員会

⑤4 平成二十八年度飯能市一般会計補正予算(第一号)

●飯能市全体の公共交通の考え方については、今後協議会を設置し、市民の皆様、地域、交通事業者などの方々を含め、これからの公共交通機関をどう守り、育て、つくっていくのかを検討すること。

●飯能住まいを広く効果的に訴求するためのポスター作成にかかる経費とともに、飯能住まいを疑似体験できるような移住体験ツアーの企画立案に関することを行うこと。

●空き家実態調査の結果を受け、所有者の特定と意向調査、データベース化等を実施するための経費を計上すること。

●老朽管更新工事に係る県補助金については、当初、生活基盤施設耐震化等交付金のうち、基幹水道構造物耐震化事業のみが対象となっており、平成二十七年以前に採択された事業が対象であったが、全国の自治体から老朽管更新事業に対する要望が多かったため、平成二十八年度に限り認められたこと。

平成28年6月定例会 議決結果

賛否が分かれた議案

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略、○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議 案 名	議席番号・議員名																			議決結果
		1 栗原 義幸	2 中元 太	3 大津 力	4 野口 和彦	5 滝沢 修	6 山田 利子	7 新井 巧	8 金子 敏江	9 内田 健次	10 平沼 弘	11 (欠員)	12 加藤由貴夫	13 砂長 恒夫	14 鳥居 誠明	15 松橋 律子	16 加瀬 弘貴	17 梶田 博之	18 野田 直人	19 武藤 文夫	
52	飯能市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
55	平成28年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決

※砂長恒夫議員は議長のため、採決には加わっていません。

全会一致の議案等

議案番号	議 案 名	議決結果
47	専決処分の承認を求めることについて(飯能市税条例等の一部を改正する条例)	承 認
48	専決処分の承認を求めることについて(飯能市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承 認
49	専決処分の承認を求めることについて(飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承 認
50	飯能市税条例等の一部を改正する条例	原案可決
51	飯能市都市計画税条例の一部を改正する条例	原案可決
53	飯能市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
54	平成28年度飯能市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
56	平成28年度飯能市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
57	市道路線の認定について(大字双柳地内)	原案可決
58	市道路線の認定について(大字川寺地内)	原案可決
59	契約の一部変更について	原案可決
	特定事件の閉会中における継続調査申し出の件(総務委員会・経済建設委員会)	申出書のとおり
	議員派遣の件	派 遣
60	公平委員会委員の選任について(井上 孝治)	同 意
議提2	飯能市議会基本条例の一部を改正する条例	原案可決
議提3	骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書	原案可決
議提4	食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書	原案可決

議員35年以上



武藤 文夫議員

全国・埼玉県各市議会議員会の定期総会において、三十五年以上市議会議員の職にある者として、武藤文夫議員が、十五年以上表彰を加藤由貴夫議員、砂長恒夫議員、鳥居誠明議員、滝沢修議員が受けました。
また、加藤由貴夫議員は、四年以上正副議長の職にある者としても表彰を受けました。

議員表彰



井上 孝治氏

公平委員会委員として、本橋勇造氏が任期満了となるので、新たに井上孝治氏を選任することについて、全員同意しました。

公平委員会委員の選任について

人事案件

議員15年以上



滝沢 修議員

議員15年以上



鳥居 誠明議員

議員15年以上



砂長 恒夫議員

議員15年以上
正副議長4年以上



加藤 由貴夫議員

市政に対する

一般質問

一般質問とは、議員がそれぞれの視点から市の行政全般について市長(執行部)に質問し、説明を求めるものです。

「市議会だより」には、質問者本人が執筆したものを、発言順に掲載しています。

今回は、12人が質問にたちました。

広域行政について 五市で政令指定都市を

野田 直人

問 平成二十六年年度から飯能市・所沢市・狭山市・入間市・日高市の五市で構成される埼玉西部消防組合議会が発足した。本年の職員数は八百六十三人を超え、埼玉県内では、政令指定都市であるさいたま市に次いで二番目の規模。広域行政事務組合では埼玉県内でトップの規模となる大規模な消防組合である。広域化については消防だけにとらわれることなく、将来的には埼玉西部消防局を構成する五市による政令指定都市

を目指すべきかと考える。構成五市の人口は、合計して約七十八万人に上る。現在の政令指定都市の二十市の中で人口が七十万万人の市は、静岡市、岡山市、相模原市、熊本市の四市となっている。人口規模だけ見れば、他の政令指定都市と遜色ない規模である。市長の考えをお聞きたい。

答 政令指定都市のお話があったが、今後そのような動向が生まれてくれば注意深く見守っていただきたい。

市民要望関係 防犯灯のLED化促進について

野口 和彦

問 現在の防犯灯の維持管理においては、各自治会が請け負う仕組みとなっており、大変市民負担の大きい状況です。近年の他の自治体では、ESCO方式による民間企業のリースを活用した導入事例が相次いでおり、市民負担の軽減や消費電力の削減、長寿命化によるコストメリットやCO2排出量の削減、何より初期投資が掛からないというメリットを実現しております。ESCO方式は、一斉にLED防犯灯に交

換する工事と、その後の十年間に渡る維持管理業務を合わせて行うもので、市は電気料金が下がった一部でESCO事業の費用として十年間分割して事業者を支払います。長年検討されている中、いよいよ実行しても良い時期です。翌年度から実施することを要望しますが、いかがでしょうか。

答 最適な方法を精査し、防犯灯のLED化を推進して参りたいと考えております。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

「路面下空洞調査」実施を 「森林認証制度」の取得 「子どもの安全」

中元 太

問 空洞調査の有用性と市の見解については。

答 陥没事故を未然に防ぐ有効な調査。路盤の傷みや埋設管の老朽化等により、路面陥没も増えることが予想される。調査の重要性が増すと考える。

◆路面下空洞調査を含めたインフラ維持整備を要望した。

問 西川材普及のため、森林認証を取得すべきでは。

答 費用対効果の検証をしながら国際的な森林認証の取得を行

鳥獣対策とジビエの進捗は メツァ開園に道路インフラはどうなるのか

梶田 博之

問 フィールドスポーツが盛んになってきたが、問題点は。

答 仕組みづくりについて、関係部署や関係団体と協議を進めたい。

問 その際、排他的にならずに共存が重要だと思うが。

答 共存し、事故もなく飯能市の自然を楽しんでいただくことが大切。

問 野生鳥獣対策と活用の進捗はどうか。

答 対策の強化を図った。活用については特にジビエを産業化できるようにオール飯能で取り組む体制を進めている。

問 久下六道線はどうするのか。

答 現在は凍結しているが、今後検討していきたい。

問 メツァ開園に市内の道路インフラはどうなるのか。

答 県などと協議を進めたい。それでも間に合うのか。少なくとも数万人が一時に集まるのを吸収できるのか。

答 プロジェクトチームの中で検討していきたい。

問 街路灯組合は大丈夫か。

答 会員数の減少で維持管理が困難になってきている。明かりを絶やさずに防犯灯への切りかえを進めたい。

地方創生推進交付金の活用について 企業版ふるさと納税制度について

栗原 義幸

問 飯能市では第五次総合振興計画も策定され本格的な地方創生の取り組みが始まった。国でも地域再生法が改正され、地方創生に積極的に取り組む自治体を支援する新型交付金の活用が本市においても期待するところ。進捗とスケジュールを聞く。

答 新型交付金の交付要件として交付対象とする事業は総理大臣の認定を必要とする。本市では今年度の当初予算に計上した事業の中から交付対象として可

能性のある事業をパッケージ化し、認定へ向けて現在、内閣府と直接協議している。認定及び交付決定は八月から九月の時期が示されている。

問 企業版ふるさと納税制度もここで新たに創設された。本市の地方創生に民間資金の活用を見込むもの。取り組み状況を聞く。



飯能河原

市長の基本姿勢について まちづくりについて 防災の課題について

鳥居 誠明

問 市政は職員に任せ、市長は外回りに専念するとは。

答 大きな外交で日本一の飯能市に。この十年間、飯能市は企業誘致二十七社、雇用が千四百四十人増、人口は三千七百人減。日高市は七十七社で雇用が二千五百人増、人口は二千四百三十人増。飯能市はこれをどう考えるか。

答 他市がどうでは無く飯能市独自の政策が大切である。

要望 学べべき事があれば学べべき。
問 森林文化都市宣言をしている

が飯能駅周辺に雰囲気がないが。

答 プロジェクトチームで検討する。

問 市街地に歩行者が休憩できる「せせらぎ」のある通りはどうか。

答 休憩施設を設置することは可能。

問 久下六道線の安全対策に電柱の撤去や一方通行にしては。

答 協議をしながら検討する。

問 市街地に避難所が足りないが。

答 協力避難所については、必要により、お手伝いをする。

問 耐震性のない避難所があるが。

答 関係部署と協議し検討する。



久下六道線

ムーミンテemapark 情報共有と支援で地域活性化を

新井 巧

問 ムーミンテemaparkについて、市民にできるかぎり情報をオープンにして情報を共有し、市民が好感をもつて積極的に協力しあえるような支援を望む。そこで相談・支援窓口を明確にし、商工会議所や商店街、農家も含めて情報提供して関係者の支援と援助をしてほしい。フィニティックスと地方創生の協定書を交わしているのので一方的な情報提供でなく、対等な立場で進めることが必要だが。

答 担当窓口は、地方創生推進室が行い、個々の協議は担当課が対応する。関係団体と連携を密にし、地方創生における観光振興をお互いに協力して進めていきたい。

問 飯能河原がこれまで以上に注目されるなかで、駐車場と周辺の遊歩道整備、既存のガードレールを趣きのある間伐材ガードレールに換えてほしいが。

答 飯能河原利用協議会や関係団体等のご意見を参考に検討していきたい。

地域創生について 山間地が目指す地域づくり

(吾野・東吾野地域)

平沼 弘

問 地域創生について、地域資源を有効活用し人口増加を図るため、特色ある教育環境、若者向きの企業誘致、健康推進による交流人口の増加を基本に考案し、吾野・東吾野地域内に、

一、教育文化エリア(教育施設を集結させ、小中一貫、英語特区、自然・文化教育を行う)

二、健康介護福祉増進エリア(東吾野医療介護センターと共に、健康推進スポーツセンターを開設し、健康増進、認知症等予防を行う)

三、ビジネス研修エリア(光ファイバー網を利用しIT企業を誘致し、若者の移住を促す、林業研修所を開設し、林業家の育成を目指す)

四、レクリエーションエリア(ラン・バイクトレイル等の専用コースを造る)

五、西川林業エリア(広域)

答 総合振興計画等の地域説明会を通じて、地域の皆様とひざを交えた話し合いをしたい。

国際興業バスの減便について 日本一の森林文化都市を目指して

内田 健次

問 今回の減便告知には驚いた。他の告知方法はなかったか。

答 市としても遺憾に思う。自治会連合会等各方面で利用者増を訴えたが、つながらなかった。

問 森林文化都市について質問するが、まず森林の役割は。

答 国土保全、水源涵養、地球温暖化対策等多面的機能があり、個人財産だが、公益的機能を考える。と社会全体で支えることが重要。

問 森林法改正後の施策は。

答 採算性を高める方向に見直しが行われたと認識している。

問 山で儲かる仕組みは。

答 打開策として戦略、営業力が重要。集約化、機械化、路網整備は。

問 森林組合の経営改革の大きな柱として取り組みを推進する。

答 集約化には。

問 所有者の特定と境界の明確化が課題。

問 ウッソンの取り組みについては。

答 ぜひとも検討したい。

問 認証取得は。

答 面積は広いほど価値がある。もくねん工房は。

問 方向性をともに考えたい。

ヘルプカード発行を

山田 利子

問 ヘルプカードとは、身体、知的、精神、および難病などの障害のある方が携帯し、自らの障害への理解や「助け」を求めるカードで住所、医療情報、配慮してほしいこと、いざというときの対処情報などで記載されている。特に、内部障害など見た目ではわからない方が、困ったとき周囲に支援を求める際に有効である。埼玉県内でも現在、六十三市町村中四十三市町で配布。障害のみならず高齢者にも有効であると美里町では各家庭に配布し

ているようである。飯能市の現状と取り組みはどうか。

答 飯能市も住所、氏名、緊急連絡先、服薬など、記入できるヘルプカードは障害者福祉課窓口にある。しかし、今お聞きしたような「ヘルプカード」は作成してない。周りに認識してもらうために、日頃からバックなどにつけておく「ヘルプカード」については、障害者福祉審議会等で検討いただくよう進めたいと思っている。

とされている。



熊本地震から飯能市の教訓は 避難所の対応と運営について

滝沢 修

問 四月十四、十六日の二度の強い地震に見舞われた熊本地方では甚大な被害が発生した。大規模災害に対する教訓は。

答 熊本地震の教訓を受け、飲料水の備蓄を進めるとともに、井戸水が活用できないか調査・研究をしたい。また、高齢者、障害者、女性や子どもにも配慮した避難所運営ができるようマニュアルの作成を進めたい。

問 熊本地震ではホテルや空港の駐車場など指定外の場所への避難

難もあり、避難者の把握に手間取り、支援物資も届かなかった。避難者を把握する方法は。

答 指定避難所が地域の情報収集、情報発信の要となるよう避難所の在り方を研究したい。

問 防災訓練でも要援護者の把握方法や車椅子での避難訓練などを行う必要があるのではない

飯能駅の駅舎内に 西川材利用で飯能の魅力創出を

金子 敏江

問 今年三月、飯能駅南口にムーミン屋敷を連想させる観光トイレが建設され大変喜ばれている。さらに飯能駅駅舎を東飯能駅のように腰板を張り巡らし木のベンチを置いたりして、西川材を沢山使うことにより魅力アップを。特に改札を出て正面のスペースを工夫できないか。駅は人と人との出会いの場、街の顔。森林文化都市としての風格を飯能駅から感じられる取り組みをぜひ検討してほしいが。

答 東飯能駅の木質化については、平成二十一年度の県の補助事業で地元西川材を使用して実施。飯能駅では、昨年十二月にトイレを木質化してきれいになった。駅のコンコースなどの状況を考えると乗降客の方々の手が直接触れるような箇所に西川材を活用することも一つの方策と考える。庁内の関係部署と連携しながら、まずは鉄道事業者からのご意見をいただくことから始める。

から始める。

市議会から国等へ提出

意見書

議員提出議案として提出され、議会の議決を得て国等へ提出したものの。

骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書(抜粋)

骨髄バンク事業では、ドナーの負担軽減に関して様々な取組が行われている。

しかし、ドナーが、検査や入院等で病院に出向くなどして仕事を休業した場合の補償は、現在、行われていない。

よって、政府に対し、ドナーに対する支援の充実に関し、次の事項を早期に実現するよう強く要請する。

記

一 事業主向けに策定した労働時間等見直しガイドラインの中でドナー休暇制度を明示するなど、企業等の取り組みを促進するための方策を講ずるとともに、ドナー休暇の制度化についても検討すること。

二 ドナーが、骨髄等の提供に伴う入院、通院、打合せ等のために休業する場合の補償制度の創設について検討すること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣あて

食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書(抜粋)

世界では全人類が生きるのに十分な量の食べ物が生産されているにもかかわらず、その三分の一は無駄に捨てられている。

よって政府においては、国、地方公共団体、国民、事業者が一体となって食品ロス削減に向けての取り組みを進めるため、下記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

記

一 食品ロス削減に向けて、削減目標や基本計画を策定するとともに、食品ロス削減推進本部の設置や担当大臣を明確化すること。

二 加工食品等の食品ロスを削減するため、需要予測の精度向上により過剰生産の改善を図るとともに、商慣習の見直しに取り組む事業者の拡大を推進すること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣、消費者担当大臣あて

◆飯能市の先進事例を視察に来られました◆

平成28年度 市町村議会行政視察受入一覧

平成28年7月1日現在

NO	月 日	市町村議会名	人数	視察内容
1	4月19日(火)	東京都昭島市議会 正副議長・代表者	11	・タブレット端末の導入
2	4月20日(水)	佐賀県佐賀市議会 議会運営委員会	11	・タブレット端末の導入
3	4月25日(月)	長野県議会 会派「信州・ 新風・みらい」・中野市議会	3	・飯能住まい制度
4	4月28日(木)	埼玉県伊奈町議会 会派「日本共産党」	3	・通学費補助制度
5	5月13日(金)	福岡県大野城市議会 総務企画常任委員会	10	・シティプロモーション 事業
6	5月18日(水)	佐賀県鳥栖市議会 議会運営委員会	9	・タブレット端末の導入
7	5月20日(金)	北海道江別市議会 議会運営委員会	8	・タブレット端末の導入
8	5月26日(木)	鹿児島県日置市議会 議会運営委員会	9	・タブレット端末の導入
9	5月27日(金)	埼玉県所沢市議会 会派 「自由民主党・無所属の会」	9	・飯能住まい制度
10	5月30日(月)	愛知県知立市議会 会派「知立政策研究会」	3	・タブレット端末の導入
11	6月30日(木)	埼玉県北本市議会 タブレット端末導入会議	10	・タブレット端末の導入



タブレット操作説明会を 開催しました



平成28年5月12日(木)に機種変更に伴い、タブレット操作説明会を開催しました。新機種ではクラウドシステムを導入し、より効果的にタブレット端末を使用することが可能となりました。

市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<http://www.city.hanno.saitama.jp>



音楽隊が消防団員を激励
(飯能消防団消防操法大会)

審議の日程

6月定例会

- 3日 開会、市長提出議案の上げ・提案理由説明
- 7日 議案質疑、議案の委員会付託
- 8日 一般質問
- 9日 一般質問
- 10日 一般質問
- 13日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 17日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上げ・提案理由説明・採決
議員提出議案の上げ・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

4月

- 4日 飯能市議会広報委員会
- 15日 埼玉県都市市政研究会定期総会
- 19日 埼玉県市議会議長会定期総会
- 25日 代表者会議
- 26日 関東市議会議長会定期総会

5月

- 10日 政務活動費審査会
- 12日 タブレット操作説明会
- 17日 代表者会議
- 18日 埼玉県市議会議長会第二区議長会定期総会
- 20日 議会改革特別委員会
- 24日 全員協議会
埼玉西部消防組合議会臨時会
- 31日 議会運営委員会
全国市議会議長会定期総会

6月

- 3日 第2回定例会(6月17日まで)
飯能市議会広報委員会
- 14日 議会改革特別委員会
- 17日 飯能市議会広報委員会

◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検索

クリック

☆テレビ放映しています

飯能市議会では、飯能日高テレビの番組で一般質問の様子を録画放映しています。

☆ライブ中継を始めました

平成28年3月定例会から市役所本庁舎1階ロビーにおいて一般質問のライブ中継を始めました。

議会を傍聴しませんか

6月定例会では延べ271名の方が傍聴されました。

次回の9月定例会は

8月26日開会予定です。

会期日程等は8月23日頃内定します。

会議録は次の施設またはホームページでご覧になれます

市役所内:議会事務局(4階)・市政資料コーナー(3階)

* 編集を終えて *

雨降りが続く梅雨、そして、暑い夏。

人間にとっては、つらい季節ですが、植物にとっては一番成長出来る季節。何事も適・不適、是・非があり表裏一体。

民主主義の根幹は議論し、多数決でものごとを決定するのです。多数は少数を、少数は多数を尊重しなければ争いばかりです。

(鳥居)

戸田競艇場開催日(埼玉県都市競艇組合主催分)

8/4~8/8、9/10~9/13

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています)

広報委員 (◎委員長 ○副委員長)

◎滝沢 修 ○鳥居誠明 栗原義幸 中元 太
大津 力 野口和彦 新井 巧 平沼 弘

市議会だより

9月定例会

- 平成28年度一般会計補正予算案を可決
- 平成27年度一般会計及び特別会計の決算については常任委員会で審査し、認定

目次

議案の審議	②
委員会の審査	③
平成27年度決算の概要及び審査	④・⑤
議決結果・人事案件	⑥
市政に対する一般質問・ 視察受け入れ状況	⑦～⑨
請願・意見書・委員会調査報告・ 意見交換会	⑩・⑪
市議会案内板	⑫



いろいろな分野で活躍する飯能市民(第38回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会など)

議案の審議

■一般会計補正予算など32件を議決

9月定例会は、8月26日から9月20日までの26日間開かれ、市長提出議案18件、決算認定案件12件、議員提出議案1件、請願1件、その他2件について審議を行い、議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

市長提出議案

⑥3 平成二十八年年度飯能市一般会計補正予算(第三号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ五千六百二十六万八千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ三百六億五千四百四十七千円とするもの。

主な追加の内容(万円未満切り捨て)

歳入	
地方交付税	3,276 万円
繰入金	△ 8 億 1,000 万円
繰越金	7 億 4,451 万円
市債	△ 1 億 7,799 万円
歳出	
国民健康保険特別会計(事業勘定)繰出金	△ 937 万円
未利用木質資源利用促進事業	865 万円
観光整備事業	529 万円
土地区画整理特別会計繰出金	△ 3,284 万円
下水道特別会計繰出金	△ 5,215 万円
消防施設整備基金積立金	1,148 万円

問 未利用木質資源利用促進事業の調査委託料の内容、委託先は。

答 公益財団法人日本環境協会からの補助金を活用して、西川林業の再生を目指し、林業・木材産業で収入が上がる仕組みづくりの一環として、木質バイオマス利用の調査を行おうとする委託料で、再生可能エネルギーの研究等を行っているコンサルタントを想定している。

問 スクールバス等の住民利用について。

答 スクールバスの利用は学校の児童のために行っている。市民の利用については、関係課と協議しながら研究していきたい。また、企業のバス等いわゆる社会資源と言われている交通機関については、飯能市の公共交通とどのようにかわれるか、いろいろな可能性を検討していきたい。

⑥4 平成二十八年年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

事業勘定において、歳入歳出それぞれ二億二千三百九十三万六千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ百八億六千三百八十三万八千円とするもの。

問 保険財政共同安定化事業の交付金の関係では五百三十四万円の減額の内容は。

答 保険財政共同安定化事業とは、県内の市町村国保間の保険税の平準化、財政の安定化を図るために、全ての医療費の八十万円までの部分の額につい

て県内の市町村国保が拠出金を出し合う共同事業であり、実績をもとに、その伸び率から平成二十八年年度の医療費を見込んだ後、平成二十七年の実績を加えたところ、医療費の増加が想定されるということで、歳出の拠出金を見込みにより増額するものであり、歳入については、前期高齢者交付金が増えるとその分交付される金額が減額されることから見込みにより減額するものである。

⑥5 平成二十八年年度飯能市下水道特別会計補正予算(第一号)

歳入歳出それぞれ四千二百一十一万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二十八億七千六百六十二万七千円とするもの。

問 終末処理場の耐震診断調査委託料はどの部分を行うのか。

答 大規模な地震が発生しても最低限確保するため、最初沈殿池と各施設をつなぐ管きよに対して耐震性能を把握したいと考えている。スケジュールは、管理棟を一番初めに、次に最初沈殿池と塩素混和池を耐震化していきたい。

⑥6 平成二十八年年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第一号)

歳入歳出それぞれ三千百五十七万九千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ六億九千七百十七万円とするもの。

問 社会資本整備総合交付金の三千八百二十五万円の減額の内容は。

答 全国の市町村からの要望額が国の予算を上回っていることだが、国では事業ごとの予算はなるべく減額しないようにしているが、市町村からの要望の額が多いということや東日本大震災の復興に対する予算も影響を与えている。

⑦2 契約の一部変更について(飯能第一小学校屋内運動場改修・耐震補強工事(建築工事))

工事請負契約について、契約の内容の一部を変更するもの。

問 どのような労務単価の変更のため見直したのか。

答 変更になったのは県の労務単価のみであり、それに従って積算したものである。刊行物や見積もりを使用した単価については対象外である。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的に詳しく審査するため、総務、厚生文教、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。
9月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務委員会

⑥1 専決処分の承認を求めることについて

●法人市民税に係る過年度過誤納還付金に不足を生じ、支出に緊急を要したので専決処分したもので、歳入歳出それぞれ五千三百二十六万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ三百七億四千一百五十万五千円としたもの。

●収税事業において、市税過誤納還付金・還付加算金を増額したものであること。

⑥3 平成二十八年年度飯能市一般会計補正予算(第二号)

●地方特例交付金については、個人住民税における、住宅借入金等特別控除の実施に伴う地方公共団体の減収分を補填するものであり、平成二十八年度の適用者が、千二百九十六人、控除金額の合計が五千十二万九千円であること。
●介護ロボットの導入に関する県内の内示は、三百三十一事業所の内示を受け、飯能市内で募集を募ったが、社会福祉法人一事業所のみあり、国の予算の関係上、一事業所あたり九十二万七千円が内示の上限となり、購入が対象となるマッスルスーツ(介護従事者の介護業務の身体

的な負担、主に腰等に係る負担の軽減を図るためのもの)二台分の金額となること。

厚生文教委員会

⑥2 飯能市地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の一部を改正する条例

●介護保険法施行規則の一部が改正されたことに伴い、市内に五箇所設置されている地域包括支援センターにおいて、そこに置くこととされている主任介護支援専門員について、継続的な資質向上を図る観点から、五年ごとの主任介護支援専門員更新研修を修了することが義務化されたことにより改正するものであること。

⑥3 平成二十八年年度飯能市一般会計補正予算(第二号)

●県内で骨髄移植を希望している方は平成二十八年五月末現在五十七名おり、飯能市民で骨髄等を提供された方は、平成十六年度から平成二十七年までの十二年間で六名、平成二十八年度は五月末現在で一名となること。

⑥4 平成二十八年年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

●国保加入者は、平成二十七年末で、二万二千七百九十六人であり、平成二十六年度末と比較して、九百五十四人の減となっており、加入者が減少するということは、国民健康保険税の収入も減少するということになる。国保は、高齢者、低所得者が多いという構造的な問題を抱えており、一人当たりの保険税調定額も伸びていない状況にもかかわらず、一人当たりの医療費は増えているということ。

経済建設委員会

⑥6 平成二十八年年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第一号)

●社会資本整備総合交付金については、旧まちづくり交付金に代わり、今年度から都市再生区画整理事業という補助金を使っており、笠縫、岩沢北部、岩沢南部の三地区の事業に導入しており、交付率は一〇〇%の交付は無かったため、地区間で調整し、減額補正したこと。

⑦3 契約の締結について(飯能市阿須汚水中継ポンプ場水処理設備工事)

●工事の進捗状況は、八月下旬時点で約六〇%が終了しており、施工場所がJR八高線に隣

接しているため、橋脚の動態計測をし、影響がでないように工事を進めていること。



飯能市阿須汚水中継ポンプ場

⑦5 平成二十七年年度飯能市水道事業未処分利益剰余金の処分について

●平成二十七年年度の水道事業収支は、一億九千二百八十二万二千六百二十九円の純利益となったが、主な理由は、水道料金の改定及び大河原工業団地への企業立地により有収水量が増加したことであり、大河原工業団地については、平成二十六年度と平成二十七年年度と比較すると、有収水量で八万七千二百六十六㎡、水道料金で約二千四百六十九万円増加していること。

決算の 概要・ 審査

平成27年度各会計(一般・特別・企業)決算を 認定いたしました

今定例会に市長から提出された平成27年度一般会計及び特別会計の決算(認定第1号～認定第12号)については、総務・厚生文教・経済建設委員会に付託され、会期中に3日間慎重な審査を行い、委員会、本会議でいずれも認定いたしました。
主な内容は次のとおりです。

各会計の決算書とその附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その内容、数値は関係諸帳簿及び証書類と符合し、適正なものと認められ

特別会計歳入歳出決算額

歳入	226億9,131万5,914円
歳出	215億3,852万4,407円
実質収支※1	11億 113万7,507円
単年度収支※2	2億4,032万 399円

※1…翌年度に繰り越すべき財源を差し引いたもの
※2…前年度の実質収支を差し引いたもの

一般会計歳入歳出決算額

歳入	284億9,709万5,995円
歳出	269億1,593万8,617円
実質収支※1	14億 597万3,738円
単年度収支※2	1億7,968万1,500円

※1…翌年度に繰り越すべき財源を差し引いたもの
※2…前年度の実質収支を差し引いたもの

一般会計・特別会計決算 の概要 (監査委員の決算審査意見書から抜粋)

決算審査

一般会計

●電子申請の平成二十七年度の

た。

各分野での多様化する行政需要への対応については、依然として厳しい財政状況が続くものと推測される。こうした中で、地方創生に対する交付金をはじめ、国庫支出金などを積極的に要望していることや、自主財源の確保として、税収のみに頼ることなく、ふるさと納税の推進なども積極的に進めている努力は評価できる。

宮沢湖畔に「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設メッツァ」が開設されることを踏まえ、飯能河原・天覧山、あけぼの子どもの森公園などの主要観光資源との連携を図ることについて、市民や企業等との協働により取り組むことで、市民が飯能に対し誇りと愛着心を持ち、未来を担う子ども達に夢と希望を与えられるよう、本市の地方創生に向けて邁進された

い。これからも対応日本一の市役所、市民サービス日本一の市役所を目指し、引き続き気遣いの心で気持ちの良い対応ができるよう努められることを切望して意見とする。

実績は十四件で、平成二十六年度が十一件で広報等の宣伝効果で微増傾向であること。

●長期優良住宅建築等計画認定については、六十件の申請があったこと。

●個人番号カードがシステムの不具合により市民の手元に渡るのが遅れている問題もあったが、飯能市においてはそのような遅れはなかったこと。

●社会保障・税番号制度システム改修について、プログラムの改修費は、総額約一億円、それ以外のネットワーク機器やJ-リーSへの負担金、市民課のカード交付事業と合わせると平成二十七年度の総額が約一億四千万円となること。

●旅券事務の実績は、千八百二十四件で、一日平均七・五件となっていること。

●平成二十七年度の光ケーブル貸付収入の実績は、東日本電信電話(株)が千一百一件、加入率が三五・五％、飯能ケーブルテレビ(株)が五十八件、加入率が三三・五％で、平成二十六年度と比較すると二十九件の増となっていること。

●飯能市ご当地アプリの利用状況は、九月三日現在で、アプリダウンロード数が四千八百八十九件であること。

●防災行政無線が聞こえないと

いう申し出があった場合、戸別受信機で対応しているが、平成二十八年七月一日現在千六百七十九台設置されていること。

●臨時福祉給付金の支給対象者について、市民税非課税の方が対象になっており、九千二百八十五人の方に給付をしており、対象となっている方は、一万九百九十二人で、支給率は八四・五％という状況であること。

●ムーミンやフィンランドに関する図書は、市立図書館と子ども図書館を合わせて三百九十七点所蔵しており、昨年度は小・中学校向けに、出前講座を五回行っていること。

●個人番号カードの申請から交付まで、一ヶ月程度かかり、今年度八月末では、申請枚数は七千八十五枚、交付枚数は五千三百三十枚となっており、活用的一面では今後進んでいくと思われる。マイナンバーに関する大きな苦情はない。

●道路舗装修繕等の市民からの要望は六百件あり、自治会等からの要望は四十四件あった。その内、処理できたものは二十九件程度であり、残りの要望は、次年度に持ち越している状況であること。

▼討論▲

反対の立場

市民生活が厳しい中で、税や保険料の減免規定の明確化などの実効性のある措置が求められているが不十分であること、都市計画税は制限税率いっぱい、〇・三％を課税しているが減税はできるはずであること、マイナンバー制度の導入は認められるものではないこと、学校給食の民間委託はすべきではないことなどあり、反対する。

賛成の立場

市政運営の三本柱として掲げた行政を変える、暮らしを豊かにする、飯能市を売り込むの実現に向けた施策や事業が組みあがえ、大久保市長の強い思いを込めた予算執行がなされており、着実に事業が進められたので、賛成する。

国民健康保険特別会計

●国民健康保険税は前年度対比で約九千五百万円の減額となったが、被保険者の減少や一人当たりの平均調定額の減少によるものとなること。

●一人当たりの医療費は、平成二十七年度は三十二万二千五百八十円で、平成二十六年度は三十一万三千七百四十一円で八千八百三十九円の増額となっていること。

下水道特別会計

●使用者の急激な負担増とならないように、平成二十三年度、平成二十六年度の二回に分けて料金改定を行い、平成二十七年

度の下水道使用料収入のうち使用料改定分の効果としては、平成二十四年度と比較して、約八千万円の増収となっていること。

特定環境保全公共下水道特別会計

●特定環境保全公共下水道は、飯能市の取水場の上流に位置し、清流保全の役割を担うために重要な事業であると考えており、しっかりと維持管理を行っていききたいこと。

双柳南部土地区画整理特別会計

●新光地区は、平成二十六年に計画と重複道路部分について下水道の布設が完了し、雨水排水は、各課と調整しながら、路肩へのアスファルトの設置や浸透の集水桝を改良するなど維持管理的な対応をしていること。

介護保険特別会計

●特別養護老人ホームへの入所については、平成二十七年から原則要介護三以上でなければ入所できないこととなったが、介護サービス給付費の抑制につながったものとは捉えていないこと、また、日常生活に支障をきたすなどの特別な事情がある場合は、要介護一または要介護二の方も入所できる制度となった

ていること。

▼討論▲

反対の立場

平成二十七年が第六期の保険料改定の年で、年金収入八十万円超で、本人非課税の第五段階で、月額二百二十八円、年額三千四百五十六円、全体として一三・一％の保険料の値上げとなったこと、保険給付の多額の不用額がでたことについて、介護保険法改定の影響が相当大きいと思われるので、反対する。

賛成の立場

介護保険料の決め方には相応の合理性があり、たとえ一時的に保険給付費の決算額と見込み額に相違が生じたことなどによりその年度の繰越金額に多寡があつたとしても、許容されるべきものである。将来的に持続可能な介護保険制度を確立していくためにも、国が進める制度改革に対応していくという市の姿勢は保険者として当然であると考え、賛成する。

後期高齢者医療特別会計

●歳出の後期高齢者医療広域連合納付金は加入者が増えたことなどにより、後期高齢者医療保険料が増額となったこと、また基盤安定繰入金の増額などにより、前年度対比では二千四百万円ほど増えていること。

水道事業会計決算の概要

(監査委員の決算審査意見書から抜粋)

当年度は水道料金の改定、有収水量の増加等により事業収支は黒字となったが、大規模住宅開発などによる給水人口の大幅な増加は見込めず、一方で老朽施設の更新や機能の向上、施設の耐震化などに多額の資金を要することなどを考え合わせると、水道事業経営は非常に厳しい状況になっている。

これからの事業経営に当たっては、今後も経費削減と財源の確保によって事業経営の安定化を図り、市民生活に欠くことのできない水道水の安定的な供給に努められるとともに、施設、設備の適正な維持管理を実施し、水道水の安全を確保されることを希望して意見とする。

水道事業(認定第十二号)

平成二十七年四月に行つた水道料金の値上げと大河原工業団地の水道使用料の増加による料金収入については。

【答】平成二十七年の料金収入は十四億九千五百四十五万八千二百六十九円で、改定前の額で算出すると十三億三千六百四十三万二千五百九十三円となり、料金改定による差額は一億

五千九百二万五千六百七十六円となり、約一一・九％の増加となっている。大河原工業団地は、平成二十七年度は、平成二十六年度と比べ、八万七千二百六十六㎡の使用水量の増加で、有収水量全体の増加分八万九千三百六十九㎡を金額にすると約三千百八十七万円となる。

▼討論▲

反対の立場

平成二十七年四月から平均一・二・三％の値上げとなつたこと、県水は減量、中止を図り、入間川水系の水を守ることを求めている、反対する。

賛成の立場

水道水を安全かつ安定的に供給することは、水道事業者として大切な使命であり、二系統の水源を持ち、二方向から給水できることは危機管理の面で大変重要なことで、浄水施設や老朽管の更新、耐震化を進めていかなければならない状況であり、賛成する。

経済建設委員会の審査状況

◆給水戸数が増えて、給水人口が減少しているというのは、一般住宅の建設の他に現在の社会の流れで核家族や一人世帯の増加が影響していると考えられ、飯能市全体で人口が減少している中で給水人口も減少しているものと考えていること。

平成28年9月定例会 議決結果

賛否が分かれた認定

※各表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略、○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議案名	議席番号・議員名																			議決結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
		栗原 義幸	中元 太	大津 力	野口 和彦	滝沢 修	山田 利子	新井 巧	金子 敏江	内田 健次	平沼 弘	(欠員)	加藤由貴夫	砂長 恒夫	鳥居 誠明	松橋 律子	加瀬 弘貴	梶田 博之	野田 直人	武藤 文夫	
認定1	平成27年度飯能市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	—	○	○	○	○	○	○	認定
認定2	平成27年度飯能市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	—	○	○	○	○	○	○	認定
認定9	平成27年度飯能市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	—	○	○	○	○	○	○	認定
認定10	平成27年度飯能市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	—	○	○	○	○	○	○	認定
認定12	平成27年度飯能市水道事業決算の認定について	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	—	○	○	○	○	○	○	認定

※砂長恒夫議員は議長のため、採決には加わっていません。

全会一致の議案・認定等

議案番号	議案名	議決結果
61	専決処分の承認を求めることについて(平成28年度飯能市一般会計補正予算(第2号))	承認
62	飯能市地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
63	平成28年度飯能市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
64	平成28年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
65	平成28年度飯能市下水道特別会計補正予算(第1号)	原案可決
66	平成28年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第1号)	原案可決
67	平成28年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算(第1号)	原案可決
68	平成28年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算(第1号)	原案可決
69	平成28年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算(第1号)	原案可決
70	平成28年度飯能市特定環境保全公共下水道特別会計補正予算(第1号)	原案可決
71	平成28年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
72	契約の一部変更について(飯能第一小学校屋内運動場改修・耐震補強工事(建築工事))	原案可決
73	契約の締結について(飯能市阿須污水中継ポンプ場水処理設備工事)	原案可決
74	契約の締結について(飯能市阿須污水中継ポンプ場電気設備工事)	原案可決
75	平成27年度飯能市水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決
認定3	平成27年度飯能市下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定4	平成27年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定5	平成27年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定6	平成27年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定7	平成27年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定8	平成27年度飯能市特定環境保全公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定11	平成27年度飯能市訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
請願1	現行の介護保険制度の維持・充実を求める意見書の提出を求める請願書	趣旨採択
	特定事件の閉会中における継続調査申し出の件(厚生文教委員会)	申し出書のとおり
	議員派遣の件	派遣
76	教育委員会教育長の任命について(今井 直己 氏)	同意
77	教育委員会委員の任命について(森 健二 氏)	同意
78	固定資産評価審査委員会委員の選任について(滝田 満 氏)	同意
議提5	有害鳥獣対策の推進を求める意見書	原案可決



滝田 満氏

⑦⑧ 固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員滝田満氏が任期満了となるので、引き続き同氏を選任することについて、全員同意しました。



森 健二氏

⑦⑦ 教育委員会委員の任命について

教育委員会委員森健二氏が任期満了となるので、引き続き同氏を任命することについて、全員同意しました。



今井 直己氏

⑦⑥ 教育委員会教育長の任命について

教育委員会委員澤田清志氏が任期満了となること及び教育委員会制度の改正に伴い、新たに教育委員会教育長として今井直己氏を任命することについて、全員同意しました。

人事案件

市政に対する

一般質問

一般質問とは、議員がそれぞれの視点から市の行政全般について市長(執行部)に質問し、説明を求めるものです。

「市議会だより」には、質問者本人が執筆したものを、発言順に掲載しています。

今回は、10人が質問にたちました。

美杉台地区の交通状況の改善

野口 和彦

問 去る七月一日美杉台七丁目にて人身事故が発生しました。七丁目の自治会からは、カーブミラーの設置や路面表示などの設置要請の要望書が提出されていますが、どのように対応をされているのか。

また、美杉台二丁目のひかり橋バス停近くの交差点では、以前より交差点の名称がないことで、場所の把握や説明に苦労されているとの住民からの声を聞いております。こちらも同様に要望書が提

答 市では現地確認を実施しておりますので、申請の内容を精査し住民の皆さまの安全が確保できるように対策を講じてまいりたいと考えております。次に、ひかり橋バス停付近の交差点への名称につきましては、飯能警察署と協議を行っているところでございます。今後も協議を重ね交差点名を決定し、標識の設置について精査してまいります。

「飯能住まい制度」について

大津 力

問 埼玉県でも「農のある暮らし」を切り口に、移住希望者を受け入れる体制が整いつつある。連携状況は。

答 埼玉アグリライフサポートセンターは、東京有楽町の東京交通会館の八階ふるさと回帰支援センター内に設置されており、飯能市では開設当初から「農のある暮らし飯能住まい」のPR資料を設置している。市が検討予定の体験ツアーとの連携などについて県の担当課に相談している。

セミナーで飯能住まいが紹介できるような県担当課と調整を進めている。

問 飯能住まいにより住宅を建設する場合には、今ある助成金制度に上乗せや、提携銀行のローンを活用する時には、利子の一部を市が負担する。農のある暮らしを五年間継続した方には奨励金をお渡しするなどを検討しているかがか。

答 費用に関する相談も多いため、今後、何らかの支援策は検討したい。

市の手話通訳者派遣制度を手話通訳にタブレット端末を乳がん検診に関連して

中元 太

問 障害者差別解消法が施行された。平時、緊急時の体制整備も必要と考えるが。

答 まさしく非常に重要な課題であると認識している。緊急時の体制整備も含め良い体制を築いて参りたい。しっかりと対応していく。

問 手話通訳にタブレット端末を利用できないか。

答 非常に効果的であると考えている。

問 乳がん検診に高濃度乳腺と

診断された場合、受診者に告知又は超音波検診を薦めるべきでは。

答 高濃度乳腺である旨、超音波検査等を受診すべき旨を記載した通知に変更する。

◆その他・骨粗しょう症検診の若年層からの開始・熱中症対策ガイドラインを受けての市の対応・簡易タープやWBG T測定計貸出・悪質な選挙違反対策などを質問、要望した。

成年後見制度の取り組み状況と更なる制度利用の促進に向けて

栗原 義幸

問 成年後見制度は利用者が依然少ないのが現状と聞く。しかしながら人権・権利擁護の視点から制度の普及推進は非常に重要。取り組みの状況を伺う。

答 本市では平成二十三年度に市民後見推進事業に着手。本年四月には社会福祉協議会内に飯能市成年後見支援センターを開設し市民の方々の制度に関する相談窓口と併せ制度啓発を行っている。地域包括支援センターでは年四回相談会を開催してい

る。人材育成事業として市民後見人の養成を積極的に行い、庁内関係各課による後見ニーズの掘り起こし等も行っている。

問 本年四月に「成年後見制度の利用の促進に関する法律」が制定され更なる普及推進が期待される。今後の取り組みを伺う。

答 国と連動して独自の基本計画を定め、実施機関の設立や審議会設置が求められる。介護保険事業計画や老人福祉計画に具体的な計画を盛り込んでいく。

高校生、高齢者など

バス利用促進のための意向調査を

低所得者・高齢者の住宅確保を

新井 巧

問 市は、地域ごとの課題やニーズを把握し、地域懇談会等を実施するとしている。バス利用を促進する立場から、高校生通学バス代助成制度の拡充、高齢者のバス代助成制度など意向調査を実施し、施策を具体化・予算化する方向で検討してほしいが。

答 アンケート調査や各地に向いてニーズを把握し、必要な施策をしっかりと検討したい。

問 社会保障制度が後退する中で、倒産や失業、病気や介護な

どで、いつ、誰が貧困状態になってもおかしくない。国交省の有識者会議が高齢者、低所得者に対して民間の空き室(アパート等)を活用する制度の検討を始めた。民間より家賃を抑え、バリアフリー化への助成、家賃補助も検討している。市営住宅を新設しない方針の中で、空き室解消も含めて、検討ができないか。

答 国、県の動向を注視していきたい。

財政問題について(公共施設等マネジメント

白書や行財政改革)

道の駅について

鳥居 誠明

問 平成二十二年度以降市債が約十五億ずつ増え続けているが。

答 毎年異なる内容であり、臨時財政対策債も含まれている。

問 公共施設等マネジメント白書に今後十年間、毎年三十、五十億円必要とあるが耐震化工事等の優先順位や財政計画は。

答 公共施設等総合管理計画を策定中。その計画にて検討する。

問 普通会計財政計画は平成三十二年度まで普通建設事業費が毎年四十、五十億円だが内訳は。

答 耐震補強等の工事は含まない。

問 公共施設等マネジメント白書にある三十、五十億に上乗せか。

答 その通り。

問 自主財源を増やす必要がある。企業誘致等の策はどの様にするか。

答 地方創生に関する交付金や都市回廊空間等で増収を図る。

問 行財政改革は毎年新しい課題を見つける改善が必要だが。

答 ダイナミックな改革を図る。道の駅の場所や構想は。

答 都市回廊空間と連携を図る。



投票率問題

林業再生について

過疎地対策

内田 健次

問 期日前投票所を増やす考えは検討したが、現時点での設置は難しい。今後検討する。

問 移動式期日前投票所の導入を経費の増加等で難しい。

答 選挙公営制度の周知。立候補しやすい環境につながるので、ホームページへの掲載等の研究もしたい。

問 林業再生ビジョンのうち「林業・木材産業で収入があがる仕組みづくり」は。

答 集約化・機械化・路網整備の

他、東京圏へ販路拡大利用促進を行う。

問 同じく「未来に続く健全な森林整備と利活用」の内容は。

答 成熟期にある森林を「育てるから使つて」と転換する。良質な水源地を次世代へ引き継ぐ。財源は「企業版ふるさと納税制度」を活用する。

その他 「西川広域森林組合、もくねん工房は再生に向け尽力する」、「過疎地への日配品の供給を市としてもバックアップする」という答弁をいただきました。

魅力ある地域

宮沢湖に隣接する精明地区

滝沢 修

問 緑豊かな田園風景に四季折々の果実や野菜が栽培される自然豊かな精明地区だが、農業経営は厳しく遊休農地も目立つ。来年度、宮沢湖にメツアが開設計画だ。この地区の景観や農業をどの様に考えるか。

答 メツアをはじめ今後訪れる多くの方に魅力的に映るものと考えている。この地域には美味しいトマトや梨、ブドウを栽培する農家もある。この様な優位性を最大限に生かし魅力ある農業

を展開できる場所と考える。

問 農業の6次産業化の取組みについてはいかがか。

答 地域の核となる農産物を戦略に生み出していくなど、より積極的に取組みたい。

問 精明地区は公共交通も深刻な状況だ、交通政策に積極的な取組みが必要ではないか。

答 地域に必要な交通手段はどのようなものか総合的に研究をしている。今後、地域に出向き膝を交えて意見交換をしたい。

就学援助制度の充実を

山田 利子

問 就学援助制度は「義務教育は無償」としている憲法に基づき小中学生のいる家庭に学用品や入学準備金、給食費、医療費などを補助する制度である。国はクラブ活動費、生徒会費、PTA会費も加えた。飯能市も同様に追加すべき。又、飯能市も準要保護の認定基準に国保税、個人事業税、市民税、固定資産税などの軽減世帯も認定項目の対象に拡大すること。

では関係課と前向きに検討する。
問 入学準備金の支給は、申請時期を早めるか一時立て替え、貸し付け等の改善ができないか。

答 前年所得が基準のため現在はその考えはない。

問 入学時などに配布する就学援助制度の案内を多言語化して配布する考えは。

答 多言語化については、制度の周知ということでは大事なことで、関連部署と連携して検討する。

答 認定基準の税の減免について

本郷浄水場の機能を維持し貴重な水利権を守れ

金子 敏江

問 五月から市民要求アンケートを実施してきたが、県水問題では「美味しく安全な水があるなら本郷浄水場を建て替え県水をやるべきだ」との回答が七割を超え、「二系統の水は必要なので県水を増やしても止むを得ない」は一割弱だった。十二万人都市構想で県営第一号の有間ダム建設に参画し総工費二百四十億円、人口割りで四十六億円を負担し二十七年に償還を完了した。財政的に見ても本郷浄水場の建て替えができないという状況ではないか。

況ではない。莫大な市費を投入して獲得した水利権である。将来を見据えて本郷の水利権を守るために、当面、現在の機能を維持し、本郷浄水場の建て替えを視野に入れて水利権を守るのが自治体の使命ではないか。

答 小岩井と本郷の二つの浄水場の改修に多額の費用をかけて将来にわたって維持していくということは大変効率が悪く、財源確保の点で非常に厳しい。

◆飯能市の先進事例を視察に来られました◆

平成28年度 市町村議会行政視察受入一覧

平成28年7月1日～平成28年10月3日

月 日	市町村議会名	人数	視察内容
7月4日(月)	岡山県鏡野町全議員	18	・タブレット端末の導入
7月13日(水)	沖縄県南風原町議会 正副議長、各正副委員長	9	・タブレット端末の導入
7月19日(火)	福井県敦賀市議会 議会運営委員会	14	・タブレット端末の導入
7月21日(木)	埼玉県所沢市議会 地方創生に関する特別委員会	14	・地方創生推進に係る取組
7月22日(金)	広島県三原市議会 会派「市民連合」	5	・タブレット端末の導入
8月1日(月)	山形県村山市議会 議会運営委員会	8	・タブレット端末の導入
8月3日(水)	長野県伊那市議会 ICT推進委員会	7	・タブレット端末の導入
8月17日(水)	島根県安来市議会 議会運営委員会	7	・タブレット端末活用への取組み ・議会基本条例制定の経緯と制定後の検証体制 ・その他の議会改革への取組み
8月23日(火)	東京都青梅市議会 会派「自由クラブ」議員	1	・野生動物(有害鳥獣)による被害
9月21日(水)	岩手県議会事務局 職員	2	・タブレット端末の導入
9月30日(金)	埼玉県入間市議会 会派 入間自民クラブ	5	・土地区画整理事業
10月3日(月)	熊本県山鹿市議会 議会運営委員会	12	・タブレット端末の導入

タブレット端末に関する行政視察の受け入れ市区町村数が二百自治体に到達

飯能市議会では、全員協議会ペーパーレス化、議会内の情報伝達、危機管理上の緊急連絡、政務調査活動、各種資料の閲覧の推進を図るため、平成二十四年四月から日本で初めて議会にタブレット端末を導入し、北は北海道から南は沖縄県まで全国から議員が視察に訪れるようになりました。

そして、ついにタブレット端末の導入について飯能市議会に視察に訪れた市区町村数は二百自治体に到達しました。

今後引き続き全国に向けて本市のPRにもつながるよう、タブレット端末の更なる有効活用を推進するとともに、市民により近く、より信頼される議会を目指すための議会改革を推進していきます。



市民から 市議会へ提出

請願

○の中の数字は請願番号

① 現行の介護保険制度の維持・充実を求める意見書の提出を求める請願書
趣旨採択(全員)

提出者

飯能市社会保障をよくする会
野尻 一夫

市議会から 国等へ提出

意見書

議員提出議案として提出され、議会の議決を得て国等へ提出したものである。

有害鳥獣対策の推進を求める意見書

有害鳥獣については、これまで対策を講じてきているが、有害鳥獣の数は増加し、農作物に対する被害は二百億円程度で推移している。また、熊などの大型動物によっ

て人が危害を加えられる事件なども頻発している。

よって、国におかれては、有害鳥獣駆除の促進や負担軽減、処分後の利活用並びに地域資源への転化など、有害鳥獣対策の推進について、下記の項目について強く要望するよう求めるものである。

一 有害鳥獣被害を低減させるため、そして住民の生命を守るためにも、被害対策の中核となる「コーディネーター」を育成するとともに、必要な数の狩猟者（鳥獣被害対策実施隊）を確保するため、鳥獣被害防止特措法の改正など、さらなる措置を講ずること。

二 侵入防止（電気 柵施設における安全を確保するため、さらなる指導を徹底すること。

三 有害鳥獣の行動様式を的確に把握し、個体数を管理するため、ICTの積極的な活用を推進すること。

四 国内各地域に広域で利用できる有害鳥獣向け食肉処理施設を整備すること。

五 ジビエとして積極的に活用し、「六次産業化」を推進すること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣あて

先進事例の調査視察

■議会運営委員会

滋賀県大津市議会（七月十四日）
議会運営・議会改革について

平成二十八年年度に実施された民間機関の調査において、大津市議会の議会改革度は全国第十八位であり、特に「議会機能強化」の評価が高くなっている。

大津市議会は「会派を超えた議会」として議会の果たす役割を念頭に議会改革に取り組んでおり、議会BCPは全国初の取り組みとして高い評価を受けている。議会自ら危機管理能力の向上をめざし、災害時初動対応の高度化を図るため、大学と連携した専門的知見を活用している。

大阪府堺市議会（七月十五日）
議会運営・議会改革について

平成二十七年年度に実施された民間機関の調査において、堺市議会の議会改革度は全国第七位、政令指定都市中第一位であり、議会機能の強化及び活性化を図るため、平成二十三年八月に議会議力向上会議を設置し、地方分権時代にふさわしい議会として、情報公開・住民参加・議会機能強化を図るため

独自の条例を制定し、住民に開かれた議会改革を推進している。



議会運営委員会

■総務委員会

北海道七飯町（八月三日）

①「七飯町の北海道新幹線開業に伴うまちづくり」について

②「道の駅（仮称）男爵いもパーク」について

農業振興においては、その土地の独自の強みのあるものをつくりと生産、加工、販売までを考慮しており、飯能市でも固定種野菜という独自の農産物にもっと力を入れていく必要があると思われる。国や民間が隆盛する大きな流れをしっかりと連携をさせていく音

頭を、行政がしっかりとサポートしていく仕組みが学びとなった。

北海道厚沢部町（八月四日）
「厚沢部町の日本版CCRC事業の取り組み」について

地域包括ケアに関しては、拠点となる介護付き有料老人ホームを設置し、医療の定期的な訪問循環、認知症の方の為にグループホーム、さらには在宅生活を支援していくデイサービスや在宅療養支援の仕組みなど様々な介護サービスを選択出来る仕組みになっている。

また民間事業者としっかりと連携と役割分担の棲み分けが出来ており、行政だけで負担を負うのではない仕組みとしても学びになった。



総務委員会

■ 経済建設委員会

京都府立大学校(七月二十八日) 「京都府立林業大学校」について

大学の教育理念として、①実践的な技術・知識を身に付けて第一線で活躍できる人材、②森林保全活動から野生鳥獣害対策まで幅広い地域活動を支える公共人材、③森林組合等林業事業体の経営力の向上を支える人材、の育成や資格取得を挙げており、特長としては、西日本初の林業専門の大学校、全国初の本格的な高性能林業機械の技術研修大学校、農山村地域で深刻な野生鳥獣害に対応する研修、森林や木材の利用、建築、文化など幅広い講座の提供、などである。

いぶきグリーンエナジー株式会社(七月二十九日) 「木質バイオマス発電事業」について

いぶきグリーンエナジーバイオマス発電所は、平成二十五年八月に、経済産業省より「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」の設備認定を受けた滋賀県初の木質バイオマス発電事業に参入し、平成二十七年一月に運転を開始した。

◆ 議会を傍聴してみませんか ◆

飯能市議会の定例会は、毎年4回(3・6・9・12月)定期的に開催されています。

一般質問を含め議会の権限に属するすべてのもの(市民の皆さんの生活に直結した重要な問題など)が審議されています。

市民の皆さんが傍聴することにより、住民代表としての議会が十分審議しているかどうか知ることができますので、ぜひ本会議の傍聴にお越しください。

なお、常任委員会、特別委員会につきましても、本会議と同様に「原則公開」となっていますので、傍聴にお越しください。

【傍聴の手続き】

傍聴を希望される方は、市役所5階「傍聴席入口」の受付で簡単な手続き(住所・氏名・年齢を記入)をして傍聴できます。

本会議の傍聴席は一般席が50席、その他に報道関係者席があります。

なお、委員会の傍聴の手続きについては、市役所4階の議会事務局までお越しください。

日程など、詳しいことは、議会事務局(042-973-2686)までお問い合わせください。



経済建設委員会

施設概要は最高使用圧力3.60MPa、常用圧力2.80MPa、使用燃料は木質燃料チップ



傍聴席

(約140t/日)、抽気復水タービンで、発電出力3.550KW、年間約三百三十日稼働する。

◆ 飯能市社会福祉協議会との意見交換会が開催されました ◆



飯能市議会では、市民との意見交換の場を多様に設け、市民参加の機会を保障するため、平成二十八年八月十日に、「飯能市議会と飯能市社会福祉協議会との意見交換会」を開催しました。飯能市社会福祉協議会からの報告等を受けた後、意見交換を行ないました。

◆ 意見交換のテーマ ◆

『飯能市の地域福祉について』

・各地区での地域福祉の特徴的な取り組み

①携わっているメンバーとその人材育成について

②C S W(コミュニティソーシャルワーカー)の活動状況について

③飯能市社会福祉協議会が地域福祉において抱えている問題について



市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<http://www.city.hanno.saitama.jp>



果樹園(精明)

審議の日程

9月定例会

- 8月26日 開会、市長提出議案の上げ・提案理由説明
- 30日 議案質疑、議案及び請願の委員会付託
- 9月 1日 一般質問
- 2日 一般質問
- 6日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 7日 常任委員会(厚生文教・経済建設)
- 8日 常任委員会(厚生文教)
- 26日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上げ・提案理由説明・採決
議員提出議案の上げ・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

7月

- 1日 飯能市議会広報委員会
- 29日 埼玉西部消防組合議会定例会

8月

- 4日 広域飯能斎場組合議会定例会
- 9日 代表者会議
- 10日 飯能市社会福祉協議会との意見交換会
- 16日 全員協議会
- 22日 代表者会議
- 23日 議会運営委員会
- 26日 9月定例会開会(9月20日まで)
飯能市議会広報委員会

9月

- 13日 飯能市議会IT会議
- 20日 9月定例会閉会

10月

- 3日 飯能市議会広報委員会

◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検索

クリック

☆テレビ放映しています

飯能市議会では、飯能日高テレビの番組で一般質問の様子を録画放映しています。また、議会事務局(市役所4階)では、番組を録画したDVDの貸出しを行っております。

議会を傍聴しませんか

9月定例会では延べ101名の方が傍聴されました。

次回の12月定例会は

11月25日開会予定です。

会期日程等は11月22日頃内定します。

* 編集を終えて *

内閣府がまとめた平成28年度版防災白書では、地球温暖化に伴う気候変動による災害の備えに言及している。今世紀末に向けて世界の平均気温が上昇し、大気中の水蒸気量が増加、想定を上回る豪雨が頻発すると予想され、従来の防災対策だけでは通用しなくなる恐れがあるとも。この秋、北海道や東北地方に上陸した雨台風の被害はいまなお深刻で、政府は激甚災害指定を決めた。そこで白書では、行政の行う公助を待つだけでなく、更なる地域コミュニティーによる、共助意識の醸成が不可欠と訴える。地域の人と人が心を通わせることで、初めて可能となる災害に強いまちづくり。地域で行われる防災訓練の重要性に今一度、心してまいりたいと思います。

(栗原)

戸田競艇場開催日(埼玉県都市競艇組合主催分)

11/18~11/21、12/1~12/4、12/15~12/19

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています)

広報委員 (◎委員長 ○副委員長)

◎滝沢 修 ○鳥居誠明 栗原義幸 中元 太
大津 力 野口和彦 新井 巧 平沼 弘

市議会だより

12月定例会

- 一般会計補正予算案を可決
- 廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正など可決

目次

議案の審議	②
委員会の審査	③
議決結果・人事案件	④
市政に対する一般質問・ 委員会調査報告	⑤～⑦
陳情・意見書	
視察受け入れ状況	⑧・⑨
市議会案内板	⑩



議案の審議

■一般会計補正予算など33件を議決

12月定例会は、11月25日から12月9日までの15日間開かれ、市長提出議案30件、議員提出議案2件、その他1件について審議等を行い、議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

市長提出議案

◎平成二十八年年度飯能市一般会計補正予算(第四号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ四億四千三百二十五万七千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ三百十億九千七百四十万四千円とするもの。

主な追加の内容(万円未満切り捨て)

歳入	
繰入金	1億7,440万円
国庫支出金	1億6,477万円
寄附金	5,566万円
歳出	
国民健康保険特別会計(事業勘定)繰出金	1億4,875万円
障害者自立支援事業	1億2,509万円
生活保護扶助事業	1億1,667万円
ムーミン基金積立金	5,000万円
ふるさとのはんのう応援事業	3,219万円

問 容器包装リサイクル法に基づく再商品合理化拠出金について。

答 原料リサイクル分について、再商品化するためにかけた費用が当初見込んでいた費用よりも下回ることとなった。拠

出金は再商品化に貢献した度合いに応じて配分される仕組みとなっており、飯能市から排出されるプラスチックの質が

非常によく、プラスチック全体の約九割がこの原料リサイクルのルートに流れたため、約千二十四万八千円の増収につながった。市民の皆様のご理解ご協力に感謝申し上げる次第である。

◎飯能市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例

平成三十年一月一日から事業系一般廃棄物の処分手数料を改定するもの。

問 今回の具体的な値上げの理由は。

答 新たな施設が稼動することによって、処理コストが変動する見込みである。今までなかったような高効率発電設備が稼動することによるコストの上乗せや、また、運転体制が大きく変わり、休祝日を含めた二十四時間体制や一炉から二炉にフル回転で運転するといつことでコスト引き上げになり、県内や近隣自治体との比較、公費と事業者負担の適正な水準を考慮し、処分手数料を見直すものである。

▼討論
反対の立場

値上げで影響を受けるのは約五百五十事業所、その内約三百事業所は直接クリーンセンターに搬入しており、個人商店等も

多く含まれている。営業から発する事業系ごみの処理費を引き上げられては、営業に大きな影響を与え、その負担を個人事業主などへ求めることは認められないため、反対する。

◎飯能市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

農業委員会等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、飯能市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定めるもの。

問 選挙で選ばれる農業委員が市長の任命になるなど、農業委員会の役割がどのように変わったのか。

答 必須業務としてこれまでの農地法等による権限に属させた事項に加えて、新たに農地利用の最適化として担い手への農地の利用、集積、集約化、耕作放棄地の発生防止、解消、新規参入の促進が必須業務となり、特に農地利用の最適化は、重点項目として果たすべき重要な役割となったものである。

▼討論
反対の立場

新たに農地利用最適化推進委員会が設けられ、その一方で農業委員の定数を削減するとともに公選制を取りやめ、市長の

任命制とする改正であり、農業者の自治を大きく後退させるため、反対する。

賛成の立場

現場活動を担う農地利用最適化推進委員が置かれることとなり、農業委員が地域農業の発展のために今まで以上に闊達な議論を十分行い、農地利用最適化推進委員と強く連携、協力して、飯能市の農業をさらに発展させていくことが期待されるため、賛成する。

◎飯能市いじめ問題対策連絡協議会条例等の一部を改正する条例

行政機構の改正に伴い、附属機関の庶務担当の所属変更を行うもの。

問 飯能市のいじめ対策について。

答 飯能市いじめ防止基本方針は、いじめは、どの児童生徒にもどの学校でも起こり得る問題であるとの意識を持つて、児童・生徒にいじめは絶対に許されないひきような行為であると徹底するとともに、社会総がかりで、その防止に取り組んでいく必要があるという形で定めた。状況としても、いじめゼロを目指しているが、認知の件数はある。しかしながら、今のよつな体制のもと、ほとんどが解消できている。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的に、より詳しく審査するため、総務、厚生文教、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。
12月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務委員会

⑧1 飯能市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

●人事院勧告に基づく国家公務員、埼玉県人事委員会勧告に基づく埼玉県職員及び近隣市の職員の給与と改定状況等を勘案して、職員の給与を四月に遡り改定するほか、医師の初任給調整手当の限度額、勤勉手当の支給割合を改めるものであること。

⑧9 平成二十八年飯能市一般会計補正予算(第四号)

●観光寄附金(ムーミン基金)の具体的な見込みは、個人による寄附を二千件、法人による寄附を十件、金額は合計して五千万円を見込んでいること。

●再商品合理化抛出金は、品質基準に基づく配分金として、今年度は百七十九万三千百七十七円あり、品質については、容器包装比率が九五%以上または、九〇%以上かつ前年比二%以上向上していることが配分基準となっていること。

厚生文教委員会

⑧3 飯能市いじめ問題対策連絡協議会条例等の一部を改正する条例



●学校教育における質の高い教育、また教育振興基本計画における五つの基本方針をより強力に推し進めるため、さらに、小規模校の課題解決に取り組みことを目的に、一部であった体制を学校教育部と生涯学習スポーツ部の二部制にしたものであること。

●飯能市は、他市に比べて学校応援団がかなり充実しており、その中で、地域の方が学校に来て伝統行事や昔の遊びを教えてくれるなど交流を行っている。また、さらなる充実を図るため、地域の方の豊かな知識や経験を生かし、子どもたちの教育に資する取り組みを行っていること。

⑨0 平成二十八年飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

●ジェネリック医薬品は、低価格で安全性や効き目が新薬と同等と認められた後発の医薬品で、ジェネリック医薬品がある場合は、できる限り使っていたくよう、国民健康保険加入者だけでなく、健康福祉部の窓口にもジェネリック医薬品希望シールを置くなどして周知を図っており、医師会、薬剤師会にも使用促進をお願いしていること。

経済建設委員会

⑧7 飯能市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例

●事業系一般廃棄物の処分手数料を現在の10kg当たり100円から200円に改正すること。

●現在建設中の新施設では、現行施設と比較すると、焼却炉は一炉ずつの交互運転をしているが、新施設では二炉同時の二十四時間運転になり、破碎施設では、現在月七日程度の運転が毎日の運転となり、また、新機能の導入やエレベーター等の付帯設備、施設全体の管理面積の拡大等、施設の運転管理に要する技術者の配置人員の増員が見込まれること。

⑧8 飯能市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

●委員区分の農業委員について、現行の二十三人から十人とし、また、新たに創設されることになった農地利用最適化推進委員については、九人とする。

⑩4 契約の締結について

●(仮称)飯能大河原線橋りょう新設工事(上部工)の工期は、平成三十年八月三十一日までの約一年八ヶ月で、工事は、入間川に渡河する橋りょう上部工の工事であり、橋長八四m、標準部の幅員一四・八m、橋りょう形式は、鋼単純上路式ローゼ橋であること。(反対討論あり)



■賛否が分かれた議案

※表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議案名	議席番号・議員名																			議決結果
		1 栗原 義幸	2 中元 太	3 大津 力	4 野口 和彦	5 滝沢 修	6 山田 利子	7 新井 巧	8 金子 敏江	9 内田 健次	10 平沼 弘	11 (欠 員)	12 加藤 由貴夫	13 砂長 恒夫	14 鳥居 誠明	15 松橋 律子	16 加瀬 弘貴	17 梶田 博之	18 野田 直人	19 武藤 文夫	
87	飯能市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
88	飯能市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
104	契約の締結について((仮称)飯能大河原線橋りょう新設工事(上部工))	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決

※砂長恒夫議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案等

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略

議案番号	議案名	議決結果
79	飯能市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
80	飯能市の市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
81	飯能市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
82	飯能市税条例の一部を改正する条例	原案可決
83	飯能市いじめ問題対策連絡協議会条例等の一部を改正する条例	原案可決
84	飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
85	飯能市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
86	飯能市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
89	平成28年度飯能市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
90	平成28年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
91	平成28年度飯能市下水道特別会計補正予算(第2号)	原案可決
92	平成28年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第2号)	原案可決
93	平成28年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算(第2号)	原案可決
94	平成28年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算(第2号)	原案可決
95	平成28年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算(第2号)	原案可決
96	平成28年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
97	平成28年度飯能市訪問看護ステーション特別会計補正予算(第1号)	原案可決
98	平成28年度飯能市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
99	埼玉県都市競艇組合規約の変更について	原案可決
100	市道路線の認定について(大字中山地内)	原案可決
101	市道路線の認定について(大字双柳地内)	原案可決
102	市道路線の認定について(征矢町地内)	原案可決
103	市道路線の認定について(美杉台七丁目地内)	原案可決
	議員派遣の件	派 遣
諮問1	人権擁護委員候補者の推薦について(加藤 美佐子 氏)	異議はない
諮問2	人権擁護委員候補者の推薦について(梶田 あさ 氏)	異議はない
諮問3	人権擁護委員候補者の推薦について(中嶋 文代 氏)	異議はない
105	固定資産評価審査委員会委員の選任について(高橋 弘 氏)	同 意
議提6	ホームドアの設置と「内方線付き点状ブロック」の整備促進を求める意見書	原案可決
議提7	地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書	原案可決



高橋 弘氏



中嶋 文代氏



梶田 あさ氏



加藤美佐子氏

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員候補者として、引き続き加藤美佐子氏を、新たに梶田あさ氏、中嶋文代氏を推薦することについて、全員異議はありませんでした。

固定資産評価審査委員会委員の選任について

固定資産評価審査委員会委員高橋弘氏が任期満了となるので、引き続き同氏を選任することについて、全員同意しました。

市政に対する

一般質問

一般質問とは、議員がそれぞれの視点から市の行政全般について市長(執行部)に質問し、説明を求めるものです。

「市議会だより」には、質問者本人が執筆したものを、発言順に掲載しています。

今回は、10人が質問にたちました。

観光協会のあり方とミッションはふるさと納税は地場産品で勝負すべきである

相田 博之

問 これからの飯能にとって、観光協会は重要な役割を担うと思うが。

答 特に観光資源の発掘や活用、企業や観光関係者との連携強化を担っていただきたい。

問 専属スタッフ等人員強化や資金力強化が必要ではないか。

答 連携が重要になってくる。阿須小久保線完成はいつか。

問 国道二九九号以南はあと八年は必要。以北は双柳南部区画整理の進捗次第である。

問 ふるさと納税の返礼品は地

答 場産品で勝負すべきだと思うが。

答 本市の特産品、ムーミングッズ、友好都市間交流自治体の特産品の三本柱で構成しており、市内経済の活性化につながるよう努める。

問 友好都市間交流の相手方で飯能の地場産品の取り扱いがあるか。

答 茨城県高萩市とは最終調整をしている。

問 ふるさと納税返礼品の仕組みは住民税の取り合いでは。

答 地域活性化に資するものと考えてる。

独自の交通ビジョン示し、市長の見解を問う

新井 巧

問 ①不採算バス路線の名栗、原市場、南高麗地域は、通学バス

代補助拡充、高齢者のバス制度創設、駐輪場設置、日中の小型巡回などで利用者を増やす。②

電車路線の両吾野は、デマンドシステムと介護保険の移送サービスDで高齢者の外出を支援。③

市街地、加治、精明地域は、三コース程度に分けて、十人乗りのワゴン車の循環バスを導入し、農

村部は、デマンドシステムで補完。④営業を圧迫することがないよ

答 市域全体の地域公共交通を検討する上で参考にした。

う市内タクシー事業者に委託または運行協定を結び、配慮する。

⑤移送ボランティアの積極的支援と介護保険制度の新総合事業、移送サービスDを導入し、福祉

移送サービスDを充実。⑥駅周辺に、街中で利用できる無料レンタルサイクルを導入。⑦当面、ス

クールバス住民利用と福祉センターバス利用を拡大するなどを提案するが。

答 市域全体の地域公共交通を検討する上で参考にした。

「貧困の連鎖」を防げ、子どもの貧困対策は孤食改善へ、子ども食堂の支援は

栗原 義幸

問 「子どもの貧困」はひとり親世帯の増加や雇用問題、地域コミュニティの希薄化などに伴い子

育て世代の家庭が生活困窮に陥るリスクに直面している。貧困の連鎖を防ぐ必要から特にひとり

親家庭への具体的な支援が重要。対策・支援事業の実施状況と取り組みを伺う。

答 児童扶養手当法の改正で本年八月から第二子以降の手当加算額が増額された。また高等職業訓練促進給付金制度の拡充や

生活保護世帯等の中学生を対象とした学習支援を実施している。

問 「子ども食堂」は経済的な理由や親の仕事の都合から、ひとりで食事をしなければなら

子どもたちに温かい食事や居場所を提供できる場所。運営の多くは民間が主体となることから、本市としても積極的に支援すべ

きと考えるが見解を伺う。

答 開設へ向けた具体的な動きがあれば必要に応じて、交付金活用等の情報提供を行いたい。

被災者支援システムの導入を教育・コミュニティ・スクールのマイノリティの人権

中元 太

問 兵庫県西宮市が独自に開発したシステム「被災者支援システム」の早期導入をすべきと考えるが。

答 研究・検討して参りたい。

問 各地で学力の向上や不登校者の減少も顕著になった「コミュニティ・スクール」を飯能市でも

答 他市の状況や取組状況を見て研究する。

問 市の、性的マイノリティ「LGBTQ」に対する正しい理解と人権擁護は。

答 多くの機会を活用し情報の提供、啓発、教育に取組む。

問 学校での対応は。

答 教職員、保護者、生徒へも理解を深めるための情報提供や人権教育を進める。また、対象生徒への具体的配慮は、自認する性別の制服・衣服や、体育着の着用を認める、トイレや更衣室は職員用更衣室やトイレ・多

目的トイレの利用を認める等各場面での支援が大切と考える。

◆他、障がい者・高齢者の緊急避難やジュニア救命士を質した。

土曜日一日保育を山手保育所以外にも増やすこと

山田 利子

問 山手保育所以外は土曜日一日保育を実施していないため、約百名の希望者は、各保育所から十数名が、土曜日の朝、布団や着替えを持って通所している。雨の日などはとても大変である。児童福祉法や児童憲章では、児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されること「すべて児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない」と日々の生活の保障を行政の責任として明確に位置づけている。

答 自治体のコスト面や体制上の都合で、山手保育所にひとまとめにするのは、子どもにとってはむしろ寄せであり、自治体本来の役割ではない。ぜひ、山手保育所以外でも土曜日一日保育を実施するよう求めるが。

答 年間利用者は、延べ千三百三十四人。今後の利用状況の推移、待機児童対策など、他の保育事業との兼ね合いを総合的に見地から判断した上で検討したい。

林業政策について

県道飯能下名栗線の整備状況について

内田 健次

問 森林法一部改正により山林所有者を明確にする林地台帳の整備が求められた。市の取組は。

答 森林情報管理システムは法整備に先駆け、情報の一元化に取り組んでいるが、実質的な把握までは至っていない。

問 森林に対しかつての農地解放のような大転を振るう考えは。

答 所有者不明の場合は一定の手続きを経て、伐採造林ができる。また、所有者の責務として、森林保全の努力義務も定められている。

問 西川広域森林組合の現状は。

答 県内森林組合で累積赤字を抱えるのは西川広域森林組合のみ。本市の政策と組合の連携を深めていく必要がある。

問 県道飯能下名栗線の整備進捗状況は。

答 宮の瀬橋から原市場中学校手前までと久通谷橋手前の張出歩道は着工中。他は要望する。

問 原市場交差点改良は。

答 市と県とで歩調を合わせ、完成につなげていきたい。



市民懇談会



山手保育所

グローバル化に対応した英語教育改革実施計画とは 埼玉県初のサテライトオフィス誘致

平沼 弘

問 「英語教育改革実施計画」の概要は。

答 小・中・高の各段階を通じて英語教育を充実し、生徒の英語力向上を目指すことである。

問 飯能市の対応は。

答 平成三十年から教育課程を改め、小学五・六年生には教科として週二時間、三・四年生には、外国語活動で週一時間の予定である。

問 今後、実用英語技能検定が高い確率で採用されてくるのでは。

答 英検が海外の大学でも評価されていることから、興味・関心は高まると思われる。

問 埼玉県第二号のサテライトオフィス誘致は。

答 板橋区に本社があるソフトウエア関連の(株)FICで南川地区に開設した。

問 吾野・東吾野地区を一体とした「吾野谷構想」は。

答 人口減少が続く現状を悲観するのではなく、前向きで力強い考え方であると理解している。

空き店舗活用

精明東部の住宅建設・交通問題 新教育長に聞く 教育問題

鳥居 誠明

問 空き店舗を保育施設や介護サービスに活用し活性化を図っては。

答 民間活力が望ましい。福祉関係への補助金は考えていない。

問 精明東部は住宅建設が困難であるが。

答 既存集落に続くとか、農地の端である場合等は可能性がある。

問 精明東部は路線バスが無い。

答 民間保有バスに協力依頼しては。民間バスの活用は研究する。

問 要望デマンド方式等も検討してほしい。新教育長へ市長の思いは。

答 質の高い教育、学力向上、生きがいのある生涯学習など多くの課題に取り組んでほしい。

問 教育長の学校教育への姿勢は。

答 スポーツを通じて人間形成を。学力調査結果は全国で下位だが。

問 正答率上位の県は、塾ではなく自宅で学習する時間が長い。

答 家庭の協力を得て進めたい。高齢者が学校の空き教室で生涯学習をし、子供との共生をするのはどうか。

答 素晴らしい。今後研究したい。

税の滞納相談は 納税者の状況に応じて制度の案内や対応を

滝沢 修

問 国民生活は相変わらず厳しい状況だ。二十七年度は五百十四件の滞納処分があるが実態は。

答 全ての案件に一律に差押さえを行っているわけではない。市の呼びかけに一切応じない、あるいは納税の約束を履行しない等、意欲が無いと判断した場合である。

問 厳しい生活の中で期限を過ぎても納税できない場合もある。納税相談の状況は。

答 困難になった原因をよく聴

き、納税者の資力や意欲があるのか、また財産の状況等実態に応じて納税計画を立てさせていたっている。

問 真面目に納付しようとして納めきれない場合や差押さえ等になった場合の対応は。

答 納税に対する誠意はあるが、やむを得ない事情がある場合には徴収の猶予や滞納処分の執行停止を検討させていただいている。他の制度もあるので、早めに市に相談されることを進めている。

人口増による美杉台小学校区の 保育所・児童クラブへの今後の対応について

金子 敏江

問 美杉台小学校区の征矢町、美杉台六七丁目、茜台地区は住宅開発によって人口が増えており、子育て世帯の要望にしっかり対応する必要がある。今後、美杉台保育所や児童クラブ室の受け入れについてどう考えているのか。また、新年度に間に合うよう対応してほしいが。

答 美杉台保育所は、現在の施設の規模を考えると最大限の受け入れをしており、保育士が確保できれば、あと数名は受け入

れができる。また、市内全域を視野に入れて、保育定員数の増加や民間の新規事業所の開設により保育定員の拡大を図ってきたい。児童クラブ室は、二か所で定員百二十五人に対して現在百二人で今後、定員を上回る可能性がある。その対策として現在、美杉台小学校はじめ、近隣の空き家、空き事務所や公共施設の利用が可能かどうか調査しているところ。新年度、定員を上回る状況なら対応したい。

先進事例の調査視察

● 厚生文教委員会

北海道江別市（十月二十七日）

①「第二次江別市食育推進計画」について

②「小中学校の学校選択制」について

第二次江別市食育推進計画は、市民に対しての食育に対する意識向上、啓発のための組織が推進協議会を中心に庁内と市民を中心とした計画策定委員会が作られ、それぞれの立場で取り組み、小・中学生から生活習慣病の予防まで取り組むテーマが決められ、具体的に活動していることが理解出来た。



小中学校の学校選択制について

は、学校選択制を利用する際の選んだ理由は、少年団の時の友人がいるからとか冬場の送り迎えがでない、放課後子どもを見てくれる祖父母が近くに居るなど。また悩んだことは、登下校の安全や友達と離れてしまう、通学距離が遠くなるなどがあり、個々に良い点、つらい点などがあることが理解できた。

北海道小樽市（十月二十八日）

①「ふれあいバス」について

②「小樽市身体障害者送迎サービス（リフトカー）」について

ふれあいバスが市民の陳情から実施されるに至ったのは、市当局の理解はもとより、バス会社、JRの協力が必要なこと、更に現金から回数券方式にするなど運営面での苦勞なども理解できた。

小樽市身体障害者送迎サービスは、車両については、一部の市民からの厚意によるものであったが、その思いを受け小樽市として事業を進めてきた。利用者にとっては月に四回という制限はあるものの、社会的な活動や病院への通院などへ気軽に外出ができ、利用者から大変喜ばれている。しかし、事業開始から十五年が経ち、車両

議案書をホームページに 掲載しています

平成28年3月定例会より、議案書を市議会ホームページ議案一覧表からご覧いただけます。
タブレット、スマートフォン端末からもダウンロード可能ですので、ぜひご覧ください。



の老朽化に伴い、次の車両購入には五百万円程度を要することとで事業継続には、維持管理も含め、それなりの経費が必要であることが理解できた。

市民から 市議会へ提出

陳情

○の中の数字は陳情番号

③ 陳情書(地球社会建設に関する件等)

提出者

荒木 實

④ 陳情書(市町村公的審議会等委員への公益社団法人埼玉県宅地建物取引業協会会員の登用に関する件等)

提出者

埼玉県宅建政治連盟彩西地区
地区長 奥富 浩

市議会から 国等へ提出

意見書

議員提出議案として提出され、議会の議決を得て国等へ提出したものの。

ホームドアの設置と「内方線付き点状ブロック」の整備促進を求める意見書

本年八月、東京メトロ銀座線青山一丁目駅で、盲導犬を連れていた視覚障がい者の男性がホームから転落し死亡するという大変痛ましい事故があった。また、その対策に動き出していた矢先、十月には、近鉄大阪線河内国分駅で、全盲の男性がホームから転落し特急電車にはねられて亡くなったという事故が発生した。

現在、一日に十万人以上の乗降客がある全国二百五十一駅のうちホームドアが設置されている駅は七十七駅に止まっている。また、平成二十八年三月末現在、全国約九千五百駅のうちホームドアの整備が完了しているのは六百六十五駅である。駅の安全対策の観点からも列車との接触や転落防止に効果が高いホームドアや転落防止柵の設置は急務である。

また、ホームドア等が設置されるまでの対策として、視覚障がい者がホームの内側を判別できる「内方線付き点状ブロック」の整備も重要である。

現在、一日の利用者が一万人以上の駅での整備率は六十二%であるが、ぜひ全駅において整備を進めるべきである。

よって、国におかれては、視覚

障がい者をはじめ駅利用者が安心して駅ホームを利用できるよう、ハード、ソフト両面における総合的な転落事故防止対策の検討を急ぐとともに、駅ホームのさらなる安全性向上に向け、下記の事項について取り組むことを強く求めるものである。

記

一 ホームドアの設置にあたっては、全ての鉄道駅ホームの危険個所の実態調査を速やかに行うこと。とりわけ、転落の危険性が高い駅については、現在計画中の駅とあわせて、速やかな設置を実現すること。

二 「内方線付き点状ブロック」の整備については、全駅での整備を促進すること。

三 ソフト面の対応として、希望者への駅係員のアテンドや、一般旅客に対する誘導案内、さらには視覚障がい者への積極的な声かけ等事故を未然に防ぐ対策を強化すること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、国土交通大臣あて

地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書

東日本大震災、熊本地震をはじめ、土砂災害、大水害等各地で想定を超える大規模な自然災害が発生し、甚大な被害が相次いでいる。本年においても、四月の熊本地震のみならず、八月以降の複数の台風により、特に北海道や東北地方を中心に、多くの人命が失われ、甚大な被害に見舞われた。また、十月には鳥取でも震度六弱の地震が発生している。

迅速な復旧・復興とともに、安全・安心な国づくりに資する防災・減災対策は喫緊の課題である。

よって、国におかれては、地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を図るため、下記の事項について取り組むことを強く求めるものである。

記

一 被災者支援システムの全自治体への完備・普及や学区単位での自主防災「コミュニティ」の組織化や訓練の実施等地域防災力の向上を図ること。

二 大規模水害から住民の命と暮らしを守るための自治体の枠を超えた流域ごとのタイムラインの作成や避難行動に直結するハザードマップの作成、適切な避難勧告・指示発令のための体制構築を図ること。

三 災害に強い防災拠点の整備と

して、スマートフォン等で家族の安否や緊急連絡を得られるようにするための公衆無線LANの設置や災害時におけるトイレ機能確保のためのマンホールトイレの整備を促進すること。

四 子ども、女性、高齢者及び障がい者が、避難所生活でつらい思いをすることがないよう避難所の環境整備や防犯体制を強化すること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣、防災担当大臣あて



◆飯能市の先進事例を視察に来られました◆

市町村議会行政視察受入一覧

平成28年10月7日～平成29年1月4日

月 日	市町村議会名	人数	視察内容
10月7日(金)	山口県周南市議会 議会運営委員会	10	・タブレット端末の活用
10月12日(水)	愛知県豊明市議会 議会運営委員会	9	・議会のICT化の取組
10月13日(木)	山梨県富士吉田市議会 建設水道委員会	8	・フィンテックグローバル社との 地方創生に関する基本協定
10月17日(月)	埼玉県ふじみ野市議会 各会派代表	8	・タブレット端末の導入
10月19日(水)	北海道恵庭市議会 議会運営委員会	10	・タブレット端末の導入
10月20日(木)	山口県萩市議会 教育民生委員会	9	・小規模特認校制度 ・タブレット端末の導入
10月24日(月)	静岡県富士宮市議会 議会運営委員会	11	・タブレット端末の導入
10月26日(水)	新潟県糸魚川市議会 議会運営委員会	10	・タブレット端末の導入
10月26日(水)	新潟県三条市議会 経済建設常任委員会	6	・エコツーリズムの取組
11月1日(火)	長崎県諫早市議会 会派「爽改いざはや」	4	・シティプロモーション
11月4日(金)	埼玉県加須市議会 議会改革検討委員会	13	・議会改革
11月7日(月)	京都府京田辺市議会 建設経済常任委員会	9	・バス交通
11月11日(金)	青森県弘前市議会 会派「無所属クラブ」	2	・タブレット端末の導入
11月16日(水)	長野県駒ヶ根市議会 会派「日本共産党」	2	・地元材を活用した林業振興
11月17日(木)	兵庫県伊丹市議会 議会改革特別委員会	9	・タブレット端末の導入
11月18日(金)	茨城県常総市議会 議会運営委員会	13	・タブレット端末の導入 ・議会報告会

議場見学を受け入れています

飯能市議会では、市民に身近で開かれた議会を目指して、議場見学を積極的に受け入れています。

今年度は、七月十三日に飯能市自治会連合会第二支部二十四名、九月九日に飯能市自治会連合会美杉台支部十三名、十一月九日に飯能市自治会連合会南高麗支部八

名、十一月二十二日に駿河台大学法学部三十名、十二月十四日に名栗幼稚園三千七名が議場見学にお越しくださいました(平成二十八年十二月末現在)。

十二月十四日の名栗幼稚園の議場見学の際には、平成二十八年十一月定例会中に議場の壁に名栗幼稚園の園児の皆さんが作成した作品「花火」を飾らせていただいたことから、砂長議長より園児一人一人に感謝状が手渡されました。



駿河台大学法学部



名栗幼稚園

◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検 索

クリック

☆テレビ放映しています

飯能市議会では、飯能日高テレビの番組で一般質問の様子を録画放映しています。また、議会事務局(市役所4階)では、番組を録画したDVDの貸出しを行っております。

「市政に対する一般質問」の ライブ中継を始めました

平成28年3月定例会から市役所本庁舎1階ロビーにおいて一般質問のライブ中継を開始しました。



市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<http://www.city.hanno.saitama.jp>



奥武蔵中学校駅伝

審議の日程

12月定例会

- 11月25日 開会、市長提出議案の上程・提案理由説明
- 29日 議案質疑、議案の委員会付託
- 30日 一般質問
- 12月 1日 一般質問
- 5日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 9日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決
議員提出議案の上程・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

10月

- 17日 埼玉県都市競艇組合理事会定例会

11月

- 2日 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会
- 8日 代表者会議
- 15日 全員協議会
- 22日 議会運営委員会
- 25日 第4回定例会(12月9日まで)
飯能市議会広報委員会
- 30日 政務活動費審査会

12月

- 7日 議会改革特別委員会

1月

- 4日 飯能市議会広報委員会

飯能市議会議員選挙について

任期満了に伴う飯能市議会議員一般選挙(定数19人)の日程が、以下のとおりに決定いたしました。

告示期日…平成29年4月16日(日)

選挙期日…平成29年4月23日(日)

また、平成27年6月に公職選挙法等の一部を改正する法律が成立し、年齢満18年以上満20年未満の者が選挙に参加することができるようになりました(平成28年6月19日施行)。

議会を傍聴しませんか

12月定例会では延べ78名の方が傍聴されました。

次回の3月定例会は
2月16日開会予定です。

会期日程等は2月14日頃内定します。

会議録は次の施設またはホームページでご覧になれます

市役所内:議会事務局(4階)・市政資料コーナー(3階)

* 編集を終えて *

「安きに居りて危うきを思う、思えば則ち備え有り、備え有れば憂(患)い無し」(書経)安全な時こそ真剣に考え万全に備えておく。故に憂いが無い。自助・共助(互助・近所)・公助の比率は7:2:1。大規模な災害時は公的機関も被災しています。まずは各ご家庭での「備え」が一番重要です。そして、共助。普段からのご近所付き合いが大切です。そして公助の1。誰よりも真剣に市民の安全と無事故を祈り、心を砕き、安全施策や防災事業の後押しをしていくのが私たち市議会議員の責任でもあると思います。いずれ来るであろう大きな自然災害に備え、万全な公助体制を構築して参ります。

(中元)

広報委員 (◎委員長 ○副委員長)

◎滝沢 修 ○鳥居誠明 栗原義幸 中元 太
大津 力 野口和彦 新井 巧 平沼 弘

戸田競艇場開催日(埼玉県都市競艇組合主催分)

2/4~2/9、2/23~2/26、3/9~3/13

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています)

市議会だより

3月定例会

- 平成29年度一般会計予算案328億円など可決
- 市税条例一部改正など可決

目次

議案の審議	②・③
委員会の審査	④
議決結果・人事案件	⑤
市政に対する一般質問・陳情・ 請願・視察受け入れ状況	⑥～⑧
議会改革特別委員会報告	⑨
市議会案内板	⑩



議案の審議

3月定例会が開催されました

3月定例会は、2月16日から3月9日までの22日間開かれ、市長提出議案34件、請願1件について審議等を行い、すべて議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

市長提出議案

②〇平成二十九年飯能市一般会計予算

歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ三百二十八億円と定めるもの。

問 予算編成にあたり、市民の所得水準や家計の実態はどのように分析をしているのか。

答 個人市民税現年課税分について所沢税務署管内の源泉徴収税の徴収の現状を参考とし、所沢税務署管内においては、二・六%の上昇が見られた。その他埼玉県の給与額の統計等を参考にし、本市としては個人市民税現年課税分として、前年比〇・四%増、四十三億四千八百万円で予算計上した。

問 大河原工業団地の法人市民税等の状況については。

答 企業誘致の効果は税収の中で見込んだ。法人市民税について、平成二十九年年度では二十七社からの税収を見込み約四千万円の収入に換算し、また、固定資産税、都市計画税は工場の新築家屋等あるいは新規取得の償却資産等で約三億二千四百万円見込んだ。

問 平成二十九、三十年で地域福祉計画を作成することになっているが、現在のふくしの森プランの推進状況の到達点に立って、どのように計画をしていくのか。

答 平成二十九年年度は、市民アンケート等の調査を実施し、平成三十年年度にまとめたいきたいと考えている。新たな視点で、生活困窮者の自立支援等の視点、また、地域包括ケアシステムの構築をその中に入れていく取り組みをしていく。

問 市職員による鳥獣被害対策隊の設置については。

答 オール飯能市役所体制で対策に取り組み、地域ぐるみの対策へとつなげていくためには、まずは職員が汗をかき、本気で対策に取り組むことで市民の理解を得て、地域の力を引き出していくことが大切である。職員は、市民の声に耳を傾けたり、自己防衛策を手助けしたり、無理なくできることから始めていきたいと考えている。

問 あけぼの子どもの森公園の整備についてどのような位置づけや構想を持っているのか。

答 まち・ひと・しごと創生総合戦略、第五次飯能市総合振興計画のシンボルプロジェクトとして宮沢湖周辺、飯能河原天覧山周辺を結び、トライアン

グルゾーンの都市回廊空間を整備していくこととしており、従来からの基本コンセプトに世代を超えて愛される公園としてブラッシュアップして、市内外はもとより、外国から多くの人が訪れ、より多くの皆様に愛される施設にしていきたいと考えている。



あけぼの子どもの森公園

問 防犯灯のLED化事業の調査委託料は。

答 平成二十九年年度には導入計画の策定、平成三十年年度から十年間のリース契約で行う予定である。

問 社会資本整備総合交付金については。

答 限られた予算の中で、国からの補助金は貴重な財源であり、対応可能な交付金をより多く確保していく。

問 景観行政団体事業とは。

答 市の特色を生かした景観形成を誘導するため、景観計画を策定するものであり、メツツアが平成三十年秋に一部オープンすることから、平成二十八、二十九年年度に宮沢湖周辺地区を先行して重点的に検討して、その後、市域全体を検討していきたいと考えている。

問 空き家バンクの事業内容は。

答 昨年の三月から制度が開始され、これまで五件の利用者があり、このうち市外からの転入の方は三件である。平成二十九年年度予算は、パンフレットの印刷代がメインで、納税通知書に同封して、空き家の所有者に周知しており、平成二十九年度も同様に周知をしていく予定である。積極的に空き家の所有者に空き家バンクの制度をPRしていく。

▼討論▲

反対の立場 法人税減税、都市計画税、阿須山中の土地開発公社用地二億円の取得、美杉台中学校建設費償還金、学校給食調理業務の委託、農業委員会法の改正、飯能大河原線整備事業などの問題を指摘して反対する。

▼討論▲

賛成の立場

飯能市が発展可能性都市から発展都市へ飛躍するために必要な予算が計上されており、市民の皆様が飯能市に住む幸せを実感するとともに、誇りを抱いていただけるような日本一のまちづくりに向け、全力で取り組んでいきたいとの市長の強い思いが感じられるものであるので賛成する。

④飯能市税条例等の一部を改正する条例

法人市民税法人税割の税率の引き下げ、軽自動車税における環境性能割の創設及びグリーン化特例の延長、個人市民税における住宅借入金等特別控除の措置の延長など。

▼討論▲

賛成の立場

資本金が十億円以下、かつ法人税の額が年四百万円以下の法人の状況や影響について。本市において、延べ千四百社ほどの申告数があり、法人市民税法人割の税率が引き下げになると、仮に三七％引き下げたと仮定して計算すると、概ね二千万円弱となる。

▼討論▲

賛成の立場

住宅ローン控除の措置の延長について。住宅ローンは、引き続き二年の延長になり、税制面において住宅の取

得について後押しをして、消費の拡大を狙うものである。

▼討論▲

賛成の立場

国税の法人税と地方税の法人事業税や法人住民税などの税率を合わせた法人実効税率は引き下げが続いており、国民には消費税増税、大企業には減税という不公平は認められず、これ以上の消費税の引き上げは、深刻な消費不況を生み出し、消費税一〇％への増税を前提とした条例改正案は認められるものではないため反対する。

▼討論▲

賛成の立場

飯能市土地開発公社から飯能市大字阿須山^{あまやま}中八九六番ほか四筆の土地を取得するためのもの。

▼討論▲

賛成の立場

十七ヘクタールの阿須山^{あまやま}中の土地を自然公園という名目で取得した経過などを明らかにし、飯能市として土地開発公社の問題点を総括することや、取得後の利用構想程度は示す必要があり、また、買い戻しの財源として、埼玉県ふるさと創造貸付金を活用すると、総額二十億円、毎年二億円としているが、市民に納得のいく説明と市民参

加で利用方法を検討することを強く求めて反対する。

▼討論▲

賛成の立場

阿須山^{あまやま}中の土地の利用目的については取得の時点で自然公園となっており、土地開発公社の理事会でも自然公園として買収したことは承認されており、また、土地開発公社の経営健全化計画にも、飯能市の取り組みとして、埼玉県ふるさと創造貸付金を活用し買い戻しをすることが位置づけられているため賛成する。

▼討論▲

賛成の立場

主要な建設改良事業として、老朽管布設替事業三億五百五十三万二千円、配水管網整備事業一億八千七百五十六千円、浄水施設等再構築事業四億五千二百七十万円、取水・浄水・配水施設等整備事業一億七千八百三十一万九千円、基幹施設耐震化事業六千六百二十八万四千円を予定。

▼討論▲

賛成の立場

水道料金の給水収益の積算内容は、基本料金については、口径二十ミリについては五％位の増、口径二十五から五十ミリについては〇・五％の増、その他の口径については現状維持である。従量料金については、節水

意識の定着や節水機器の普及等ある中で、給水戸数の増加が見込まれる口径二十ミリについては一％の増、その他の口径については三から五％程度の減少を見込んだ。上水については前年度当初予算に対して〇・八％のプラス、簡水については〇・二％のマイナスを見込んだ。

▼討論▲

賛成の立場

(仮称)飯能大河原線との関係で、県水を橋の下に水道管を添架していくと計画にあるが、その関係の具体的な工事について。

大河原の交差点から岩根橋までの間に配水管の布設を行い、(仮称)飯能大河原線については、橋のように添架する形で布設工事を行う。

大河原工業団地も立地企業が全て決まり、今後大口の事業者の数は見込めず、また、一般家庭も節水機器等の発達により給水量が増えることも考えられない。県水の受水は廃止、少なくとも最低限の受水量とし、おいしい飯能の水を守ることが求められる。平成二十九年度においても県水の受水量を見直すことなく、予算を計上していることは認められるものではないため反対する。

大河原工業団地も立地企業が全て決まり、今後大口の事業者の数は見込めず、また、一般家庭も節水機器等の発達により給水量が増えることも考えられない。県水の受水は廃止、少なくとも最低限の受水量とし、おいしい飯能の水を守ることが求められる。平成二十九年度においても県水の受水量を見直すことなく、予算を計上していることは認められるものではないため反対する。

大河原工業団地も立地企業が全て決まり、今後大口の事業者の数は見込めず、また、一般家庭も節水機器等の発達により給水量が増えることも考えられない。県水の受水は廃止、少なくとも最低限の受水量とし、おいしい飯能の水を守ることが求められる。平成二十九年度においても県水の受水量を見直すことなく、予算を計上していることは認められるものではないため反対する。

大河原工業団地も立地企業が全て決まり、今後大口の事業者の数は見込めず、また、一般家庭も節水機器等の発達により給水量が増えることも考えられない。県水の受水は廃止、少なくとも最低限の受水量とし、おいしい飯能の水を守ることが求められる。平成二十九年度においても県水の受水量を見直すことなく、予算を計上していることは認められるものではないため反対する。

大河原工業団地も立地企業が全て決まり、今後大口の事業者の数は見込めず、また、一般家庭も節水機器等の発達により給水量が増えることも考えられない。県水の受水は廃止、少なくとも最低限の受水量とし、おいしい飯能の水を守ることが求められる。平成二十九年度においても県水の受水量を見直すことなく、予算を計上していることは認められるものではないため反対する。

大河原工業団地も立地企業が全て決まり、今後大口の事業者の数は見込めず、また、一般家庭も節水機器等の発達により給水量が増えることも考えられない。県水の受水は廃止、少なくとも最低限の受水量とし、おいしい飯能の水を守ることが求められる。平成二十九年度においても県水の受水量を見直すことなく、予算を計上していることは認められるものではないため反対する。

大河原工業団地も立地企業が全て決まり、今後大口の事業者の数は見込めず、また、一般家庭も節水機器等の発達により給水量が増えることも考えられない。県水の受水は廃止、少なくとも最低限の受水量とし、おいしい飯能の水を守ることが求められる。平成二十九年度においても県水の受水量を見直すことなく、予算を計上していることは認められるものではないため反対する。

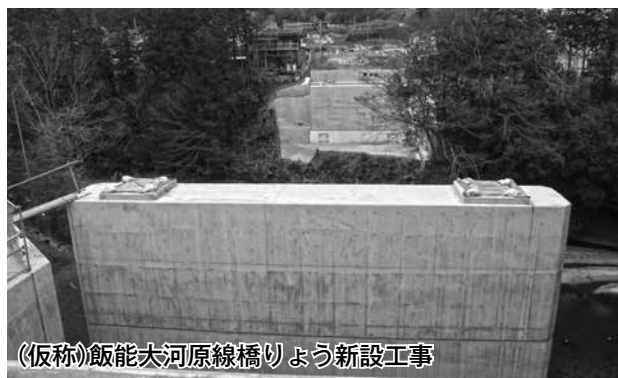
大河原工業団地も立地企業が全て決まり、今後大口の事業者の数は見込めず、また、一般家庭も節水機器等の発達により給水量が増えることも考えられない。県水の受水は廃止、少なくとも最低限の受水量とし、おいしい飯能の水を守ることが求められる。平成二十九年度においても県水の受水量を見直すことなく、予算を計上していることは認められるものではないため反対する。

大河原工業団地も立地企業が全て決まり、今後大口の事業者の数は見込めず、また、一般家庭も節水機器等の発達により給水量が増えることも考えられない。県水の受水は廃止、少なくとも最低限の受水量とし、おいしい飯能の水を守ることが求められる。平成二十九年度においても県水の受水量を見直すことなく、予算を計上していることは認められるものではないため反対する。

▼討論▲

賛成の立場

水道水が安定的に供給されることは何より求められているもので、予期せぬ水質事故や異常気象による濁水などを考えると、県水という複数の水源を持つことは極めて重要である。小岩井浄水場の設備更新や耐震補強工事の予算、浄化施設等再構築の予算などが計画的に措置され、また老朽管布設替事業への重点的な予算配分がなされており、安定給水への取り組みに力を入れた予算であることも認められているため賛成する。



(仮称)飯能大河原線橋りょう新設工事

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的により詳しく審査をするため総務、厚生文教、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。
3月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務委員会

④ 飯能市税条例等の一部を改正する条例

●法人市民税の改正概要は、消費税率一〇％導入時に地方法人税の税率を引き上げ、法人市民税法人税割の税率を引き下げるものであり、減収分の補てん措置としては、法人事業税の一部が県からの「法人事業税交付金」として交付されるとともに、地方法人税の引き上げ分が地方交付税の原資となること。

(反対討論あり)

⑯ 財産の取得について

●飯能市土地開発公社から、飯能市大字阿須字山中八百九十六番ほか四筆の土地を二億円で取得するもので、今回で五年目になること。

(反対・賛成討論あり)

⑳ 平成二十九年飯能市一般会計予算

●規模の大きい法人の企業活動による予算への影響が大きいため、業績を見極めて予算の積算をしているが、世界経済の影響や為替相場等見極めにくい状況であるため、そうした中で決算短信等や平成二十八年の実績も参考に予算を積算している。

厚生文教委員会

㉑ 平成二十九年飯能市一般会計予算

●美杉台中学校建設費償還金について、都市再生機構に対し毎年連絡を取っているが、都市再生機構と飯能市との契約上のものなので、例えば土地の無償譲渡や金利の見直しは契約上できないこと。

●聴覚障害者支援委託料は、障害者福祉課や市民課などの窓口で、聴覚障害者の方が来庁した際には、常設してあるタブレット端末の画面を通して、遠隔手話通訳や代理電話等の対応を行うためのものであること。

(反対討論あり)

●公共施設等マネジメントは、平成二十八年度末に本市の考え方や基本的な方針を示す飯能市公共施設等総合管理計画を策定したのち、平成二十九年以降に総合管理計画に基づいた各施設の整備方針や維持管理方針を定める個別施設計画を策定していくこと。

●消防団員の確保が難しいことはあるが、消防団員の定数の見直しについては、今後の実情を踏まえ、消防団と協議して検討していくこと。

経済建設委員会

㉒ 平成二十九年飯能市一般会計予算

●現農業委員は平成二十九年七月十九日までの任期で七月二十日から新農業委員にかわり、農地利用最適化推進委員は新たな農業委員会が委嘱する。また、報酬は、現農業委員は会長職が月額四万五千円、委員が月額三万六千円となっており、新農業委員は十名で会長職、委員の報酬は同額となる。新規に創設される農地利用最適化推進委員は九名で月額報酬は三万六千円となること。

●移住定住促進費について、住宅に関する補助金をまとめる形で住宅リフォーム等、飯能住まい、木造住宅耐震診断・耐震改修及び西川材使用住宅等の補助金で建築課が対応すること。

●(仮称)飯能大河原線については、平成二十三年度から予備設計を実施しており、平成二十八年年度末で実施済みの額としては、事業費で二十一億一千万円、国費は七億円であり、平成三十年度で完了ということで現在残工事を実施中であること。

●生活支援体制整備事業の内容については、社会福祉協議会へお願いするものであり、現在五人いるCSW(コミュニティソーシャルワーカー)に生活支援コーディネーターとして、現在進めている協議体の設置の調整役を担ってもらう委託料であること。

●(仮称)飯能大河原線については、平成二十三年度から予備設計を実施しており、平成二十八年年度末で実施済みの額としては、事業費で二十一億一千万円、国費は七億円であり、平成三十年度で完了ということで現在残工事を実施中であること。

(反対・賛成討論あり)



飯能消防団本部・第2分団車庫駐所

平成29年3月定例会 議決結果

賛否が分かれた議案

※表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議席番号・議員名 議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決結果
		栗原 義幸	中元 太	大津 力	野口 和彦	滝沢 修	山田 利子	新井 巧	金子 敏江	内田 健次	平沼 弘	(欠員)	加藤由貴夫	砂長 恒夫	鳥居 誠明	松橋 律子	加浦 弘貴	梶田 博之	野田 直人	武藤 文夫	
4	飯能市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
19	財産の取得について	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
20	平成29年度飯能市一般会計予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
31	平成29年度飯能市水道事業会計予算	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	—	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願1	米軍横田基地にオスプレイを飛来させないこと、配備計画を撤回することを国と米軍に申し入れるよう求める請願	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×		×	—	×	×	×	×	×	×	不採択

※砂長恒夫議員は議長のため、採決には加わっていません。

全会一致の議案等

議案番号	議案名	議決結果
1	飯能市個人情報保護条例の一部を改正する条例	原案可決
2	飯能市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
3	飯能市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
5	飯能市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
6	飯能市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
7	平成28年度飯能市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
8	平成28年度飯能市下水道特別会計補正予算(第3号)	原案可決
9	平成28年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第3号)	原案可決
10	平成28年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算(第3号)	原案可決
11	平成28年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計補正予算(第3号)	原案可決
12	平成28年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計補正予算(第3号)	原案可決
13	平成28年度飯能市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
14	市道路線の認定について(八幡町地内)	原案可決
15	市道路線の廃止について(大字小岩井地内)	原案可決
16	市道路線の認定について(大字双柳地内)	原案可決
17	市道路線の認定について(美杉台六丁目地内)	原案可決
18	市道路線の認定について(大字坂石町分・大字坂石・大字長沢地内)	原案可決
21	平成29年度飯能市国民健康保険特別会計予算	原案可決
22	平成29年度飯能市下水道特別会計予算	原案可決
23	平成29年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計予算	原案可決
24	平成29年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計予算	原案可決
25	平成29年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計予算	原案可決
26	平成29年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計予算	原案可決
27	平成29年度飯能市特定環境保全公共下水道特別会計予算	原案可決
28	平成29年度飯能市介護保険特別会計予算	原案可決
29	平成29年度飯能市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
30	平成29年度飯能市訪問看護ステーション特別会計予算	原案可決
32	平成28年度飯能市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
33	平成29年度飯能市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
	議会改革特別委員会報告	
34	教育委員会委員の任命について(新野 豊次 氏)	同意



新野 豊次氏

③④教育委員会委員の任命について
教育委員会委員森健二氏が平成二十九年三月三十一日をもって委員を辞職するので、新たに新野豊次氏を任命することについて全員同意しました。

人事案件

一般質問

一般質問とは、議員がそれぞれの視点から市の行政全般について市長(執行部)に質問し、説明を求めるものです。

「市議会だより」には、質問者本人が執筆したものを、発言順に掲載しています。

今回は、10人が質問にたちました。

住宅セーフティー制度 飯能アルプス登山者の安全確保 聴覚障がい者支援拡充

中元 太

問 住宅確保要配慮者へ空き家を利用した住宅セーフティーネットの活用は。

答 建物所有者や住宅確保要配慮者の意向を踏まえ、今後は空き家の適切な管理や住宅供給体制を築いていく。

問 飯能ハイカーの安心安全の為に遊歩道や道標の整備が必要だが。

答 危険箇所や過去に事故があった場所には注意喚起看板を設置。また表記方法に工夫した道標を設置する。市ホームページ

問 ジでも周知していく。
全国初の聴覚障がい者支援がいよいよ始まるが。

答 タブレット端末による遠隔手話と音声認識・デジタル筆談、代理電話(手話通訳コールセンター)が代理対応が六月から開始する。代理電話は二十四時間対応ではないが、救急対応も可能になり、従来の課題が大幅に改善される。まずは第一歩の支援事業だが、今後も継続して市独自の手話通訳者派遣制度を目指す。

「気候風土適応住宅」について

大津 力

問 気候風土適応住宅認定制度とは。

答 平成二十七年七月に公布された「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」に基づくもので、建築物において省エネの基準に適合させる義務が生じるもの。三〇〇㎡未満の小規模な建物については現在のところ建築主の努力義務となっているが、平成三十二年頃までには省エネの基準に適合させる義務が生じる予定。しかしながら、昔

からの縁側や大きな窓のある家や土塗壁や板壁など伝統的な造りの住宅については、基準通りの省エネ性能にするのが非常に難しいことから、所管行政庁がその地域の気候風土に適応した住宅であることを認定することにより、外壁や開口部などの基準を適用除外にしたり、一次エネルギー消費量の基準を緩和できたりするという規定が定められている。

二〇二五年問題について

野口 和彦

問 二〇二五年を迎えると、団塊の世代の人々が七十五歳以上の後期高齢者となり、社会に様々な問題が生じると予想されており、このことについてどのように考えているのか。

続けるような人々が増えてくる
ことが考えられる。

提議 根本的な問題は「助けて」と身近な人に相談できないことだと考える。そこで、「コミュニティの再生が必要。地区行政センターと同じ数の地域食堂や健康管理の専門家を配置した、予防に特化した拠点となる民間主体の施設の設置を提案するが。

答 非常に有益な事業であると考え、総合的に検討を重ねてま

答 介護サービス給付費は約二倍の百一十億円程度に増加し介護サービスが必要とする高齢者の増加や、身近に相談できる人がいないなど社会的に孤立し、支援が必要な状況となり、誰にも把握されないまま問題を抱え

いりたい。

「地域未来塾」の導入は 通学路の危険箇所等の対策は 給食費の無償化は

栗原 義幸

問 「地域未来塾」とは「子どもの貧困対策推進法」を受けて始まった国の地域学習支援事業である。本市での導入は。

答 教育委員会では地域の方々を講師として公民館等を利用して定期的に行う新たな学習支援事業の実施を検討している。

問 通学路の危険箇所等の対策は。各学校、PTAによる通学路の安全点検を実施し、その報告を基に市の安全推進連絡会議にて対策を検討、危険箇所の解

答 今後、研究してまいりたい。
「学校給食の無償化は子育て世帯の負担軽減や子どもの貧困を防ぐ効果が見込まれ、子育て世代の定住促進としても注目される。また学校、教職員の事務負担軽減にもつながるもの。本市での導入について見解を聞く。

答 「自己の食」は受益者に負担をお願いしたいと考えている。

デマンド交通と地域循環ワゴンで 住民の足の確保を

新井 巧

問 住民の足を確保するために、地域公共交通に関する法律と道路運送法を兼ねる地域公共交通対策協議会を設置するにあたって、山間部はもとより、全市域の交通弱者対策が必要ではないか。調査や検討をいつまでもやっている段階ではなく、具体的な施策として、バス路線の維持とあわせて、デマンド交通と地域循環ワゴンに福祉の移送サービスで足の確保策を講じていく必要があるのではないかと。埼玉県内の自治体

ではどのような施策を講じているか。

答 県内六十二市町村のなかで、「ミニタイーバス四十三自治体、デマンド交通（予約乗り合いタクシー）十七自治体」が実施。秩父市では、スクールバスの住民利用などもしている。今後、地域に出向き、地域にあった、地域に必要な、地域の方が利用できるものを考えて実現したい。交通政策室において、全市的な交通計画を考えていく。

将来を見据えた森林林業政策

内田 健次

問 市の十年間の計画で取り組む森林政策の中心になる機関は。

答 西川広域森林組合など連携して取り組む。

問 市の計画、森林林業再生プラン、森林組合法等と平成二十八年度事業計画との整合性は。

答 大きな方向性においては合致していると考えている。

問 組合改革の進捗は。

答 今後は組織改革を根本から見直し、森林組合改革を進める。木材の営業力強化策は。

答 需要開拓は喫緊の課題。知識と経験を有する人の営業が必要。

問 人材育成機関設置は。

答 全国各地で育成機関が立ち上がっている。本市の市有林を学びの場として提供することを考えている。

問 CLTプラントや木材産業集積地構想を実現すべきでは。

答 ラミナ調達に難がある。当地域は工場もなく、CLTプラントは難しい。動向を注視する。集積地は民間に期待する。



西川広域森林組合(飯能市林業センター内)



市民懇談会

市民の「お出かけ」を守る 公共交通について

滝沢 修

問 昨年十二月、市民懇談会が開催された。高齢化が進むなか交通問題は山間地のみならず市全体の問題と痛感した。各地域で様々な意見が出されたが市はどの様に捉えたか。また、今後の交通政策への活かし方は。

答 地域の方が利用できる「利用される」交通手段について検討を行い「持続可能」として行く重要性を感じた。今後にも必要に応じて、地域に出向き課題解決に向けて検討を進めたい。

問 市民の方から「運転が危ないと感じ、車を手放したが通院が大変」「買物や趣味のサークルに参加するのも困難」などの意見を多数聴いている。高齢化から外に出て、体を動かすことは健康につながる。高齢者の「お出かけ」が守れるよう早急な対策が必要だが。

答 様々な課題をどの様に解決したらよいか、可能なことからスピード感を持って進めていきたい。

待機児童対策は市の責任で 施設整備すべきではないか

山田 利子

問 保育所に入れない待機児童が社会的な問題になっている。安倍政権の待機児対策は、保育の規制緩和であり、資格を持たない保育士でも良いとした小規模保育や定数の基準超過の受け入れと民間頼みでは解決しない。私どもは待機児を出さないための緊急の受け入れ措置と保育所整備の抜本的見直しを、保育が必要な全ての子ども

の受け入れは飯能市の責任」と市の責任を求める要望書を提出した。飯能市でも第二次募集で百名超の

答 児童が入所待ちであることが明らか。放置するわけにはいかない。市の考えは。

答 新たに追加受け入れできないか各保育園に依頼。公立保育所で一時預かりの定員増で待機児を解消したい。市の責任で認可保育所をとということだが、定員枠を拡大することで解決する。市の基本は、民間幼稚園・保育所を認定子ども園に移行、新築・増築で解消したい。

四十人を超える

市内大規模学童保育所の分割を

金子 敏江

問 認可保育所に入れない待機児童が増えて問題となっているが、市街地の学童保育所は入所希望が増えてすし詰め状態となっている施設があり改善してほしい。双柳小学校区、富士見小学校区、第一小学校区である。双柳たけのこクラブは新年度百人を超える状況。飯一小どろんこクラブが六十名近く。あおぞらが七十名超、富士見わんぱくクラブも入所希望児童が増えている。新たな施設の増設が必要だ。ま

た雨の日は遊び場に困っている。学校の体育館を使用することはできないか。

答 飯能市は児童クラブ施設運営のガイドラインを平成二十八年三月作成し、一施設おおむね四十人以下としている。四十人をを超える施設については、今後、入所利用児童の推移や施設の収容能力等把握し、緊急性、必要性を判断した上で計画的に分割していきたい。学校体育館の使用は学校長の権限なので伝える。

ふるさと納税は、地産外消の考えで有害鳥獣被害はプロを使うべき

相田 博之

問 ふるさと納税は、基本的に地元の物産で勝負すべきでは。

答 地元の物もたくさん用意している。

問 目玉商品が市外産では、市長は先方の営業マンなのか。

答 友好都市ということでも扱っている。

問 友好都市でもその前に地元物産が優先だと思いが、相手都市では飯能産を扱っているのか。

答 扱っていない。

問 ふるさと納税こそ、地産地消する。

消から地産外消の考えを持って取り組むべきであると思うが。

答 市の理念に従って取り組む。

問 一方で、物欲合戦ではないかと言われ、所沢市などは、返礼品合戦からは手を引くという決断をしたということだが。

答 ルールに基づいて一番になることが飯能市民の幸せにつながる。

問 鳥獣被害対策は、まずプロに任せるべきではないのか。

答 民間活力を視野に入れて調整する。

市民から市議会へ提出

請願

○の中の数字は請願番号

① 米軍横田基地にオスプレイを飛来させないこと、配備計画を撤回することを国と米軍に申し入れるよう求める請願

不採択(多数)

提出者

憲法改悪反対
飯能日高共同センター代表
杉田 實

陳情

○の中の数字は陳情番号

① 地球を守る社会体制創りの陳情書

提出者

荒木 實



◆飯能市の先進事例を視察に来られました◆

平成28年度 市町村議会行政視察受入一覧
平成29年4月5日現在

月 日	市町村議会名	人数	視察内容
1月12日(木)	群馬県市議会議員会 事務局職員研修	24	・ICTを活用した議会運営 ・議会改革
1月17日(火)	佐賀県市議会議員会 事務局職員研修	11	・タブレット端末の導入
1月19日(木)	福岡県嘉麻市議会 総務財政常任委員会	6	・地域の魅力を活かした「飯能住まい制度」
1月23日(月)	静岡県島田市議会 議会運営委員会	12	・政務活動費審査会の運用 ・ICT機器活用状況
1月24日(火)	長野県上田市議会 正副議長・各会派代表	8	・タブレット端末の導入
1月25日(水)	青森県黒石市議会 会派「自民・公明クラブ」	8	・タブレット端末の導入とその後の議会運営
1月26日(木)	埼玉県本庄市議会 議会運営委員会	11	・タブレット端末を利用した議会運営
1月30日(月)	鹿児島県始良市議会 議会運営委員会	10	・タブレット端末の導入
2月 3日(金)	沖縄県沖縄市議会 議会運営委員会	11	・タブレット端末の導入 ・議会基本条例
2月 6日(月)	滋賀県甲賀市議会 会派「清風クラブ」	10	・地方創生 ・シティプロモーション推進事業 ・農のある暮らし「飯能住まい」
2月 8日(水)	福岡県大牟田市議会 総務常任委員会	9	・地方創生 ・シティプロモーション推進事業 ・農のある暮らし「飯能住まい」
2月 9日(木)	広島県福山市議会 議会運営委員会	13	・タブレット端末の導入
2月10日(金)	京都府長岡京市議会 公明党長岡京市議会議員団	3	・子どもインフルエンザ予防接種費用無償化事業
3月23日(木)	石川県羽咋市議会 会派 自民羽咋	6	・タブレット端末の導入
3月27日(月)	福島県会津若松市議会 事務局職員	2	・タブレット端末の導入
3月29日(水)	静岡県沼津市議会 会派 市民クラブ	6	・飯能市立図書館の概要及び特徴的な取り組み

「議会改革特別委員会」 調査報告書(抜粋)

本委員会は、本市議会の議会改革について必要な調査、研究を行い、議会改革をさらに推進するとともに、市民に身近で開かれた議会を目指すため、平成二十六年三月定例会(平成二十六年三月十八日)において設置され、閉会中も継続して調査をしてきたところである。

本委員会の調査事項について、平成二十七年三月定例会及び平成二十八年三月定例会において中間報告を行ったが、このたび、本委員会における調査研究を終了するにあたり、これまでの議会改革及び中間報告の内容も含め調査報告する。

○特別委員会までの経緯と取り組みについて

・本市議会では、議会のあり方から検討を進めることとなり、平成二十年六月に「議会のあり方研究会」を立ち上げ、「正副議長選挙の立候補制を導入」、「一般質問インターネット映像配信を開始した。平成二十二年六月に「議会改革検討会」を設置し、「政務活動費運用指針の策定」、「政務活動費審査会の設置」、「政務活動費収支報告書・実績報告書の公開」、「タブレット型端末機の導入」などの改革を行い、平成二十四年六月には「飯能市議会基本

条例の制定」を行った。平成二十四年七月には「議会改革推進会議」を設置し、「決算特別委員会の審査方法の見直し」などの改革を行った。

○議会改革特別委員会の設置について

・平成二十六年三月に設置し、二十二回の特別委員会を開催し、議論を重ねた。

○議会改革特別委員会の方針等について

・議会改革特別委員会の位置づけ・取り組むべき課題などについて協

議し、課題の優先順位については、正副委員長に一任することとした。

○私たちの一票がまちを変える事業について

・十八歳選挙権を迎えるにあたり、政治に直接関わる機会をつくり、関心を高めてもらう目的で、飯能商工会議所青年部主催のもと、聖望学園中学校、大川学園高等学校の生徒達と、まちの将来をテーマにグループディスカッションを行い結果発表を行った。

○IT関係について

・いち早くタブレット型端末機を導入した本市議会としては、今後IT分野に力を入れた議会改革を推進していくこととし、行政視察資料の提供について、平成二十六年より紙媒体による資料を廃止し、旧タブレット端末を使用しての説明とすることとした。議案書等のペーパーレス化について、平成二十八年六月定例会よりクラウドシステムからの閲覧が可能となった。

○クラウドシステムについて

・操作性、コスト面、フォルダの階層の制限がないことなどを考慮してシステム選定し、現在使用しているNASについては、危機管理対策として、クラウドシステムのバックアップとすることとした。

○議会からの情報公開について

・平成二十八年三月定例会より議案書等を市議会ホームページに掲載した。また、ケーブルテレビを活用して、一般質問のライブ中継を市

役所一階ロビーで開始した。

○決算特別委員会の見直しについて

・委員の選任、総括質疑、審査方法などを協議し、委員会審査の専門的かつ細部にわたる審査同様に、決算審査においても各常任委員会に平成二十八年九月定例会において、分割付託した。

○駿河台大学と市議会との連携について

・議会改革を推進する中で、政策立案の機能強化を図る必要があり、専門的知見と連携を図ることは大きな意味を持つことから、今後の研究課題とすることとした。

○会期日程の変更について

・議案審議の充実を図るため、一般質問と常任委員会の日程順について、会期日数を変更せずに、常任委員会を先に開催し、その後一般質問を行うことを協議し、平成二十九年三月定例会から実施した。本会議議案質疑と常任委員会審査を連続することにより、議案に対する審議の連続性の確保と審議の充実が図られ、さらに、一般質問の日程が後になることにより、議員の質問及び執行部の答弁について、相互の準備期間が十分確保され一般質問のさらなる充実を図ることができた。

○行政視察受入体制について

・全国に先駆けてタブレット型端末機を平成二十四年度に導入して以来、全国二百四十三自治体、延べ千七百三十四人の受け入れを行っ

た。この行政視察は、議員自らが行い議員同士の情報交換の場として活用することができた。



議場での行政視察受入風景

おわりに

・本委員会は、平成二十四年に制定した議会基本条例に基づき、その理念、議会・議員の活動原則等を通して、議会としての使命を果たすために、議会が持つ様々な権能の全般にわたる改革を検討する中で、具体的に議会改革を実践、推進し、一定の成果を挙げたところである。二元代表制の一翼を担う議会としての責務を果たし、今後も市民に信頼される議会を目指し、継続して議会改革の推進を図り、豊かな市民生活と市政発展に寄与していくため、不断の努力を重ねていく所存である。

市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>



ブレア市高校生訪問団

審議の日程

3月定例会

- 2月16日 開会、市長提出議案の上程・提案理由説明
- 21日 議案質疑、議案及び請願の委員会付託
- 23日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 24日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 28日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 3月2日 一般質問
- 3日 一般質問
- 9日 委員長報告・質疑・討論・採決
議会改革特別委員会報告
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

1月

- 4日 飯能市議会広報委員会
- 17日 埼玉県都市競艇組合理議会臨時会
- 24日 埼玉西部消防組合理議会定例会
- 31日 代表者会議

2月

- 1日 全国市議会議長会基地協議会総会
- 2日 広域飯能斎場組合理議会定例会
- 7日 全員協議会
- 14日 議会運営委員会
- 16日 第1回定例会(3月9日まで)
飯能市議会広報委員会
- 21日 議会改革特別委員会

3月

- 30日 埼玉県都市競艇組合理議会定例会

4月

- 5日 飯能市議会広報委員会

◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検索

クリック

☆テレビ放映しています

飯能市議会では、飯能日高テレビの番組で一般質問の様子を録画放映しています。

☆ライブ中継をしています

市役所本庁舎1階ロビーにおいて一般質問をライブ中継しています。

議会を傍聴しませんか

3月定例会では延べ136名の方が傍聴されました。

次回の5月臨時会は
5月17日開会予定です。
また、6月定例会は
6月9日開会予定です。

会期日程等は6月6日頃内定します。

会議録は次の施設またはホームページでご覧になれます

市役所内:議会事務局(4階)・市政資料コーナー(3階)

* 編集を終えて *

「火事場の馬鹿力」という言葉があります。この言葉は、「家が火事になった時に、家にあった家具を抱えたまま脱出した」という逸話から転じて、「人が、とんでもなく追いつめられたときに、本来は無いほどの力が発揮される」という意味で使われています。科学的には、恐怖を感じたり、興奮をしたりの際に脳内に分泌されるアドレナリンの作用により、力が最大限に発揮されるからとされています。ということは、アドレナリンの分泌を自身でコントロールできるようになれば、欲しい時に力が発揮でき、生産性をあげることができる訳です。よしっ！といいながら、今回の編集後記も、間際までアドレナリンが出せず、原稿提出期限ぎりぎりに書き上げました…。

(大津)

広報委員 (◎委員長 ○副委員長)

◎滝沢 修 ○鳥居誠明 栗原義幸 中元 太
大津 力 野口和彦 新井 巧 平沼 弘

戸田競艇場開催日(埼玉県都市競艇組合主催分)

5/2~5/7、5/11~5/14、6/1~6/4、6/10~6/13

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています)

市議会だより

5月臨時会

- 市議会議員選挙後の議会人事を決定

6月定例会

- 平成29年度一般会計補正予算などを可決

目次

議会の人事……………	②・③
議案の審議(5月臨時会・6月定例会) ……………	④
委員会の審査……………	⑤
議決結果……………	⑥
人事案件……………	⑦
市政に対する一般質問・陳情・請願・ 視察受け入れ状況……………	⑧～⑪
市議会案内板……………	⑫



改選後の新体制を決定

議長に 野田 直人 議員、副議長に 中元 太 議員を選出

4月23日に市議会議員が改選されたことに伴い、5月17日に第2回臨時会が開かれました。始めに正副議長を選挙によって決め、その後に常任委員会委員・議会運営委員会委員の選任、埼玉県都市競艇組合議会議員の互選、広域飯能斎場組合議会議員・埼玉西部消防組合議会議員の選挙などが行われ、新しい議会の構成が決まりました。

立候補制による正副議長の選挙では、本会議を休憩し、議場において立候補を表明する発言が行われました。

議長選挙の結果			副議長選挙の結果		
野田	直人議員	11票	中元	太議員	14票
内田	健次議員	4票	滝沢	修議員	5票
金子	敏江議員	4票			

議長・副議長就任あいさつ

～市政発展のため、実行力ある議会を目指して～



議長
野田直人

市民の皆様には、日頃より市議会に対しまして、格別なご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

私たちは、4月の改選後初めて開かれました5月臨時会におきましてご推挙いただき、議長、副議長に就任いたしました。

自治体の自主的な決定と責任が拡大する中、意思決定機関、行政の監視機関として議会の責務は重大であります。そして、市民の皆様の声を議会での議論を通して、市政に反映していくため、政策形成機能を高めていくことが求められております。

本市では、独自の森林文化都市を創り上げ、メッツァと連携し観光振興をはじめとする地域活性化、子ども、女性、若者、子育て世代から高齢者世代の皆様方が、いきいきと暮らせるまちづくりに向け、市民、事業者、行政が一体となった取り組みが始まっています。

市議会といたしましても、議会としての使命を果たすために、議会が持つ様々な権能について、議会改革を推進し、一定の成果を挙げてきたところであります。

今後も、議会基本条例に基づいた活動、議会改革をさらに推進するとともに、執行機関との真摯な議論により、有効な政策を推進し、諸課題の解決に向けて、慣例にとらわれることなく、一層の創意工夫と努力を積み重ねてまいります。

市民の代表として、その負託と信頼に応え、さらなる市民生活の向上と市政発展のため、実行力のある議会を目指して全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。



副議長
中元 太

会派の構成

◎代表者(平成29年5月17日現在)

みどりの会	◎平沼 弘	加藤由貴夫	砂長 恒夫	野田 直人
NEXTはんのう	◎大津 力	関田 直子	野口 和彦	
清風会	◎鳥居 誠明	新井 重治	内田 健次	
公明党	◎栗原 義幸	中元 太	松橋 律子	
日本共産党	◎金子 敏江	滝沢 修	山田 利子	新井 巧
日本維新の会	◎坂井 悦子			
無所属	加涌 弘貴			

委員会の構成

※◎印は委員長 ○印は副委員長



議会運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●議会の運営に関する事項 ●議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 ●議長の諮問に関する事項 <p>定数7人 (欠員1人)</p>	<p>◎平沼 弘 ○野口 和彦 新井 重治 坂井 悦子 栗原 義幸 新井 巧</p>
総務委員会	<p>所 管</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般会計の歳入 ●企画総務 ●財務 ●他の委員会に属さないもの <p>定数7人</p>	<div> ◎大津 力 飯能339-6 ○内田 健次 原市場654-4 坂井 悦子 川寺583-7 中元 太 落合364-47 滝沢 修 岩沢1146-1 加藤由貴夫 新町25-1 砂長 恒夫 飯能703-7 </div>
厚生文教委員会	<p>所 管</p> <ul style="list-style-type: none"> ●健康福祉 ●教育 <p>定数6人</p>	<div> ◎栗原 義幸 川寺533-4 ○野口 和彦 前ヶ貫266-27 山田 利子 八幡町6-15 新井 巧 井上732-7 鳥居 誠明 緑町13-13 野田 直人 飯能1211 </div>
経済建設委員会	<p>所 管</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民生活 ●産業環境 ●建設 ●上下水道 ●農業 <p>定数6人</p>	<div> ◎松橋 律子 永田345-5 ○関田 直子 岩沢862 新井 重治 岩沢685 平沼 弘 南川1936 金子 敏江 大河原794-1 加瀬 弘貴 美杉台2-11-5 </div>

議案の審議

5月臨時会は、5月17日に開かれ、市長提出議案5件、その他2件について審議等を行い、すべてを議決いたしました。

6月定例会は、6月9日から23日までの15日間開かれ、市長提出議案22件、請願1件、その他1件について審議等を行い、すべてを議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

五月臨時会

市長提出議案

③7 専決処分の承認を求めることについて(飯能市国民健康保険条例の一部を改正する条例)

地方税法等の一部改正に伴い、本市においても同様の措置をとるため提案するもの。

問

軽減措置が拡大されるが、市の対象人数及び軽減額は、

答

五割軽減、二割軽減及び七割軽減については、合計で約一万四百人、軽減額として約一億六千二百万円となり、加入者全体の約四割の方が対象となると考えている。また、平成三十年度から国保は都道府県化ということになり、軽減の対象についても、国保の広域化について検討することになる。

六月定例会

市長提出議案

④0 飯能市税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、本市においても同様の措置をとるため提案するもの。

問 わがまち特例の保育事業について軽減される内容は、

答

地域型保育事業として家庭的保育事業、居宅訪問型保育事業、また、事業所内保育事業の利用定員五人以下のところが該当になり、平成三十年度以後の家屋及び償却資産が軽減の対象となる。また、企業主導型保育事業については、事業の用に供する土地、家屋、償却資産が対象となり、国の補助を受けて開始した事業が対象となる。軽減割合の最大の三分の一を用いて推進していく。

④2 飯能市都市公園条例の一部を改正する条例

あけぼの子どもの森公園の名称変更に伴い、同公園の名称を引用する条項を整理するもの。

問 ライセンス契約等について、

答 トーベ・ヤンソンの名を冠すること、さらにはトーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園として、全世界に対して発信ができるというようなことを中心に契約交渉を行い五月中旬に整った。今回四年間で一万五千ユーロ、日本円で百八十五万円前後の金額で契約した。

問 新たにオープンする施設の運営について、

答 施設の運営については現在検討を進めているところであり、いろいろな選択肢の中から公園の魅力アップに最大限の効果が発揮されるよう検討している状況である。

④3 平成二十九年度飯能市一般会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ二百二十万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出三百二十八億四百七十二万円とするもの。

問 コウノトリ事業(不妊治療費助成事業)の拡充について、

答 不妊治療費助成については、平成二十九年四月日以降に治療が終了し、治療開始時に妻の年齢が三十五歳未満である夫婦の初回の特定不妊治療の場合は、さらに十万円の上乗せ、一千万円まで助成を行う(拡充)。不妊検査費助成については、不妊検査時に妻の年齢が四十二歳未満である方を対象とし、不妊検査費の自己負担に對して、二万円を上限とする(新設)。

④5 平成二十九年度飯能市下水道特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ六千七百十六万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ一十八億三千二百七十六千円とするもの。

問 下水道ストックマネジメントについて、

答

長期的視点で下水道施設全体の今後の老朽化を考慮して、管きよの布設年数や重要度、地理的条件などを優先順位をつけた上で、施設の点検調査、修繕、改築を実施し、施設管理を最適化することを目的とし、今回の増額補正によりポンプ場とマンホールポンプ場を対象として策定したい。

④6 平成二十九年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第一号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ、四千万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ七億九千五百一十九千円とするもの。

問 増額補正の工事場所とその内容について、

答 社会資本整備総合交付金の中、住宅基盤整備事業が見込みを上回ったことから増額をお願いするものである。都市計画道路路川寺岩沢線(加治小学校から東へ岩沢方面へ延びる東西の道路である。区画整理地内にも目に見えるような形で道路ができ上がっており、今後も補助金を有効活用し、区画整理事業を推進していきたい。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的に、より詳しく審査をするため総務、厚生文教、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。

6月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

なお、5月臨時会で上程された議案は、議事の都合により委員会への付託を省略いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務委員会

④① 飯能市税条例等の一部を改正する条例について

●地域決定型地方税制特例措置、通称「わがまち特例」の導入に関する改正で、固定資産税課税標準額の特例割合を定めるものであり、大きく分けて、保育関連事業と緑地関連事業の二項目となること。

●保育関連事業が「わがまち特例」の対象となった背景は、待機児童問題が改善しない現状があり、保育環境の充実を図る必要性があることから、保育の受け皿整備をしやすくするために実施されるものであること。

●平成二十九年年度税制改革は、女性や若者の活躍を進めることにより「一億総活躍社会」を実現し、日本全体の成長力を底上げするため、個人所得課税改革として働き方を意識しないで済む仕組みを構築する観点から、配偶者控除、配偶者特別控除の見直しを行うとしていること。

④③ 平成二十九年年度飯能市一般会計補正予算(第二号)

●県補助金として、不妊検査費の助成金を一組当り二万円、五十組、不妊治療費の助成金は、

一組当り十万円、十組をそれぞれ見込んでおり、県のウェルカムベイビープロジェクトとして事業を進めているものであること。

厚生文教委員会

④③ 平成二十九年年度飯能市一般会計補正予算(第二号)

●不妊治療を受けたことによる効果は、全国的な統計では、一回の不妊治療による妊娠率は約四〇％で、飯能市においては、特定不妊治療費の助成を受けるために必要な書類で確認したところ、平成二十七年度は申請件数二十八組中十八組、二十八年度は二十九組中十六組の夫婦で妊娠に至ったという結果になっていること。

●従来は、県が実施している初回の特定不妊治療費に対する助成の三十万円と、飯能市が平成二十七年から実施している助成の十万円を合わせて四十万円だったが、妻の年齢が三十五歳未満で、初回の特定不妊治療の場合、さらに十万円上乗せ、合計で五十万円まで助成することとなること。

●小学校寄付金事業について、青梅信用金庫からの寄付を加治小学校の備品購入費とし、

学校が希望しているマリンバを購入するものであること。

④④ 平成二十九年年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

●拠出金負担については、加入者の数に応じて負担する加入者割から、報酬の額に応じて負担する全面総報酬割に変更になったことから、被用者保険の中でも報酬水準の高い健康保険組合は負担が大きくなったこと。

●運営事務について、広域化に伴い納付金を納めることになるが、今までの市の運営では医療費が急激に増えた場合、財源の確保が難しかった。広域化されることで医療費については、県から交付金が交付されることになるので、財政運営的には安定することが考えられること。

経済建設委員会

④② 飯能市都市公園条例の一部を改正する条例

●トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園内の新たな飲食のできる施設はファーストフード、カフェ的なものを考えている。運営については、公園の魅力アップに最大の効果が発揮できるように慎重に検討している段階であること。

●子ども劇場の運営について、イベントは平成二十八年年度年間四十五事業行っており、今後、指定管理者の導入も選択肢の一つと考えていること。

④⑤ 平成二十九年年度飯能市下水道特別会計補正予算(第一号)

●終末処理場施設整備事業の設計委託の耐震設計について、今回追加した塩素混和池の一部の耐震性が脆弱であると判明したため、処理機能の確保という観点で追加したものであること。

●測量・設計委託料、ストックマネジメント実施方針策定委託料等についての委託先の決定は、入札、または、施設を稼働させながら施工する高度な工事内容になる委託については、日本下水道事業団への委託も考えられること。

④⑥ 平成二十九年年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第一号)

●双柳岩沢線と川寺岩沢線は、笠縫地区において重要な路線であり、どちらの路線も補助金のメニューが違い、使い分けており、今回は双柳岩沢線に充てられるものではないこと。

平成29年5月臨時会 議決結果

■全会一致の議案

議案番号	議 案 名	議決結果
35	専決処分の承認を求めることについて(飯能市税条例等の一部を改正する条例)	承 認
36	専決処分の承認を求めることについて(飯能市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承 認
37	専決処分の承認を求めることについて(飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承 認
38	固定資産評価員の選任について(町田 守弘 氏)	同 意
39	監査委員の選任について(砂長 恒夫 氏)	同 意

平成29年6月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案

表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議 案 名	議 席 番 号 ・ 議 員 名																			議決結果
		1 新井 重治	2 坂井 悦子	3 関田 直子	4 大津 力	5 野口 和彦	6 内田 健次	7 平沼 弘	8 栗原 義幸	9 中元 太	10 松橋 律子	11 滝沢 修	12 山田 利子	13 新井 巧	14 金子 敏江	15 加藤由貴夫	16 砂長 恒夫	17 鳥居 誠明	18 加浦 弘貴	19 野田 直人	
請願2	個人の基本的人権の擁護を前提とした民主主義の原則および憲法が保障する言論の自由を守るため「テロ等準備罪法案(組織犯罪処罰法改正案)」に反対する意見書」を国へ提出を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	—	不採択

※野田直人議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案

議案番号	議 案 名	議決結果
40	飯能市税条例等の一部を改正する条例	原案可決
41	飯能市都市計画税条例の一部を改正する条例	原案可決
42	飯能市都市公園条例の一部を改正する条例	原案可決
43	平成29年度飯能市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
44	平成29年度飯能市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
45	平成29年度飯能市下水道特別会計補正予算(第1号)	原案可決
46	平成29年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第1号)	原案可決
47	市道路線の廃止について(大字大河原地内)	原案可決
48	市道路線の認定について(大字大河原地内)	原案可決
49	市道路線の認定について(大字青木地内)	原案可決
	議員派遣の件	派 遣
諮問1	人権擁護委員候補者の推薦について(嶋田 豊一 氏)	異議はない
50	公平委員会委員の選任について(川田 憲治 氏)	同 意
51	農業委員会委員の任命について(大久保 博司 氏)	同 意
52	農業委員会委員の任命について(関谷 英男 氏)	同 意
53	農業委員会委員の任命について(利根川 哲 氏)	同 意
54	農業委員会委員の任命について(中里 元 氏)	同 意
55	農業委員会委員の任命について(平井 純子 氏)	同 意
56	農業委員会委員の任命について(松本 健一 氏)	同 意
57	農業委員会委員の任命について(山下 敏郎 氏)	同 意
58	農業委員会委員の任命について(山下 富司 氏)	同 意
59	農業委員会委員の任命について(吉田 勝紀 氏)	同 意
60	農業委員会委員の任命について(綿貫 幸進 氏)	同 意
選挙6	埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙	選 挙

議員20年以上



加浦 弘貴議員

全国・埼玉県の各市議会議員の定期総会において、二十年以上市議会議員の職にある者として、加浦弘貴議員、松橋律子議員、新井巧議員、山田利子議員が表彰を受けました。
また、埼玉県市議会議長の定期総会において、三年以上正副議長の職にある者として砂長恒夫議員が、三年以上副議長の職にある者として松橋律子議員が表彰を受けました。

議員表彰



正副議長 3年以上



砂長 恒夫議員

議員20年以上



山田 利子議員

議員20年以上



新井 巧議員

議員20年以上
副議長 3年以上



松橋 律子議員

人事案件

固定資産評価員の選任について

固定資産評価員として、町田守弘氏（資産税課長）を選任することについて、全員同意しました。

監査委員の選任について

議員のうちから選任する監査委員として、市議会議員砂長恒夫氏を選任することについて、全員同意しました。



砂長 恒夫議員



嶋田 豊一氏

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員清水潤次氏が平成二十九年二月二十八日をもって委員を辞職したので、候補者として、新たに嶋田豊一氏を推薦することについて、全員異議はありませんでした。

公平委員会委員の選任について

公平委員会委員川田憲治氏が任期満了となるので、引き続き同氏を任命することについて、全員同意しました。



川田 憲治氏

農業委員会委員の任命について

農業委員会制度の改革に伴い、農業委員会委員に大久保博司氏、関谷英男氏、利根川哲氏、中里元氏、平井純子氏、松本健一氏、山下敏郎氏、山下富司氏、吉田勝紀氏、綿貫幸進氏を任命することについて、全員同意しました。



大久保博司氏



関谷 英男氏



利根川 哲氏



中里 元氏



平井 純子氏



松本 健一氏



山下 敏郎氏



山下 富司氏



吉田 勝紀氏



綿貫 幸進氏



市政に対する

一般質問

一般質問とは、議員がそれぞれの視点から市の行政全般について市長（執行部）に質問し、説明を求めるものです。

「市議会だより」には、質問者本人が執筆したものを、発言順に掲載しています。

今回は、15人が質問にたちました。

子育て支援の充実

問 大久保市長就任以来、子育て支援のサービスが充実している。その結果、飯能市の人口は転入超過の実績が出ており、選ばれるまちになってきた。特に、〇歳から四歳までと、三十歳から三十四歳までの子育て世代の年代が、最も多く増えている。さらに徹底した子育て世代を戦略的な位置付けで増やしていくべきと考える。極端に言えば、早朝深夜、休日に関わらず、二十四時間三百六十五日体制の保育サービスの実現を提案するが。

野口 和彦

答 少子高齢化、人口減少という課題を克服しなければならぬ。今まで実現してきた政策を継続させるとともに、待機児童ゼロはもちろんのこと、子育て世代に寄り添い、希望する全ての人が保育所を利用できる、飯能市民なら、いつでも、誰でも保育サービスを利用できるといふ、全国でも例のない思い切った政策を行っていく。

公有財産の利活用について 阿須山中の土地を自然公園以外の活用は

大津 力

問 阿須山中の土地を、民間活力、民間の斬新なアイデアなどを取り入れ、レクリエーション施設、木材等の森林資源の供給地、樹木葬などの自然霊園等の活用は考えられないか。

答 有財産の利活用方策については、公共施設等総合管理計画を踏まえつつも、地方創生の観点から、従来からの考えにとらわれず、その利活用方策について検討していくべきではないかという意見もある。阿須山中の土地の利活用方策については、自然公園としての利活用に限定することなく、地方創生の観点から、幅広く検討していく。

健康長寿社会の実現施策を 健康増進で予防に力 受動喫煙対策は

坂井 悦子

問 国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療は単独で賄えず繰入金に頼っている。支出抑制策は。

答 ジェネリック医薬品使用や保険事業を推進する。

問 全市民利用可能なジェネリック使用の意思表示紙片を広報はんのうに掲載しては。

答 周知方法の一つと考える。

問 保険事業は、民間では総予算の五%超に対し、市は二%少々健康増進事業を予算比二倍以上にすべきでは。

答 健康増進効果のある事業は予算化するなどしたい。

問 運動による健康回復は健康寿命の延長、医療費削減が期待できる。単発ではなく反復継続した運動習慣に絡めて取組むべきでは。

答 ウォーキングを健康の柱にイベントを実施している。

問 受動喫煙対策がないに等しく、非常に遅れているが。

答 関係課と連携して努める。

区画整理及び下水道の推進は 清川橋の架け替えは

新井 重治

問 岩沢の区画整理地内には狹隘道路が多く、緊急車両も入ってこれないなど、人命にも関わる状況である。幹線道路整備も重要だが、早急に狹隘道路の解消にも取り組むべきだが。

答 積極的に下水管を入れ、排水処理を推進するべきだが。

問 今後、緊急性・優先度・現場の状況などから判断し、対応してまいりたい。

答 現場の条件及び技術的に可能であれば、現存する道路にも積極的に下水管を入れるよう対応したい。

問 岩沢地区の下水幹線は進んできたように思うが、枝線管渠はまだ先が見えてこない状況である。今後は現存する道路にも

問 清川橋は地域の幹線道路であり、災害時の緊急輸送道路でもある。橋の現状から判断すると、架け替えるべきと思うが。

答 今年度実施予定の橋りょう調査の結果を受け、今後の対応について判断したい。

美杉台七丁目臨時家庭ごみ集積所に 商業施設誘致を

自治会防犯灯LED整備事業

加蒲 弘貴

問 美杉台六、七丁目、茜台は活発な住宅開発や企業誘致により人口が急増している。課題は商業施設の不足。将来の高齢社会を見据え商業施設の誘致を。今後の高度な政治判断に期待するが。

答 ご寄附の西武鉄道との協定もあり植栽し山林として管理する。

問 自治会負担の維持管理費が電気代の削減効果ですべて賄える。すでに平成二十四年九月議会一般質問で導入メリットを提案したが、この間、市の要請に基づき

答 多額の費用で自前によりすべてLED化した自治会において、電灯買取りの要望書が提出された。今後自治会総会で会長は詳細説明が求められてくる。自治会との信頼関係を損なわないためにも、市の要請に正直に応え努力した自治会に、特段のご配慮を願いたい。



LED防犯灯

市民要望

乳幼児健診時の保健センター駐車場について

関田 直子

問 大切な子育て支援の一つに二ヶ月児から月齢毎に毎月行われる乳幼児健診。その際に指定される駐車場は市役所の駐車場である。市内のお母様から二ヶ月時健診は八月の午後。とても暑い日に市役所線路側の駐車場から保健センターまでの道のりは生後二ヶ月の赤ちゃんには大変厳しい状況である」とのご意見。世界的な気候変動により日本の夏は酷暑、さらには大雨、大雪と気候から子供を守る時代。大

答 きな荷物を抱え兄弟をおんぶに抱っこにお母様にとっても優しい環境ではない。近くに広い駐車場完備の別施設、もしくは保健センター近くに駐車場を用意いただけないか。

問 来年度から、国保が都道府県化される。県のシミュレーションでは、飯能市の一人あたり国保税が三十七%増、十万元以上にも増額になる。県国保運営方針の策定に向けて、①国保は社会保障制度であり、国の責任で予算を確保すること。②保険料決定等の権限及び予算決定権は市町村にあることを明記する。③強制的な差し押さえや滞納処分を禁止することなどを求めている。厚労省は、「国保運営方

答 個人情報持ち出しによる流出、様々な人々が出入りする施設では感染の懸念、計器等の移動による破損等を危惧する観点から保健センター以外での実施は難しい。保健センターにより近い駐車場を鋭意検討する。

返済不要の給付型奨学金制度について 小中一貫教育とコミュニティスクール 導入について

栗原 義幸

問 国では来年度から給付型奨学金の制度が本格実施となる。飯能市でも制度実施を具体的に検討すべきと考えるが。

答 現在飯能市で実施する制度は無利子で返還でき、学生への負担は低いと考える。給付型については国の動向を注視する。

問 小中一貫教育について飯能市での取り組み状況を聞く。

答 中学校区ごとの小中共通の目標による教育推進。英語等の授業で中学教師による小学校で

の授業。行事の合同化や教職員

の合同研修会等を行っている。

問 コミュニティスクールへ学校運営協議会は、地域の力を学校教育の推進に反映させ地域連携強化や活性化も目指すもの。飯能市では小規模校を中心に小中一貫校も視野にコミュニティスクールと連動させた取組が有効と考える。飯能市の見解を聞く。

答 地域の課題でもあり、慎重な研究・検討を重ねて参りたい。



保健センター

国保が都道府県化されても 市独自に軽減を

新井 巧

問 来年度から、国保が都道府県化される。県のシミュレーションでは、飯能市の一人あたり国保税が三十七%増、十万元以上にも増額になる。県国保運営方針の策定に向けて、①国保は社会保障制度であり、国の責任で予算を確保すること。②保険料決定等の権限及び予算決定権は市町村にあることを明記する。③強制的な差し押さえや滞納処分を禁止することなどを求めている。厚労省は、「国保運営方

答 針はあくまで技術的助言であり、法的拘束力はない。保険料賦課の権限はこれまでと同様に市町村にある。一般会計からの法定外繰り入れは市町村の政策判断だと回答している。市独自に、①低所得者の窓口負担金の軽減・減免を入院だけでなく、外来も含めること。②子どもの均等割の廃止を求めるが。

答 今後県内統一基準の検討が進められることから、その動向を見ていきたい。

子育て世代の大きな願い 学校給食は無償化に

滝沢 修

問 度々、取上げている学校給食費無償化の質問だが、市民の皆さんからも多くの署名も寄せられた。県内でも既に十市町村で無償化や補助が行われているが改めて市の考えは。

答 公立小中学校の給食は、学校給食法により食料費は保護者負担の規定があり負担をお願いしている。

問 学校給食法第十一条の規定は、地方公共団体が給食費を支出してはならない事を定めたも

のではないとされている。坂戸市などの様に第三子以降は無料の制度としたらどの様になるか。

答 第三子以降を無料とする二千万円が必要となる。しかし、その考えはない。

要旨 本来、日本で学ぶ全ての子どもたちが安心して学校給食を食べる事ができるよう国の責任で学校給食費の無償化とすべきと考えている。しかし、その段階にはない、市の制度として導入するよう求める。

土曜日・日保育を山手保育所以外にも増やすこと

山田 利子

問 各保育所から山手保育所に集められての保育は、行政の都合と財政削減が目的であり、児童福祉法の観点から子どもの人権がないがしるにされていると考えるが。

答 保護者や子どもに安心して利用できるよう、不安がないよう配慮している。

問 一箇所のため、子どもや保護者のみならず、保育士も休みが取れないなど、労働条件の悪化につながっている。是非、早急に検討すべきではないか。

答 受け入れ枠が、やがてオーバーした時点では、別の保育所での実施が必要であると考えている。

問 児童扶養手当の支給は、年三回・ひとり親世帯の生活の安定、自立の促進、児童福祉の増進を図るための制度である。そのためには毎月支給をすべきでは。

答 国の「ひとり親家庭の利便性の向上及び家計の安全を図る観点から支給回数を含め所要の検討をすること」の付帯決議もあり、今後の国の動向を注視する。



市のプライマリーバランスは 地域包括ケアのボランティアについて 高齢者住宅について

松橋 律子

問 市は行革に努め、黒字化に努力をしてきた。しかし、平成三十二年を目途に財政健全化計画を見直す話が出てきたが、市の現状は。

答 市のプライマリーバランスは約十億円の赤字。要因はクリーンセンター（仮称）飯能大河原線の建設事業債、今年度の元利償還額が一般会計で二十三億七千万。市債総額約三百九億、企業会計と合わせると四百七十六億円。今後も耐震補強、防災・減災などの「公共施設整備費」の計画もある。

問 地域包括ケアシステムのボランティアは。

答 シルバー人材センターに市内全域を担ってもらい、各地域では地域福祉推進組織に協力要請していただけるように調整中。

問 地域でサービスを受ける為に個人の持ち家や高齢者の住まい整備が必要と考えるが。

答 重点施策事項にも「高齢者の居住安定に係る施策との連携があり、サービス付き住宅住み替えの場の充実が指摘されているところである。

財政問題について

市街地の再開発・無電柱化について 観光いちご農園について

鳥居 誠明

問 市債の借入額は毎年十五〜二十億円ずつ増え、本年度末の累計は四百七十六億円。今後の計画は。

答 公共施設等総合管理計画では今後毎年、二十七億円ずつ必要。

問 今後、精明東部に十八haで企業誘致を計画されているが、雇用は何人くらいを考えているのか。

答 人数は申し上げられないが、企業が本市に根付いてもらうことが重要と考える。

問 中心市街地を景観や防災面で再開発を進めるべきと考えるが。

答 住民、訪ねる人、双方の視点で将

来像を描き調査、検討する。

問 東銀座通り無電柱化の進捗は。

答 久下六道線と併せて検討する。

問 都市公園に時計の設置をする考えは。

答 利用状況を研究し、検討する。

問 メッツァと圏央道ICの間の観光いちご農園建設に援助をすべき。二次加工等で雇用確保もできるが。

答 農家の方主体で進めて欲しい。

問 〇歳児おむつ無償化事業で、育児サービスにも利用を可能にすべきでは。

答 市としては消耗品が対象だが県では準備をしている様である。

宮ノ瀬橋周辺工事状況 バス停新設・猿対策は 西川広域森林組合対策

内田 健次

問 宮ノ瀬橋の工事が中断されているが今後の予定は。

答 現況と設計に差があり、変更を含め秋以降に再開する方向であると県から伺っている。

問 土屋医院前信号周辺整備は。妻沢・倉掛側は概ね終了した。郵便局側の道幅と信号連動歩道整備を県との連携で進めていく。

問 買い物弱者対策でエコス前バス停設置を以前お願いしたが。

答 六月十六日から供用を開始した。

問 狭い橋を歩行者が歩く下赤エバス停を移動すべきだが。

答 関係者と協議を重ねてゆく。
問 猿を含めた鳥獣被害対策は。地域ぐるみの対策が最も重要。圃場環境を変化させる等さらに研究をする。
問 山林の不在地主放棄林対策は。森林環境税の議論と並行して、市町村主体の森林整備の導入を視野に入れて検討を進める。
問 森林組合改革の進捗状況は。市でも二名の派遣を含め、経営再建を目指す西川広域森林組合経営改善計画進捗管理委員会を設置し支援を続ける。

「就学援助」認定基準の拡大を 全市自治会防犯灯LED化事業と 既設自治会への対応

金子 敏江

問 現在、飯能市は、生活保護基準の二・三倍の家庭の子どもの学用品費、給食費等を公費負担する就学援助制度を実施しています。さらに基準を拡大して子育て世帯を応援してほしいが。

答 女性と子どもにやさしい市政に全力を挙げているところ。鋭意、検討していきたい。

問 飯能市が、自治会防犯灯の一括リース方式によるLED化促進事業に取り組もうとしていることに対して、市内自治会では負

担が軽減され朗報となつて受け止められています。しかし美杉台二丁目・五丁目自治会では、自前で平成二十八年度までに防犯灯のほとんどをLED化してきました。自治会が負担した総費用は、九百五十六万円にもなります。今後、全額公費負担で市内自治会のLED化が実施される中で、公平性の観点から、実費負担の解消を検討してほしいが。
答 来年度の予算編成にあたり最大限の努力をさせていただきます。

都市計画

問 まちづくりは市民参加協働の作業である。まちなかの歴史や景観を守ることは大切にしていかなければならない。市街化調整区域の丘陵ゾーン内の違反建築等を未然に防ぐ取り組みは。

答 職員によるパトロールの中で違反を発見した時は行為者を特定し、行為の中止を求めている。
問 具体的な指導は。

答 行為の中止、使用停止、許可の取得、建築物の除却など

加藤 由貴夫

状況に応じた是正を求めている。
問 行政庁として今後できることは。

答 罰則も含め、最も効果的な手段を選択していく。

問 まちなみの景観、里山の保全、安心と安全を確保することの観点からも、毅然とした対応を求めるが。

答 毅然とした対応、法令遵守に最も効果的と考えられる手段を選択し、実施していく。



宮ノ瀬橋

市民から市議会へ提出

請願

○の中の数字は請願番号

②個人の基本的人権の擁護を前提とした民主主義の原則および憲法が保障する言論の自由を守るため『テロ等準備罪法案（組織犯罪処罰法改正案）に反対する意見書』を国へ提出を求める請願

不採択（多数）

提出者

長谷川 順子
外五百十六名

◆飯能市の先進事例を視察に来られました◆

平成29年度 市町村議会行政視察受入一覧
平成29年4月1日～7月3日

月 日	市町村議会名	人数	視察内容
4月12日(水)	福井県坂井市議会 会派「志政会」「公明党」	10	・子どもインフルエンザ予防接種費用無償化事業
5月22日(月)	東京都羽村市議会 会派「新政会」	1	・新しいまちづくり計画による基盤整備事業 ・土地区画整理事業とそれ以外の手法を併用した計画
5月24日(水)	埼玉県久喜市議会 建設上下水道常任委員会	8	・飯能住まい制度について（現地調査あり）
7月 3日(月)	岐阜県海津市議会 総務産業建設委員会	7	・タブレット端末を導入した議会運営

陳情

○の中の数字は陳情番号

②「地球と人間を守るる社会体制創り」の為の地球社会建設決議陳情書

提出者

荒木 實

市議会案内板

HANNO



エコツアー(麦刈りと小麦から作る天然酵母パン)

審議の日程

5月臨時会

- 17日 開会、議長・副議長選挙、常任委員・議会運営委員選任、埼玉県都市競艇組合議会議員選挙、広域飯能斎場組合議会議員選挙、埼玉西部消防組合議会議員選挙
市長提出議案の上程・提案理由説明・質疑・討論・採決
市長提出その他議案の上程・提案理由説明・採決

6月定例会

- 9日 開会、市長提出議案の上程・提案理由説明
14日 議案質疑、議案及び請願の委員会付託
15日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
19日 一般質問
20日 一般質問
21日 一般質問
23日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決
埼玉県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙
閉会

議会日誌

4月

- 5日 飯能市議会広報委員会
17日 埼玉県都市財政研究会定期総会
19日 埼玉県市議会議長会定期総会
25日 関東市議会議長会定期総会
28日 政務活動費審査会

5月

- 8日 新議員研修会
9日 新議員研修会
10日 全員協議会
17日 第2回臨時会
19日 埼玉県市議会議長会第二区議長会定期総会
23日 代表者会議
24日 全国市議会議長会定期総会
26日 広域飯能斎場組合議会臨時会
30日 全員協議会、代表者会議

6月

- 2日 埼玉西部消防組合議会臨時会
6日 議会運営委員会
9日 第3回定例会(6月23日まで)
飯能市議会広報委員会
14日 飯能市議会広報委員会

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>

◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検索

クリック

☆テレビ放映しています

飯能市議会では、飯能日高テレビの番組で一般質問の様子を録画放映しています。

議会を傍聴しませんか

6月定例会では延べ164名の方が傍聴されました。

次回の9月定例会は

9月1日開会予定です。

会期日程等は8月29日頃内定します。

* 編集を終えて *

4月の市議会議員選挙は、50%を僅かに上回る投票率でした。今、市議会を理解していただこうと各地で取組が進められ、政治への関心を高める努力をしています。

改選後、臨時議会を経て6月の定例議会となりました。市政に対する一般質問には、質問が行えるすべての議員15名(議長・副議長・議会運営委員長・監査委員以外)が登壇し様々な角度からの質問が行われました。議会だよりに掲載される一般質問は、ほんの一部しか紹介をすることができませんが、どの様にしたら市民の皆さんに議会が伝わるのか、広報委員会もメンバーが新しくなりました。より読みやすい議会だよりを目指して取組を進めていきます。

(滝沢)



広報委員 (◎委員長 ○副委員長)

◎滝沢 修 ○坂井 悦子 新井 重治
関田 直子 平沼 弘 松橋 律子

戸田競艇場開催日

8/5~8/8、9/9~9/12、9/28~10/1

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています)

市議会だより

9月定例会

- 平成29年度一般会計補正予算案を可決
- 平成28年度一般会計及び特別会計の決算を認定

目次

議案の審議	②
委員会の審査	③
平成28年度決算の概要及び審査	④・⑤
議決結果・人事案件	⑥
市政に対する一般質問	⑦～⑨
陳情・意見書・決議・ 視察受け入れ状況・ 委員会調査報告	⑩・⑪
市議会案内板	⑫



議案の審議

■一般会計補正予算など30件を議決

9月定例会は、9月1日から9月26日までの26日間開かれ、市長提出議案14件、決算認定案件12件、議員提出議案3件、その他1件について審議を行い、議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

市長提出議案

⑥平成二十九年年度飯能市一般会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ四千四百五十万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ三百二十八億四千五百七十五万円とするもの。

主な追加の内容(万円未満切り捨て)

歳入	
繰入金	△7億6,300万円
繰越金	6億6,715万円
諸収入	1億4,056万円
市債	△8,521万円
歳出	
住民基本台帳管理事業	2,200万円
宮沢ため池管理事業	1,386万円
林業振興事務費	237万円
土地区画整理特別会計繰出金	△840万円
消防施設整備基金積立金	208万円
小学校就学援助事業	214万円

問 宮沢ため池ハザードマップの負担内容は。

答 施設所有者である本市が行うのが一般的であるが、被害が発生した場合の影響などを考慮し、県・本市・日高市と協議し、事業費の県補助金を除いた残りを折半で日高市が負担するということと協議が整った。

⑥飯能市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第九条第二項の規定に基づき、個人番号を利用することができる事務の範囲を変更するもの。

問 条例改正するメリットは。

答 情報連携により所得などの個人情報等を他の行政機関からオンラインで照会できるので、国民の利便性の向上、公正な給付と負担の確保、行政運営の効率化が図られるとされている。

問 情報漏えいに対する市のセキュリティ対策は。

答 本市は近隣に比べてもセキュリティ対策は一段上を行っており、庁内で万全を期していく。

⑥飯能市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

別表第二に新たに林政アドバイザーの報酬を加えるもの。

問 林政アドバイザー制度の市の考え方は。

答 平成二十九年七月時点で導入しようとしている自治

体は県内では本市のみである。専門的かつ高度な知見、技術を発揮して、本市の森林管理ビジョンへの指導、助言や奥地の人工林の広葉樹林化を進める適切な指導、助言、市有林の経営、森林整備の基盤づくりや体制整備、西川広域森林組合を初めとする林業関係者への指導、助言を考えている。

⑥飯能市景観条例

市民生活の向上及び地域社会の健全な発展に寄与することを目的として、良好な景観の形成に関する基本的な事項等を定めるもの。

問 景観条例を制定する経緯は。

答 第五次飯能市総合振興計画において、将来都市像を「水と緑の交流拠点 森林文化都市はんのう」としており、その実現には自然環境及び都市環境の調和や魅力的な景観の創造、維持を目指した取り組みが大変重要となる。県と協議を進めて、本市の特色に合わせた景観のルールと仕組みを整え、自然豊かな魅力ある景観の形成と景観資源の維持保全に積極的に取り組むために制定しようとするもの。

⑥飯能市都市公園条例の一部を改正する条例

都市公園法第五条第一項の許可を受けた者の納付すべき使用料に関し、阿須運動公園売店に係る使用料を廃止し、及びトーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園飲食店に係る使用料を定めるもの。

問 トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園の飲食店の考えは。

答 公園自体がフィンランド、北欧の雰囲気が出るようなものを運営できるようにお願いしたい。

問 トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園の運営は。

答 指定管理者制度など、民間のノウハウを活用していくことということで考えており、検討が続いている最中である。

⑥平成二十九年年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算(第二号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ二千三百六十八万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ三億八千二百二十八万円とするもの。

問 双柳南部の事業の見直しについて。

答 事業が長期化し、見直しを考えており、新たなまちづくりは、意見を踏まえながら、事業計画プランを作成していきたい。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的により詳しく審査するため、総務、厚生文教、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。
9月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務委員会

●**⑥1 飯能市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例**

●情報連携することによりオンラインでの照会が可能となり、書類提出が必要なくなり、さらに、特定個人情報照会の照会がすぐにオンラインで可能となるため、行政の効率化につながる。

●個人情報については全て本人同意を得た上で利用をしており、条例改正後も地方税関係情報の照会時には、引き続き本人同意が必要となるが、その他の特定個人情報照会の際には本人同意の必要がなくなる。

(反対討論あり)

●**⑥2 飯能市非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例**

●林政アドバイザーは、森林・林業に関する豊富な知識や経験を持つ方で、実際の仕事も森林・林業施策の企画・立案や森林所有者等への指導・助言といった政策に関わる事務を担っていた。だく考であること。

●**⑥6 平成二十九年飯能市一般会計補正予算(第三号)**

●社会保障・税番号制度システ

ム整備費補助金は、マイナンバーカードや住民票等に旧姓を記載するシステム改修であること。

厚生文教委員会

●**⑥3 飯能市地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の一部を改正する条例**

●五年ごとの更新研修は八日間となっているが、多忙な業務体制での研修については、各地域包括支援センター内において、他の専門職で協力し合いながら支障なく業務を遂行できると考えている。

●本市では、担当地域を持たない基幹型地域包括支援センターを配置しており、各地域包括支援センターの困難ケースや処理に時間を要するケースにおいて後方支援を行っている。

●**⑥6 平成二十九年飯能市一般会計補正予算(第三号)**

●就学援助費のうち、小・中学校に入学する準要保護世帯に支給する新入学児童生徒学用品費の支給時期について検討した結果、入学前に要する経費に対して援助をする趣旨であることから、支給時期を現行の入学年度の八月から、入学前の三月に前倒しすること。

●新入学学用品費が必要な時期が三月であり、その時期に支払うために、平成三十年三月に支給する場合、平成二十八年分の所得の課税で判定する形になること。

●**⑥9 平成二十九年飯能市介護保険特別会計補正予算(第一号)**

●介護保険給付費支払金は、平成二十八年度末の金額が二億五千六百万円となっており、今年度中に一億四千四百万円を積み立てる予定で年度末には約四億円となる。

●現在、介護給付の適正化を進めており、ケアプランを見直すことで、本人の能力を生かした形でサービスが適正に提供されているか点検した上で、本人に一番合ったものを提供することを進めている。給付の抑制ではなく、適正な給付を推進していく中で、給付費が本来のものに見直されてきたということで結果的に給付の伸びがなだらかになってきたと考えている。

経済建設委員会

●**⑥4 飯能市景観条例**

●市民生活の向上及び地域社会の健全な発展に寄与することを目的として、良好な景観の形成

に関する基本的な事項等を定めるものであること。

●宮沢湖周辺地区を重点地区として指定し、メッツアのオーブンに伴って、県道飯能寄居線沿いに景観上支障となる建築物等ができるのを防ぎたいという趣旨である。日高市との連携については、景観というのは、広域的に考えなければならぬものなので、調整を取りながら進めていきたいと考えている。

●**⑥5 飯能市都市公園条例の一部を改正する条例**

●県内他市の使用料を参考とし、本市の考えと調整すること。トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園の魅力アップに貢献していただける事業者選定を行うことが最大の目的であること、使用料金が公募の妨げとならない額であること、の三点を整理した結果、一ヶ月あたり二万五千円と決定したものである。

●**⑦2 平成二十八年飯能市水道事業未処分利益剰余金の処分について**

●未処分利益剰余金とは、まだ使い道を決めていない状態である利益剰余金である。

●企業債について、平成二十八年度末の未償還残高は、三十四億六千七百六十二万円である。

決算の 概要・ 審査

平成28年度各会計(一般・特別・企業)決算を 認定いたしました

今定例会に市長から提出された平成28年度一般会計及び特別会計の決算(認定第1号～認定第12号)については、総務・厚生文教・経済建設委員会に付託され、会期中に3日間慎重な審査を行い、委員会、本会議でいずれも認定いたしました。
主な内容は次のとおりです。

特別会計歳入歳出決算額

歳入	231億4,864万4,542円
歳出	222億7,293万1,567円
実質収支※1	8億4,111万7,975円
単年度収支※2	△2億6,001万9,532円

※1…翌年度に繰り越すべき財源を差し引いたもの
※2…前年度の実質収支を差し引いたもの

一般会計歳入歳出決算額

歳入	313億9,841万6,590円
歳出	299億2,281万3,990円
実質収支※1	12億6,765万4,100円
単年度収支※2	△1億3,831万9,638円

※1…翌年度に繰り越すべき財源を差し引いたもの
※2…前年度の実質収支を差し引いたもの

一般会計・特別会計決算 の概要 (監査委員の決算審査意見書から抜粋)

各会計の決算書とその附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その内容、数値は関係諸帳簿及び証書類と符合し、適正なものと認められ

た。

今後とも市税収入の大きな伸びは期待できず、依然として厳しい財政状況が続くものと推測される。こうした中で、地方創生に対する交付金をはじめ、国庫支出金などを積極的に要望していることや、自主財源の確保として、ふるさと納税の推進なども積極的に進めている努力は評価できる。

「小さな発見に満ちた北欧時間の流れる森と湖 メッソ」の開設時期が発表され、飯能市地域創生プログラム(まち・ひと・しごと創生総合戦略)に基づく事業に取り組むことで、本市への入込観光客数の増加のほか、市内への経済波及効果が大きいに期待される。

これからも、発展都市を目指した積極的な事業展開により、賑わいと活力のある飯能市の創造に努められることを切望して意見とする。

決算審査

一般会計

●普通交付税の減額は、現在、市町村合併による合併算定替の措置がされているが、合併から十年が経過し、効果額が段階的に縮減され、合併効果額が下がってきていることが要因となっていること。

●マイナンバーが記載された通知カード再交付手数料は一件あたり五百円で実績は三百九十三件、個人番号カード再交付手数料は一件あたり八百円で八件となっていること。

●(仮称)飯能大河原線整備事業には、特定財源である国庫補助金と起債が充当されており、このように特定財源が充当されている事業についてはそちらを優先し、単独で行う事業は、基金から繰入れをしている状況であること。

●防災行政無線のデジタル化は、現在の電波法では平成三十四年度にはシステムが使用できなくなることから、国や県、近隣市の整備状況等の情報を収集し、財政負担の面からも最良の方法を検討していること。

●ふくしの森プラン推進事業の各地区の地域福祉推進組織は、市内に六ヶ所立ち上がっており、美杉台地区は、設置に向けて会議を設けていること、旧飯能、精明地区については、これから準備をするといった状況であること。

●在宅介護リフレッシュ事業は、障害のある方を介護されている方の心身のリフレッシュを目的に実施し、一回目が十五人、二回目が十七人であったこと。

●平成二十八年度のインフルエ

ンザによる近隣市との学級閉鎖の割合を比較すると、本市が約一五・二%、近隣四市の平均が二五・六%となっており、本市のインフルエンザによる学級閉鎖数は非常に低い割合となっていること。

●就学援助の内容は、学用品等で学校の学習に必要な学用品などの購入費、校外活動の費用、修学旅行費、医療費、学校給食費などであること。

●花粉の発生を抑制する苗木が販売されており、本市でも改良された苗木を活用するようにしている。花粉対策にも配慮して、再造林を進めていきたいと考えていること。

●勤労青少年ホームは、平成二十六年度から特別利用団体による暫定利用が続いており、公共施設等総合管理計画に基づき検討していくこと。

●ムーミン基金の内訳は、法人十件、千四百三十五万五千五百六十七円で、それ以外はふるさと納税で、個人六千五百八十一件、一億四千六百四十八万八千六百六十九円であり、使途については、条例に則り、「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設と連携した観光施策の推進に對して処分できること。

▼討論▲

反対の立場

国の税制による企業減税の影響で市民生活が厳しい中、企業だけが優遇されている、軽自動車、重課税、都市計画税は引き下げの検討すべき、学校給食の民間委託は現状で無理がある制度、マイナンバー制度は十二桁の番号が国民につけられ、状況を国が一括管理していること、(仮称)飯能大河原線の整備は必要な段階を踏んでの事業ではなかったことなど、反対する。

賛成の立場

所管ごとに様々な事業を展開しており、市税の徴収は高い実績を残し、また、インターネットを利用した新たな徴収の取り組み、市民生活において、福祉や利便性の向上もあり正しく事業展開、運営されていると判断できること、マイナンバー制度は一自治体で討論するものではないこと、(仮称)飯能大河原線は、美杉台の住宅街を抜けずに大型車両が通れるという点で、環境に寄与するなど、賛成する。

国民健康保険特別会計

●国民健康保険税の軽減は、平成二十八年度は六千三百八十一世帯、一万三百九十六人となり平成二十七年と比較すると世帯数では百五十世帯、人数では七十六人が増えていること。

●滞納世帯は、平成二十八年度千五百三十三世帯、平成二十七年千四百六十一世帯、滞納額は、平成二十八年度一億千四百万円、平成二十七年一億四千万円となっており、滞納世帯数、滞納額ともに減少している状況であること。

▼討論▲

反対の立場

低所得者の方達が生活が厳しく、納めきれないという実態もあると考え、市民の命と健康を守るということでは、国からの保険者支援金分を活かして、市民の負担にならないような形で対応すべきということから、反対する。

下水道特別会計

●包括的民間委託の導入、また、自主財源確保ということ、太陽光発電の売電にも取り組んでおり、無駄を省いて進めていくことが大前提であり、住民負担の軽減に努めていきたいと考えていること。

▼討論▲

反対の立場

地方公営企業法は公共の福祉の増進を図っていくことを本来の目的としているが、企業としての経済性を発揮することが求められる。今の会計を維持すること、地方公営企業法の全部適用について再検討してもらいた

いため、反対する。

賛成の立場

国の方針により平成三十二年四月までに企業会計に移行するとして、県内の対象となるすべての団体が取り組んでおり、区画整理地内等において下水道整備は市民要望も高いところであることから、しっかりと取り組んでもらいたいため、賛成する。

特定環境保全公共下水道特別会計

●包括的民間委託は平成二十一年から導入しており、三年間の長期継続契約による業務委託で、導入前と比較すると、二百件以上の伝票の削減、契約事務の削減となり委託業者も三年間維持管理ということ、ある程度自由な発想、創意工夫をして取り組んでおり、良好な水質を保っていること。

(反対・賛成討論あり)

介護保険特別会計

●介護ロボットを、太行路に二つ導入し、少ない筋力で介護従事者の負担の軽減に効果があり、より性能の良い安価なものが開発されると考えていること。

後期高齢者医療特別会計

●本市の被保険者数は前年度より四百八十八人増えている。埼玉県は比較的若い県ではあるが、高齢化が急速にすすんでおり、本市では一万四千三十一人の加入者となっていること。

水道事業会計決算の概要

(監査委員の決算審査意見書から抜粋)

当年度は水道利用加入件数の増加に伴う基本料金の増加等により事業収入は黒字となったが、大規模住宅開発などによる給水人口の大幅な増加は見込めず、一方で老朽施設の更新や機能の向上、施設の耐震化などに多額の資金を要することなどを考え合わせると、水道事業経営は非常に厳しい状況になっている。

これからの事業経営に当たっては、引き続き「飯能市水道ビジョン(経営戦略プラン)」の投資・財政計画に基づき、今後も経費削減と財源の確保によって事業経営の安定化を図り、市民生活に欠くことのできない水道水の安定的な供給に努められるとともに、施設、設備の適正な維持管理を実施し、水道水の安全を確保されることを希望して意見とする。

水道事業会計

●配水及び給水費の委託料が増えた原因の一つとして、有収水量が減少していることから漏水調査委託料を増加したこと及び管網解析システム構築業務委託料を新たに委託したこと。

●平成二十七年から三年間で

市内全域を漏水調査する予定で、漏水の主な原因は、水道管の老朽化によるもので、発見した場合は、直ちに修繕していること。

●管網解析システムは、布設してある配水管にどの位の水圧がかかり、どのような水の流れとなっているのかを解析するシステムで、使用水量の減少が予想される現状において、老朽管の布設替時に、システムで計算した必要水量に応じて口径を小さくすることで費用等を抑えられること。

▼討論▲

反対の立場

県下で三番目に開始された本市の水道は、良質な水源により、市民がその水を飲んで享受することをこれからも継続し続ける必要がある。県水の受水量の縮小と本郷浄水場の建て替え、本市のいい水を守るべきだと主張し、計画の見直しを求めて、反対する。

賛成の立場

二つの供給水系を持つことは、渇水や様々な不測の事態に備えて危機管理の面から大変重要なことであり、老朽管の布設替えや耐震化等の計画で多額の費用がかかることから、建て替えではなく県水が続ける必要がある。今後、高度浄水処理等の技術の導入で、よりおいしい水を提供できることが期待でき、賛成する。

平成29年9月定例会 議決結果

賛否が分かれた議案・認定等

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略、○は賛成の議員、×は反対の議員、除は除斥(※1)の議員

議案番号	議席番号・議員名 議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	議決結果
		新井重治	坂井悦子	関田直子	大津力	野口和彦	内田健次	平沼弘	栗原義幸	中元太	松橋律子	滝沢修	山田利子	新井巧	金子敏江	加藤由貴夫	砂長恒夫	鳥居誠明	加浦弘貴	野田直人	
61	飯能市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	—	原案可決
65	飯能市都市公園条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
認定1	平成28年度飯能市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	—	認定
認定2	平成28年度飯能市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	—	認定
認定3	平成28年度飯能市下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	—	認定
認定8	平成28年度飯能市特定環境保全公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	—	認定
認定9	平成28年度飯能市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
認定10	平成28年度飯能市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
認定12	平成28年度飯能市水道事業決算の認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	—	認定
議提3	坂井悦子議員に対する議員辞職勧告決議	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	—	原案可決

※1 除斥：議会における審議の公正を期するために、審議事件と一定の利害関係を有する議員は、当該事件の審議に参加することができない制度のこと。

※野田直人議員は議長のため、採決には加わっていません。

全会一致の議案・認定等

議案番号	議案名	議決結果
議提1	坂井悦子議員に対する問責決議	原案可決
62	飯能市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
63	飯能市地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
64	飯能市景観条例	原案可決
66	平成29年度飯能市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
67	平成29年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計補正予算(第2号)	原案可決
68	平成29年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計補正予算(第1号)	原案可決
69	平成29年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
70	市道路線の廃止について(永田台二丁目・永田台三丁目地内)	原案可決
71	市道路線の認定について(永田台二丁目・永田台三丁目地内)	原案可決
72	平成28年度飯能市水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決
認定4	平成28年度飯能市笠縫土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定5	平成28年度飯能市双柳南部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定6	平成28年度飯能市岩沢北部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定7	平成28年度飯能市岩沢南部土地区画整理特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
認定11	平成28年度飯能市訪問看護ステーション特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	議員派遣の件	派遣
73	教育委員会委員の任命について(横手 伸行 氏)	同意
74	固定資産評価審査委員会委員の選任について(古玉 由香子 氏)	同意
議提2	「全国森林環境税」の創設に関する意見書	原案可決



古玉 由香子氏

固定資産評価審査委員会委員
石井香織氏が任期満了となるので、新たに古玉由香子氏を選任することについて、全員同意しました。

⑦④ 固定資産評価審査委員会委員の選任について



横手 伸行氏

教育委員会委員大野文敬氏が任期満了となるので、新たに横手伸行氏を任命することについて、全員同意しました。

⑦③ 教育委員会委員の任命について

人事案件

市政に対する

一般質問

一般質問とは、議員がそれぞれの視点から市の行政全般について市長(執行部)に質問し、説明を求めるものです。

「市議会だより」には、質問者本人が執筆したものを、発言順に掲載しています。

今回は、12人が質問にたちました。

大久保市政二期目の市政運営について

大津 力

問 二期目の市政運営についてその考え、決意、重点政策などについてお尋ねする。

答 「政めの市政」を崩さず積極果敢に取り組むとともに、しっかりと地に足をつけた取り組みを着実に進め、市民の皆様が豊かさを実感できるよう、そして、本市が「人口増加」、「発展都市」へと向かうよう、誠心誠意、全身全霊で市政運営に取り組んで参る所存。

重点政策は、「子育て支援の充

実」、「魅了する観光の創出、賑わいづくり」、「林業・木材業の再生」、「森林を新たなフィールドに」、「質の高い学校教育・グローバル教育の推進」、「若者・女性の未来を応援」、「未来に向けた支え合いの地域社会づくり」、「区画整理事業・下水道事業の推進」、「安心・充実のインフラ整備」、「都市間交流の新たな展開」の十点。

産業の振興と活性化について 林業と農業の振興を地域創生の柱とすべき

栗原 義幸

問 本市にとって生業・産業としての林業の振興こそ喫緊の課題。仕事、人材、雇用の創出こそ山間地域創生の柱とすべき。市長の見解を聞く。

答 市としても、西川広域森林組合、西川地区木材業組合とともに、中心的な役割を果たし、林業を地域全体の発展の原動力にするため、全力で取り組む。

問 本市全体の発展に向けては精明地区、なかでも農業振興地域における農業振興が不可欠。

産業としての地域雇用・人材の創出こそ人口減少の明確な対策とすべき。市長の見解を聞く。

答 精明地域産の果樹等はふるさと納税の返礼品として大変好評である。こうした地域資源を生かしながら後継者不足、農地の遊休化対策として農業への企業参入なども積極的に推進する必要があると考える。農業を守るという消極的なものでなく、農業が飯能市を元気にするといった農業の振興を推進していく。

男女共同参画プラン関連について

野口 和彦

問 飯能市の女性の就労者については、三十代の女性では平成十二年には約五十五%だったものが七十%を超え、増加している現状がある。それに伴い、放課後児童クラブの利用数も増えているようだが、増加傾向のある学校区はどこか。

答 平成二十七年度から平成二十九年度までの間に増加傾向にある学校区は、双柳小学校三十名、飯能第一小学校三十名、加治小学校二十五名、富士見小

学校十六名、加治東小学校十五名、美杉台小学校十三名と、いずれも増加傾向にあり、支援の単位を分けるなど、適正規模となるように分割を行う必要があると考えており、様々な方法を検討している。

要望 子どもを預ける、送迎するというサービスのニーズは、特に市街地ではこれからも増えていくことが予想されるので、放課後児童クラブの適正規模の対応を速やかに行うよう要望する。

岩沢の区画整理と 阿須小久保線立体交差について

新井 重治

問 岩沢地区の区画整理は平成二十一年の見直しから既に八年が経過した。事業計画期間を二十年と定めこれまで事業の推進を図ってきたが、現状からみて平成四十年の完成の見通しは。

答 現在、阿須小久保線をはじめ地区内の幹線道路の整備を中心に取り組んでいる。その他の道路についても下水道計画等と調整を図り、取り組んでいるところ。今後関係機関と協議の上計画通り平成四十年の事業完成

に向け取り組んで行く。

問 阿須小久保線の立体交差に伴う地域分断は避けるべき。東西の行き来の確保及び岩沢白髪神社前の踏切は歩行者だけでも通行可能となるよう鉄道事業者に申し入れ、残して頂きたいが。

答 立体交差に伴い、南側の東西の行き来は、一路線通行出来なくなるが、鉄道沿いに新たに東西の道路を設ける。岩沢白髪神社前の踏切は、地元の意向を鉄道事業者に再度申し入れる。

国保税がこれ以上の値上げにならない手立てを

山田 利子

問 二〇一八年四月から、国民健康保険の運営責任は県となる。市は県が示す納付金額を国保税として加入者から徴収することになるが、県の試算では四割上がる計算。夫婦と子ども二人の四人家族で、総所得二百万円の世帯では、三十九万四千三百八十円で、所得の十九五%を占めることになる。今でも大変なのに、負担能力をはるかに超える国保税を押し付けられたら払えない。滞納世帯はますます増える一方だ。中には、国保

答 税を払った生活保護世帯以下の生活になる実態もあり、これ以上の値上げにならないよう、一般会計からの繰り入れを継続・増額すること。収入のない十八歳未満の子どもの均等割りもなくすなど、負担軽減の手立てを尽くすべきではないか。

答 来年度からの税率改正については、現行の税との差異、加入者の負担、市の財政等、総合的に考え適切に対応したい。子育て世帯の軽減は引き続き国に要望する。

地域交通問題について 地域包括ケアシステムについて

松橋 律子

問 国際興業バス彩京のびのびバスは、多くの高齢者が利用しているが、購入時の二万円はとて

答 国保税がこれ以上の値上げにならない手立てを

問 少額設定のバス発行は、国際興業に伝える。利用者増に繋がるバス購入費の一部補助については、路線バスの有無に係らず、高齢者の移動手段の確保も視野に入れ、検討を進めていく。

答 歩いて通える範囲に地域の集いの場を充実させていく。これまでに立ち上がった集いの場は既に二十八カ所となり、地域の高齢者サークルや高齢者サロンなど、これまでの活動を発展させて、高齢者の役割づくりを創出し、外出機会や運動機能の向上などが期待できる。



阿須運動公園ホッケー場



保健センター

平成二十九年六月定例会質問後の現状 「DMO創設」と「保健センター駐車場」

関田 直子

問 観光DMO創設の現状は。

答 六月定例会終了後、観光協会と情報共有等を行い、九月から協会役員が中心となり検討会を立ち上げ、さらに飯能観光の状況を知る大手旅行代理店と契約、観光協会が中心となった観光DMOの創設に向けスタートを切る。

問 観光DMO財政的支援は。

答 事業運営に対する支援策について協会と連絡を密にし、国等の補助金獲得も視野に入れ研究する。

問 乳幼児健診時、保健センター

問 近隣駐車場対策の現状は。

答 市長の指示を受け行政機関、民間駐車場の検討を行った。結果、保健センターの東側の株西武力ス様と「土地一時使用賃借覚書」（健診実施日に駐車場十台分借用を七月二十五日に締結した。対象者への周知は健診案内通知に駐車場の利用案内を同封している。当口は、健康づくり支援課職員が駐車場入口にて対応する。満車時は市役所駐車場へ誘導案内する。

双柳南部土地画整理事業の見直しについて 都市回廊空間を構成するための駐車場について 体育施設管理について

加藤 由貴夫

問 双柳南部の事業見直しの概要は。

答 長期化の解消、生活環境の改善、権利者負担の軽減を図るため施行区域を縮小し、継続区域と除外区域を設け事業期間の短縮、事業費の縮減が期待できる。

問 整備較差の担保は。

答 両区域が一つのまちづくりエリアとして整備水準を確保していく。

問 阿須小久保線の進め方は。

答 阿須小久保線など都市計画道路等の一部については、用地買

問 レンタサイクルや巡回バスの運行で都市回廊空間構築は。

答 駐車場不足を改善する方法として非常に有効な提案と考える。

問 老朽化しているホッケー場、多目的グラウンドの整備は。

答 計画的に進めて参りたい。

問 トーベ・ヤンソンあけぼの子どもの森公園駐車場は駐車料金を徴収し、整備するのはどうか。

答 有効な方法。状況をみて検討したい。

豪雨災害について

空き家の活用について 飯能中央公民館建設について

新井 巧

問 豪雨時には、「防災無線は役に立たない」という声が多い。全国では、防災ラジオの検討がされている。新しい情報提供手段として、検討できないか。

答 市民の声を踏まえて、研究しているところである。

問 空き家活用は、DIY方式に活路があると思う。優良な西川材もあるし、建設職人も多い。行政としてネットワーク化、空き家再生システムが必要では。

答 ご自身でリフォームしたいという方も多い。西川材振興の立場からも検討してみたい。

問 飯能中央公民館は、耐震化未実施で、非常に老朽化している。高齢者や障害者への配慮はないに等しい。複合施設として山手町用地に建て替える検討は。

答 市民ニーズや文教ゾーンとしての整合性などを踏まえた議論とともに、本市の将来に向けて最適な活用方針を検討していきたい。

森林林業政策について 新焼却施設について

内田 健次

問 林業再生の仕組みづくりは。

答 山や木の良さは知っている。山の荒廃は、災害、鳥獣被害、花粉等の悪影響がある。林業をしっかりと再生するという思いで、二期目における挑戦をさせていたきたい。

問 林政アドバイザー制度・庁内スペシャリティ職員の配置は。

答 オール飯能市役所体制で横断的組織として検討を重ねている。

問 西川広域森林組合経営改善の進捗管理は。

答 組合経営が着実に改善されるよう西川広域森林組合経営改善計画進捗管理委員会が設置されている。職員を二名削減し、四名とした。県の関係機関と連携しながら、組合の経営改革の支援を全力で行う。

問 新焼却施設工事の進捗状況は。

答 平成二十九年十二月二十日オープン予定。余熱発電及び太陽光発電で場内消費電力を抑制する。消費電力の半分を賄いたい。発電効率アップには生ごみの水分減をお願いしたい。



建設中のクリーンセンター施設



飯能中央公民館

ムーミンバレーパーク 地域SPCなどの様になるのか

滝沢 修

問 宮沢湖のテーマパーク、メッツァに建設する二つの施設のうちムーミンバレーパークは、特別目的会社（SPC）を創設して事業を進めるとしている。どのような手法で進めるのか。

答 SPCがムーミンバレーパークの土地・建物を保有し、開発資金調達のため設立されたもので、株式会社ムーミン物語のほか、市内三社の企業が出資し金融機関の融資を受けて事業を進めるものである。

問 市がメッツァへ財政負担を負うとの事だがどうなのか。

答 ムーミンバレーパークは地域の資金で開発され、地域の宝となる。ムーミン基金を財源として考えている。

問 基金を私募の証券で運用、投資する事になる。リスクもあり、投資が元本割れ、棄損する可能性もあり、地方自治法施行令等に抵触しないか。

答 法律上の禁止規定はなく、公益性の判断のもとに行う。

旧クリーンセンター解体工事にあたって アスベスト飛散防止対策の徹底など求める

金子 敏江

問 アスベストは、国が大手六社を保護し続けてきたために二〇〇四年まで使われていた。日本独特の下請け重層構造の中で労働者への被害が今でも続いている。平成二十九年十二月に新施設が稼働することにおける旧施設の解体工事のスケジュールとアスベスト飛散防止対策の徹底、労働者の健康管理、地域住民への説明会の開催などを求めるが。

答 旧施設の解体工事は、平成二十九・三十年が設計、三十一・三十二年の二力年で解体工事をおこなう予定。作業員への健康被害の防止の徹底、安全面の配慮、周辺環境への配慮、廃棄物の適正な処理・処分を基本に取り組む。アスベスト飛散防止対策では、関係法令遵守で取り組む。アスベストが使われている箇所は、天井材、床材などの内装材、配管を覆っている断熱材、外壁の塗装などが考えられる。周辺住民への説明は解体工事の受注業者が決定してからと考える。

市民から

市議会へ提出

陳情

○の中の数字は陳情番号

②「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について

提出者

全国森林環境税創設促進議員連盟

会長 板垣 一徳

③地球で生き続ける為の地球社会建設希望決議を、今、して頂きたい陳情書

提出者

荒木 實

市議会から

国等へ提出

意見書

議員提出議案として提出され、議会の議決を得て国等へ提出したものの。

「全国森林環境税」の創設に関する意見書

我が国の地球温暖化対策については、二〇二十年度及び二〇二〇年以降の温室効果ガス

削減目標が国際的に約束されているが、その達成のためには、とりわけ森林吸収源対策の推進が不可欠となっている。

しかしながら、森林が多く所在する山村地域の市町村においては、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足に加え、急速な人口減少など、厳しい情勢にあるほか、市町村が、森林吸収源対策及び担い手の育成等山村対策に主体的に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

このような中、政府・与党は、『平成二十九年税制改正大綱』において、「市町村が主体となつて実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税(仮称)の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら、具体的な仕組み等について総合的に検討し、平成三十年度税制改正において結論を得る」との方針を示したところである。

もとより、山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や安定した雇用の場の確保などの取組みは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生等にもつながるものであり、そ

のための市町村の財源の強化は喫緊の課題である。

よって、国におかれては、下記の制度創設について実現を強く求めるものである。

記

平成二十九年税制改正大綱において、「市町村が主体となつて実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税(仮称)の創設」に関して、「平成三十年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣あて

決議

坂井悦子議員に対する問責決議

決議

議会における議員の発言は、

他から制約を受けることなく自由になし得るといふ発言自由の原則により保障されている。しかし、それは自由だから何を言ってもいいということではないと考える。議会での発言ではないが、地方自治法第百三十二条で禁止されている無礼な言葉を使用したり、他人の私生活にわたる言論をするなど、議会の品位を傷つけ、議会の秩序を乱すような発言は慎まなければならないとある。

今回、坂井議員が起こした行動は、SNS発信に関し連絡を受けたことに端を発し、暴挙ともいえる行動をとったことである。

その内容は、職員に対し懲戒を求めるものであり、また、それに関わつた議員に対しても懲罰を求めているものである。この件では、議会の代表でもある議長の声に一切耳を貸さず、問答無用なやり方を行ったことは絶対に許されるものではなく、議員としてのモラルが欠落しているものと思わざるを得ない。

また、この件に関しては、八月十六日の代表者会議の席で、議長から「他に口外しない約束」のもと開催され、協議の結果、議長、坂井議員納得の上、一件落着いたと思われた。しかし、

八月二十三日、坂井議員は、自身のブログに「特に口外してはならない職員に対するプライバシーにも触れる内容等を堂々とアップ発信し、さらに混乱を招いた。

ルールを守らず自分だけが正しい。他人の意見に耳を貸さない。個人のプライバシーをも守らず公表する行為。今回の坂井議員の行為は、冒頭にも述べた議会の品位を著しく傷つけるものであり、議会を混乱させるやり方は、断じて許されるものではない。

よって、坂井議員に対し、猛省を促すとともに、今後、議会の秩序を乱すような発言等を慎むよう強く問つものである。以上、決議する。

坂井悦子議員に対する議員辞職勧告決議

我々飯能市議会議員は、議員として市民から負託を受けた立場と職責を十分に認識し、法令、条例等を遵守し、良識をもって市民の模範となるよう行動しなければならぬ。しかし九月定例会第六日目において坂井議員に対して、猛省をうながす問責決議案が提出され、全会一致で可決が決まったところである。この件で、坂井議員は議場において謝罪も行い、猛省された

◆飯能市の先進事例を視察に来られました◆

市町村議会行政視察受入一覧 平成29年7月4日～平成29年10月1日			
月 日	市町村議会名	人数	視察内容
7月5日(水)	山口県山口市議会 議会運営委員会	13	・タブレット端末の導入
7月11日(火)	長崎県佐世保市議会 会派 市民クラブ	4	・タブレット端末の導入
7月13日(木)	愛知県蒲郡市議会 議会運営委員会	8	・タブレット端末の導入及び活用 ・予算決算の審査方法、委員会運営
7月18日(火)	兵庫県宝塚市議会 産業建設常任委員会	8	・農のある暮らし 「飯能住まい」制度
7月19日(水)	富山県高岡市議会 総務文教委員会	9	・タブレット端末の導入
7月20日(木)	埼玉県狭山市議会 総務経済常任委員会	9	・仕事と育児が両立できる 働きやすい職場づくり
7月25日(火)	愛知県津島市議会 総務常任委員会	9	・タブレット端末導入による ペーパーレス化
7月26日(水)	富山県砺波市議会 会派 自由民主党砺波市 議会議員会	12	・タブレット端末の導入 ・議会改革の取組 ・議会基本条例の制定
7月31日(月)	長崎県佐世保市 総務課職員	3	・タブレット端末を導入した 議会運営
8月1日(火)	兵庫県加西市議会 会派 21政会	7	・シティプロモーション事業 (広報関係)
8月2日(水)	高知県高知市議会 会派 新こうち未来	5	・エコツーリズムの取り組み
8月3日(木)	埼玉県白岡市議会 議会IT推進化委員会	7	・議会IT推進
8月18日(金)	埼玉県熊谷市、深谷市、 秩父市、上里町、神川 町、横瀬町議会 会派 公明党	10	・飯能市聴覚障害者支援事業 (タブレット端末を使った窓口支援)
8月23日(水)	宮崎県串間市議会 産業建設常任委員会	7	・エコツーリズム推進全体構想 認定後の取組・展開

ものと我々は判断したところである。

しかしながら、最終日において、反対討論の内容を許可なく本会議発言を前にし、本人のブログ上での不特定多数に発信した行為、また反対討論等に対し、度重なる休憩を生じたこと、さらには、天皇皇后両陛下の名前を引用した憲法違反も疑われる行為は、市議会としても看過できないものであると考える。

以上の事等度重なる坂井議員

の言動は議員としての見識、資質を疑うものである。同時に、議会運営において混乱を招いたのは一目瞭然である。

坂井議員本人に対し、今議会にて猛省を促したにもかかわらず、一向に反省の色がないものと考え、坂井悦子議員に対する議員辞職勧告決議とするものである。

以上、決議する。

先進事例の調査視察

広報委員会

愛知県犬山市議会(七月二十七日)
市民と議会の意見交換会について

犬山市議会では「犬山市議会基本条例」に基づき、市民の皆さんの意見を市政運営に反映させていくため、平成二十三年度より「市民との意見交換会」を開催。

平成二十八年度は、平成二十九年一月十四日に総務委員会、民生文教委員会、建設経済委員会の各委員会が、共通のテーマとして「どんなまちーこんなまちー犬山」、委員会のテーマに総務委員会が「どうなる? どうする? 駅周辺」、民生文教委員会が「健康づくりについて」、建設経済委員会が「どうなる? どうする?」問題」を設定し、意見交換会を開催。参加人数は四十五名に留まったため、平成二十九年度の開催に向けて検討を進めている状況。

岐阜県可児市議会(七月二十八日)
議会だより等について

可児市議会は、早稲田大学マニファスト研究所議会改革度調査(二〇二六)ランキングにおいても十二位に位置する議会である。議会の活性化や改革に常に前向きに取り組み、市議会だよりについても、平成二十五年度からフルカラー化、平成二十七年からは名前も「議会のトビ」へ変更。

また、紙媒体の議会だより「議会のトビ」だけではなく、「WEB版議会のトビ」は可児市議会の紹介や議事の掲載内容も見やすく充実している。

インターネット録画映像配信 「市政に対する一般質問」

スマートフォン、タブレット端末での 視聴が可能になりました

今まではパソコン端末においてのみ視聴可能であった「市政に対する一般質問」のインターネット録画映像配信を、平成29年度からスマートフォン、タブレット端末においても視聴できるようになりました。より便利にご利用いただけるようになりましたので、ぜひ一度お試しください。

また、併せてパソコン端末での視聴において、Windows Media Player以外のメディアプレイヤーソフトにも対応いたしました。



市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

<https://www.city.hanno.lg.jp>



五地区合同防災避難訓練

審議の日程

9月定例会

- 1日 開会、市長提出議案の上程・提案理由説明
- 6日 議案質疑、議案の委員会付託
議員提出議案の上程・提案理由説明・質疑・討論・採決
- 8日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 11日 常任委員会(厚生文教・経済建設)
- 12日 常任委員会(厚生文教・経済建設)
- 14日 一般質問
- 15日 一般質問
- 19日 一般質問
- 26日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決
議員提出議案の上程・提案理由説明・質疑・討論・採決
閉会

議会日誌

7月

- 3日 飯能市議会広報委員会
- 18日 埼玉県都市競艇組合議会臨時会
- 28日 埼玉西部消防組合議会定例会

8月

- 16日 代表者会議
- 17日 広域飯能斎場組合議会定例会
- 22日 全員協議会
- 29日 議会運営委員会、代表者会議

9月

- 1日 9月定例会開会(9月26日まで)
飯能市議会広報委員会

10月

- 2日 飯能市議会広報委員会

◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検索

クリック

☆テレビ放映しています

飯能市議会では、飯能日高テレビの番組で一般質問の様子を録画放映しています。また、議会事務局(市役所本庁舎4階)では、番組を録画したDVDの貸出しを行っております。

☆ライブ中継しています

市役所本庁舎1階ロビーにおいて、一般質問の様子をライブ中継しています。

議会を傍聴しませんか

9月定例会では延べ161名の方が傍聴されました。

次回の12月定例会は

11月24日開会予定です。

会期日程等は11月21日頃内定します。

* 編集を終えて *

災害はどのような形で起きるか分かりません。災害に起因した様々な事象に対応するため、日頃から訓練をしておくことは大変重要であります。今年も市内各所で防災訓練が行われ、参加者は真剣に取り組んでいました。

あらゆる災害に対し、常に備えが必要であります。被害を最小限に抑えるには、その時自分はどのように行動したら良いのかなど、普段から防災に対する心構えが大切です。

そして、いざという時のために、家族・隣近所の方との日頃のコミュニケーションも大変重要です。

まず、自分の身の安全を！そして、周りの人たちとの助け合いを！

(新井 重治)

広報委員 (◎委員長 ○副委員長)

◎滝沢 修 ○坂井 悦子 新井 重治
関田 直子 平沼 弘 松橋 律子

戸田競艇場開催日

11/16~11/19、12/2~12/5、12/28~12/31

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています)